

**第 10 次計画策定にかかる
基礎調査報告書**

**平成 27 年 3 月
松本市**

目次

第1章 調査概要	1
第1節 調査目的	1
第2節 本書の構成	1
第2章 統計データからみる松本市の現状と見通し	2
第1節 人口の動向	2
1. 総人口・世帯数	2
2. 年齢3区分の人口	3
3. 人口の増減	4
4. 人口の自然動態	5
5. 人口の社会動態	7
6. 人口推計	10
第2節 健康・医療分野	12
1. 平均寿命	12
2. 医療関係	13
3. 精神保健	14
第3節 福祉、人権分野	15
1. 外国籍住民	15
2. 生活福祉	15
3. 高齢者福祉	16
4. 児童福祉	19
第4節 地域づくり分野	23
1. 地区別の高齢化率と人口増加率	23
2. 地域公共交通	24
3. 道路整備	26
4. 交通安全	27
第5節 環境分野	28
1. 廃棄物処理	28
2. 地球温暖化・公害	29
第6節 経済・産業分野	31
1. 産業全体	31
2. 第1次産業	34
3. 第2次産業	37
4. 第3次産業	40
第7節 教育・文化	45
1. 教育	45
2. 文化	46
第8節 財政フレーム	47
第9節 総括	48

第3章 施策の現状評価に関する分析	49
第1節 調査実施概要	49
第2節 他都市調査の結果	50
1. 属性	50
2. 暮らしの満足度と定住意向	52
3. 市民満足度調査結果との比較	54
第3節 総括	65

第1章 調査概要

第1節 調査目的

本調査は第10次基本計画策定に向け、「5年先、10年先の未来」を見据えた政策を検討するため、統計データや調査をもとに経年比較、他都市との比較を行い松本市の強み・弱みを把握し、「選択」と「集中」という視点で政策立案ができるデータを収集することを目的に実施する。

第2節 本書の構成

本書は、「統計データからみる松本市の姿」と「現状評価の他都市比較調査」の2部構成となっている。

■統計データからみる松本市の姿の内容

各種統計データをもとに、経年比較、他地域との比較を行いながら、松本市の現状と課題の把握を行っている。他都市比較においては、国・県・県内19市及び、近隣の特例市（新潟県上越市、福井県福井市、山梨県甲府市）と比較を行っている。近隣の特例市の統計データが入手できない項目については、比較を行っていない。

■現状評価の他都市比較調査の内容

松本市の強み・弱みといえるのかを把握するために、インターネットにて、平成24年度から実施している「市民満足度調査」における施策評価と同じ項目で調査を行った。なお、市民満足度調査結果とインターネット調査では、調査方法が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

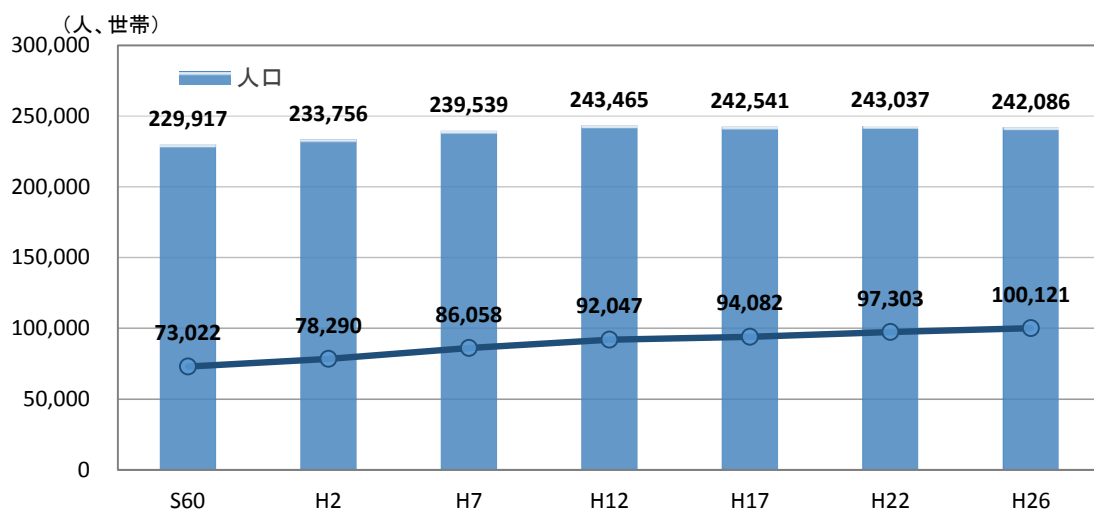
第2章 統計データからみる松本市の現状と見通し

第1節 人口の動向

1. 総人口・世帯数

- 本市の総人口は242,086人（平成26年10月1日現在）であり、県内では2番目に多い。
- 総人口の推移を見ると、平成22年から減少している。一方で、世帯数は増加している。

図表 1 松本市の人口・世帯数の推移

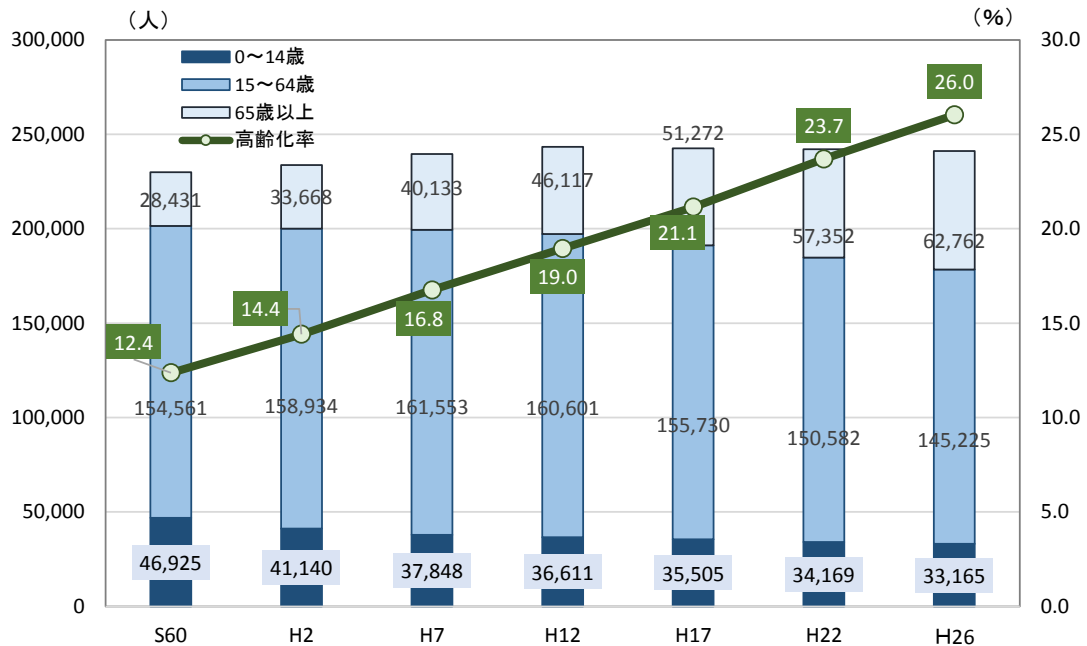


出典：長野県「毎月人口異動調査」（平成26年10月1日）
総務省「国勢調査」（昭和60年～平成22年）

2. 年齢3区分の人口

- 年齢3区分人口と高齢化率の推移を見ると、平成17年には高齢化率が20%を超え、0～14歳の年少人口は15%を割り込むなど、少子高齢化が進んでいる。
- 平成26年の高齢化率は26.0%である。長野県全県と比較すると低い状況である。

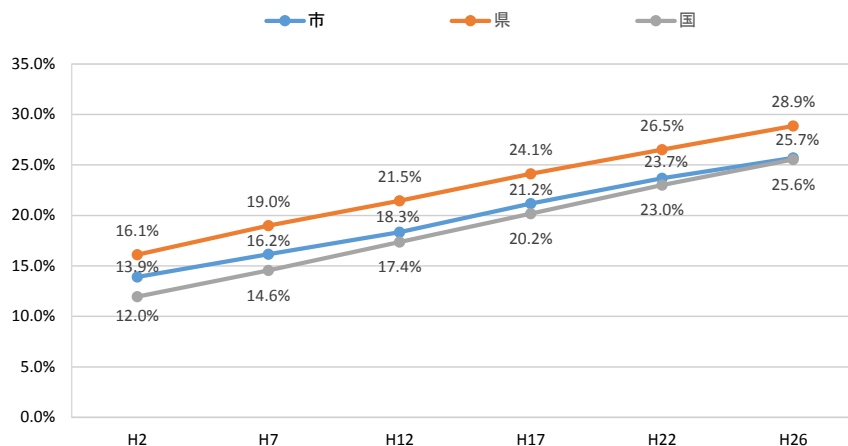
図表 2 年齢3区分人口と高齢化率の推移



出典：長野県「毎月人口異動調査」（平成26年10月1日）

総務省「国勢調査」（昭和60年～平成22年）

図表 3 市・県・国の高齢化率の比較



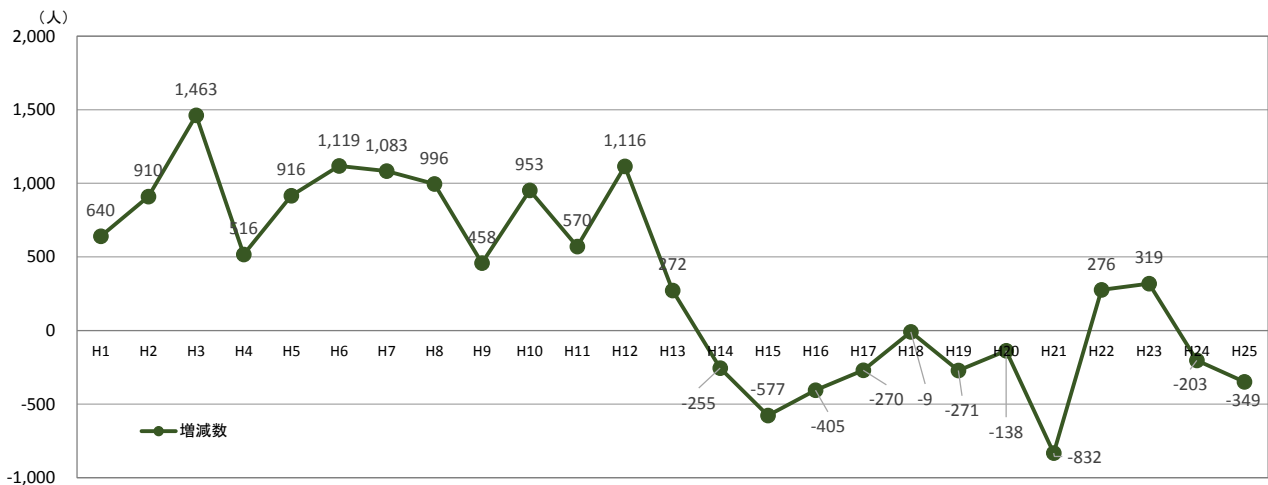
出典：長野県「毎月人口異動調査」（平成26年10月1日）

総務省「国勢調査」（平成2年～平成22年）

3. 人口の増減

- 社会増減・自然増減をあわせた人口増減数は以下のグラフのとおりである。平成14年から平成21年まではマイナスに転じていたが、平成22年、23年はプラスとなった。これは、後述する転入者増加が影響している。平成24年、25年は再びマイナスとなっている。
- 他市と平成26年度の人口増減率を比較すると、長野県内では第5位である。

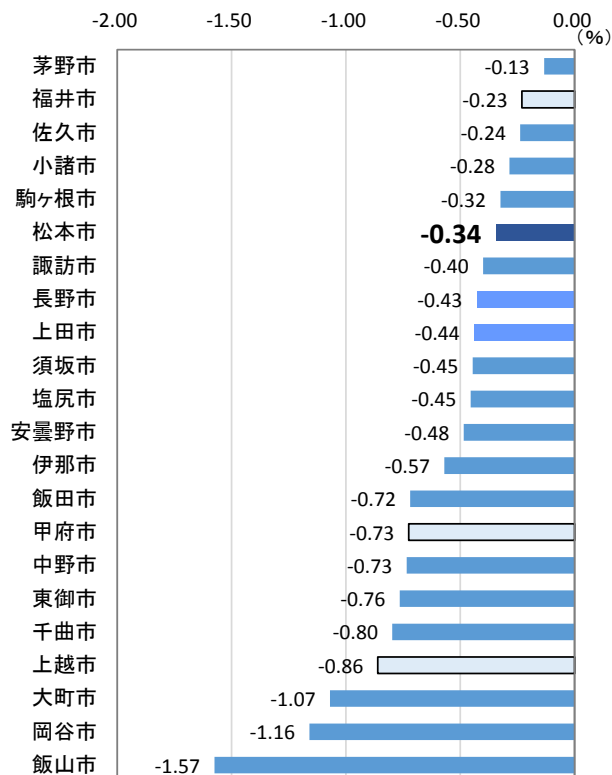
図表 4 年間人口増減数の推移



出典：長野県「毎月人口異動調査」（毎年10月1日）

※合併前は旧松本市の数値である

図表 5 年間人口増減数の推移（平成26年度）
（県下19市＋甲府市・上越市・福井市）

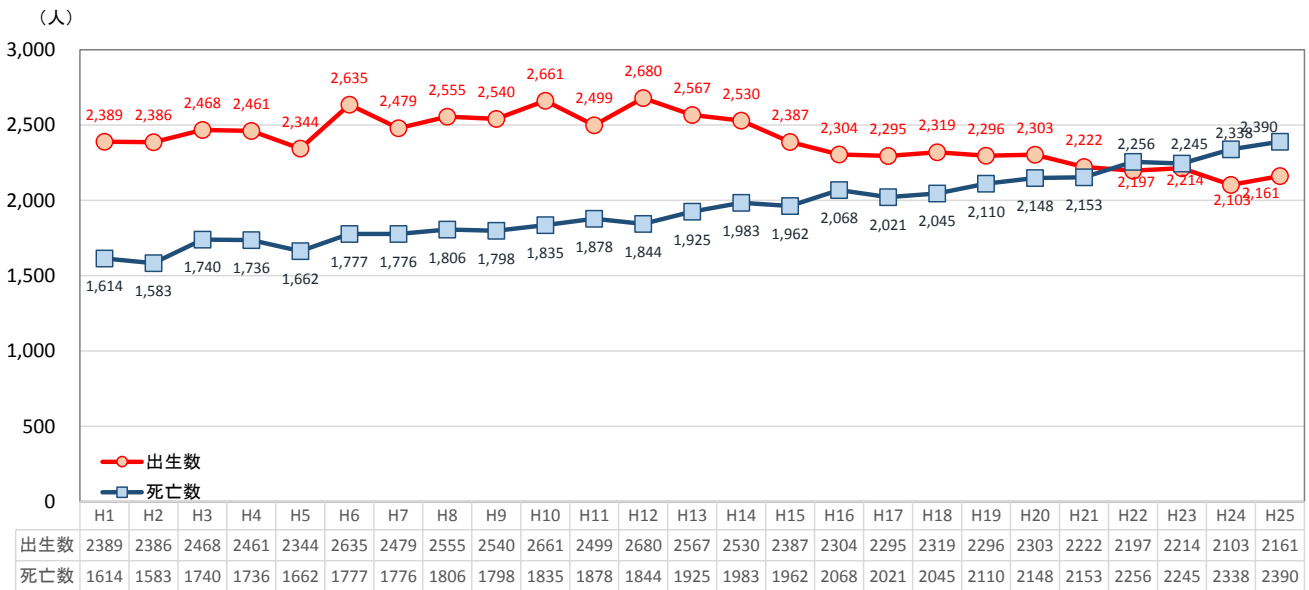


出典：長野県「毎月人口異動調査」（平成26年）

4. 人口の自然動態

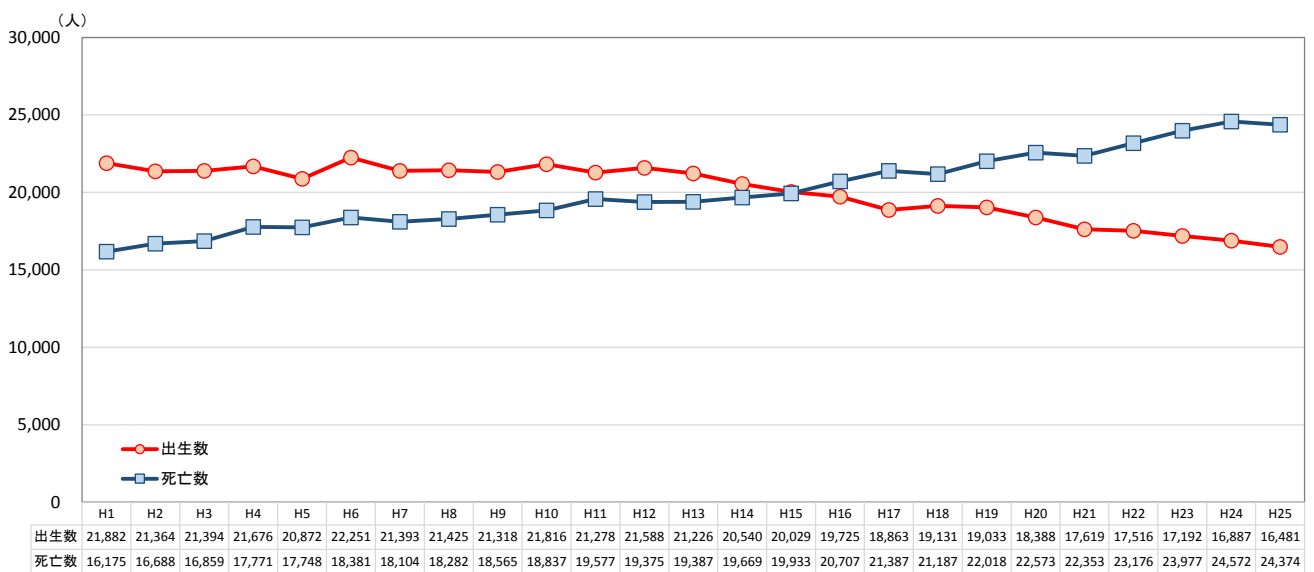
- 長らく出生数が死亡数を上回る状況を維持してきたが、平成 22 年に逆転して以来、自然減少の傾向となっている。
- 長野県全体をみると、松本市より 7 年早い平成 15 年に出生数よりも死亡者数が上回っている。

図表 6 松本市の自然動態の推移



出典：長野県「毎月人口異動調査」（毎年 10 月 1 日）

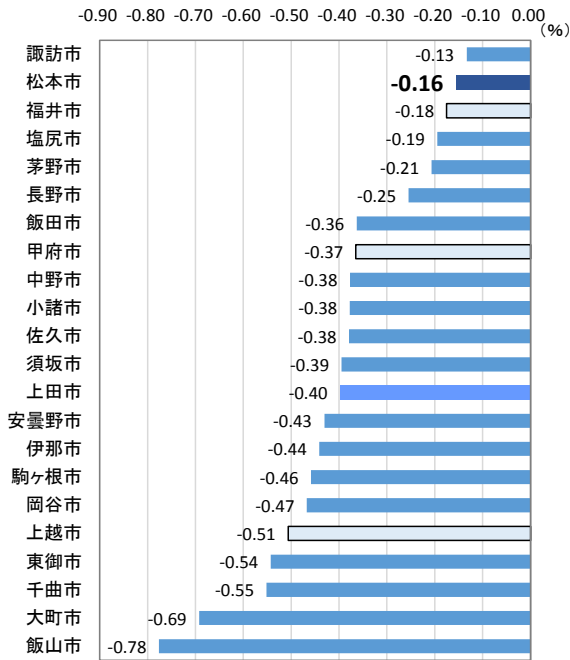
図表 7 長野県の自然動態の推移



出典：長野県「毎月人口異動調査」（毎年 10 月 1 日）

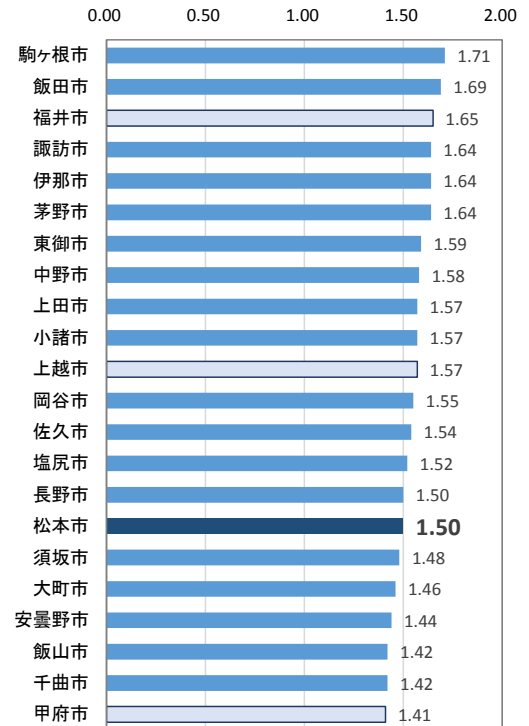
- 平成 26 年度内の自然増加率（出生率－死亡率）は、長野県内のすべての市でマイナスである。松本市は-0.16 と県内 19 市のなかでは第 2 位に高い水準を維持している。なお、県内で、平成 26 年度の自然増減率がプラスの市町村は南箕輪村のみである。
- 合計特殊出生率は 1.50 人と、県内 19 市中では 14 番目である。

図表 8 自然増加率（平成 26 年度）
（県下 19 市＋甲府市・上越市・福井市）



出典：長野県「毎月人口異動調査」（平成 26 年）
 甲府市「山梨県常住人口調査結果報告」（平成 26 年）
 上越市「新潟県人口移動調査結果報告」（平成 26 年）
 福井市「福井市統計書」（平成 25 年）

図表 9 合計特殊出生率の比較
（県下 19 市＋甲府市・上越市・福井市）

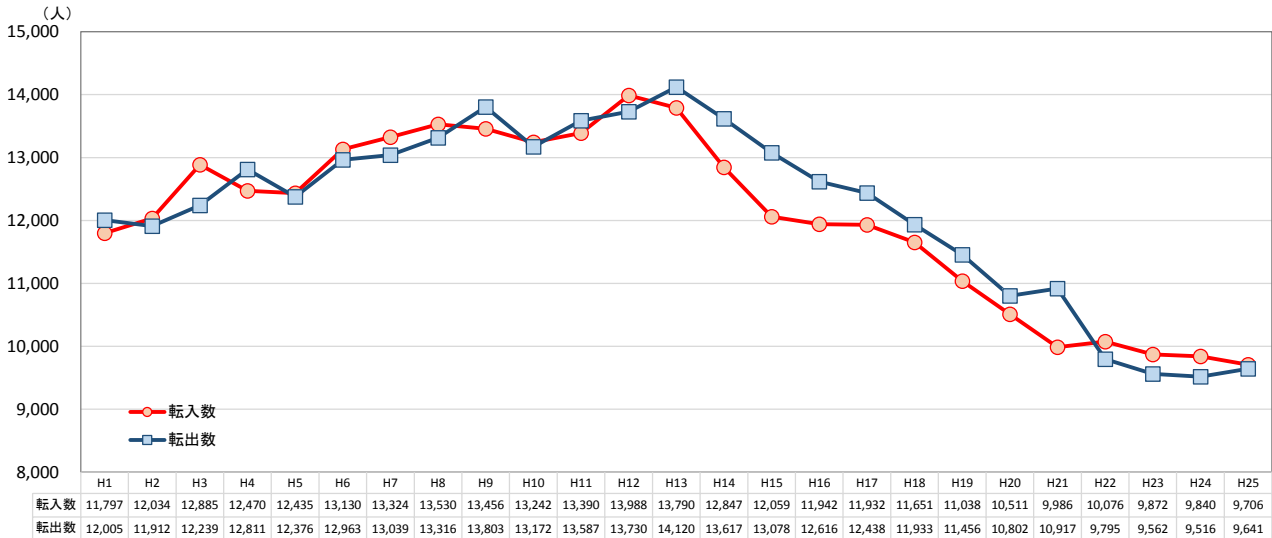


出典：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」（平成 26 年）

5. 人口の社会動態

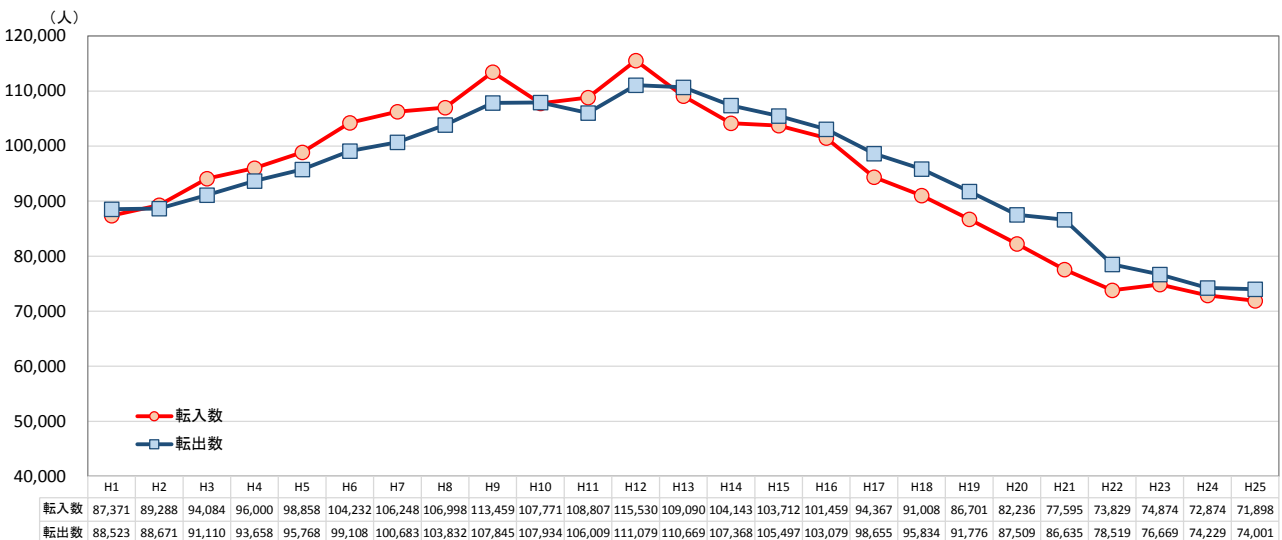
- 社会動態は、平成13年から平成21年まで転出超過が続いていたが、平成22年に逆転し、転入者が増えてきている。
- 平成13年頃より、転出超過となる状況は、長野県全県の傾向と同じである。長野県は、依然として転出超過が続いている。

図表 10 松本市の社会動態の推移



出典：長野県「毎月人口異動調査」（毎年10月1日）

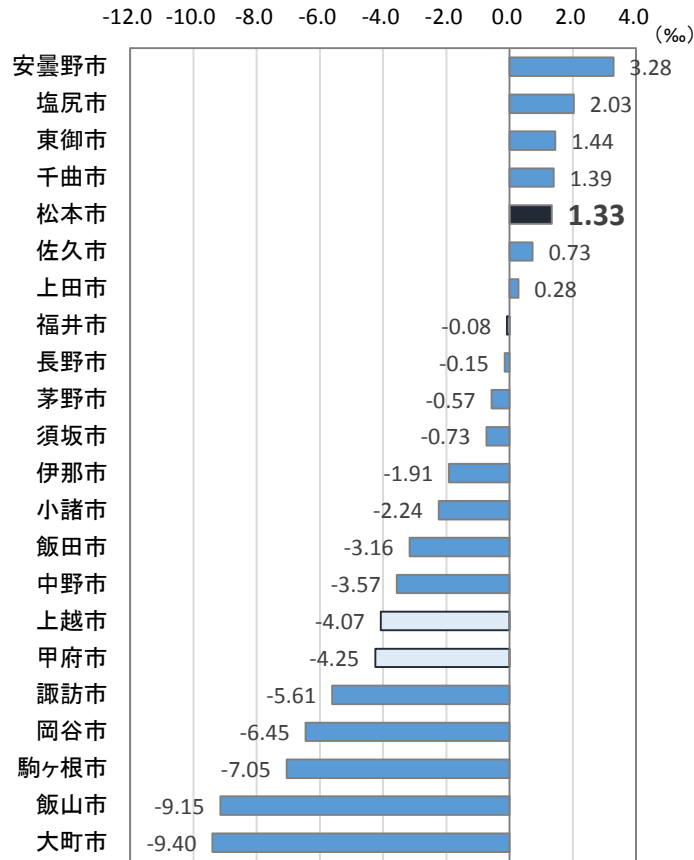
図表 11 長野県の社会動態の推移



出典：長野県「毎月人口異動調査」（毎年10月1日）

- 社会増減率は 1.33% で県内 19 市中では第 5 位である。

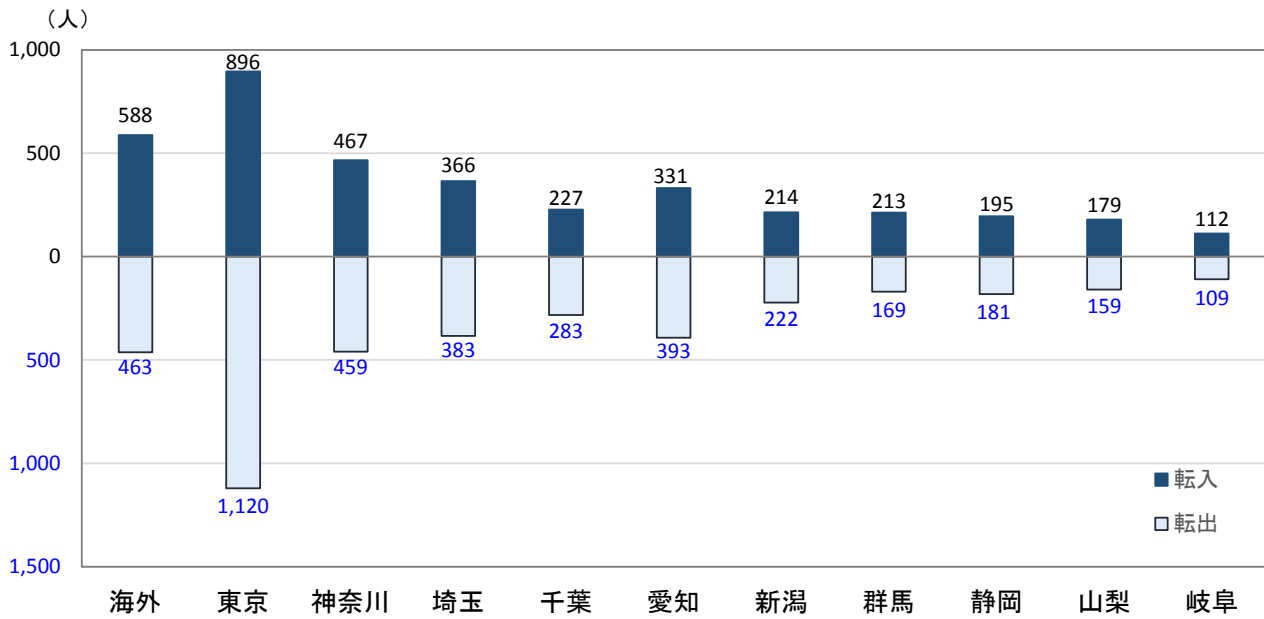
図表 12 社会増加率の比較(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)



出典：長野県「地域別・市町村別 100 の指標」(平成 25 年)
 出典：甲府市「市町村別社会動態」(平成 24 年)
 出典：上越市「新潟県 市区町村別人口動態」(平成 24 年 10 月 1 日)
 出典：福井市「福井市統計書」(平成 25 年)

- 県外への人口移動としては、転入転出ともに東京都が多い。

図表 13 松本市から県外への人口移動（上位 10 都道府県）



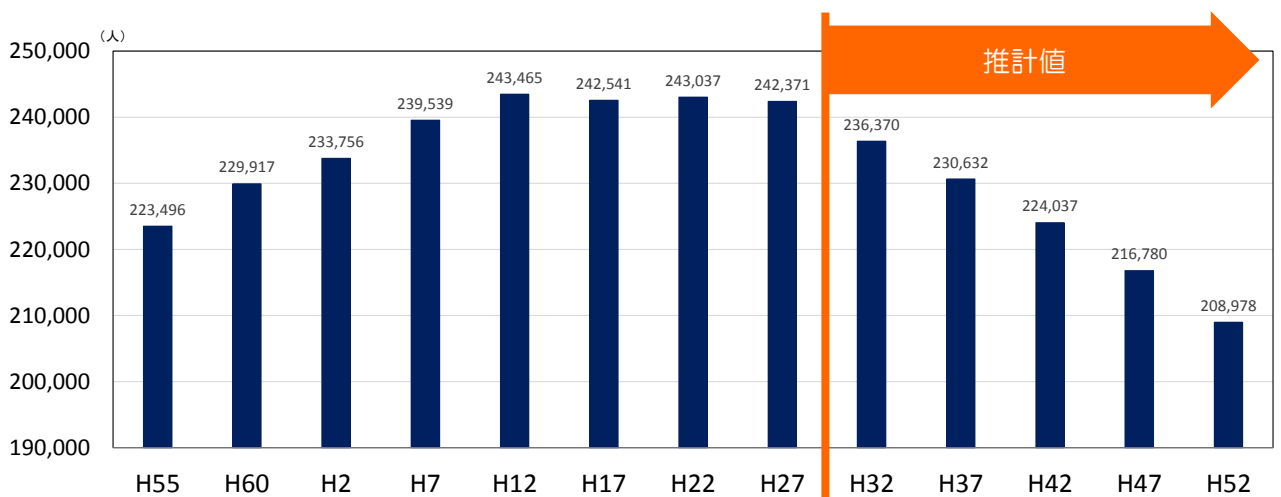
出典：松本市の統計（平成 26 年）

※ただし数値は住民マスター統計（平成 25 年）のもの

6. 人口推計

- 今後、総人口は減少傾向にあり、平成 52 年には平成 27 年と比較して約 3 万人減ると推計される。
- 年齢 3 区分人口推計をみると、65 歳以上の高齢者は増加の一途を辿り、平成 52 年には高齢化率が 34.6%になると推測されている。

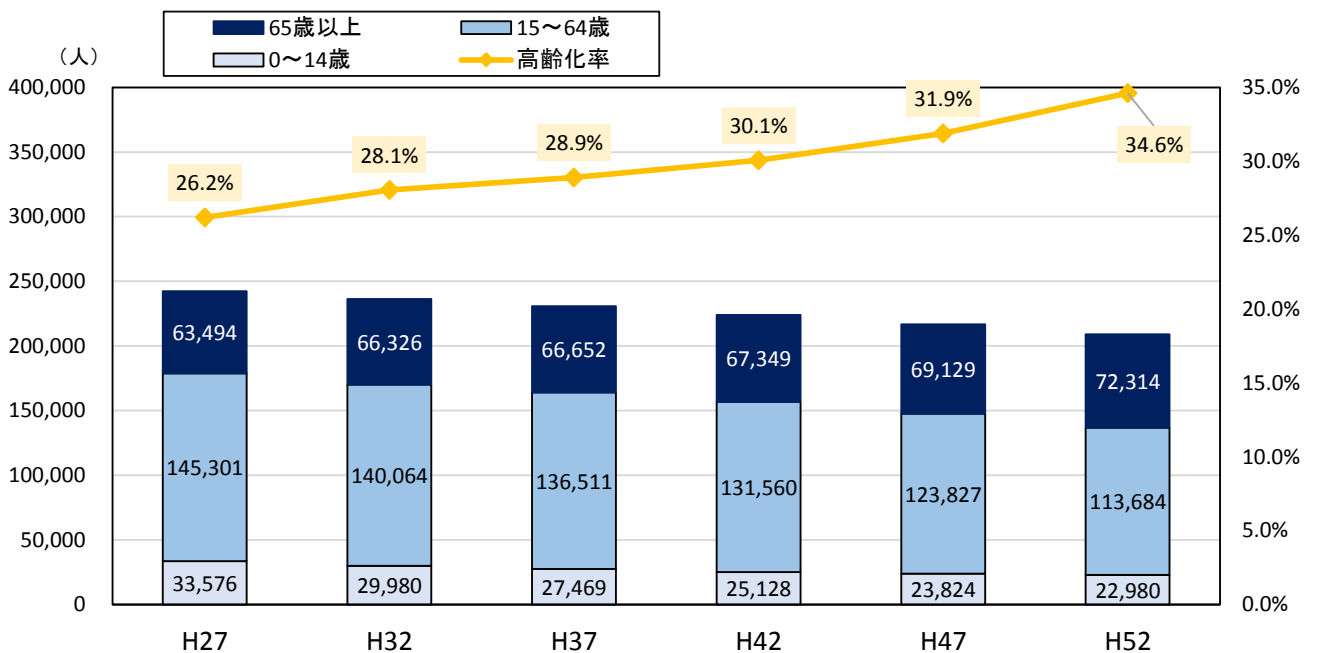
図表 14 将来人口推計



出典：総務省「国勢調査」（昭和 55～平成 22 年）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 25 年 3 月推計）
 （H27 年のみ、松本市「年齢別男女別人口」（平成 27 年 2 月 1 日現在）を使用）

図表 15 年齢 3 区分別人口推計



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 25 年 3 月推計）
 （H27 年のみ、松本市「年齢別男女別人口」（平成 27 年 2 月 1 日現在）を使用）

- 平成22年と平成52年の若年女性人口変化率（人口収束がしない場合）をみると、松本市は29.9%であり、消滅可能性都市の定義には当てはまらない。県内の他市町村と比較すると、減少率は低いといえる。

図表 16 消滅可能性都市（長野県）

市区町村	社人研推計					人口移動が収束しない場合				
	平成22年	平成22年	平成52年	平成52年	若年女性人口変化率	平成22年	平成22年	平成52年	平成52年	若年女性人口変化率
	総人口	20-39歳女性	総人口	20-39歳女性	(2010-2040)	総人口	20-39歳女性	総人口	20-39歳女性	(2010-2040)
長野市	381,511	43,707	301,857	27,535	-37.0%	381,511	43,707	289,701	24,919	-43.0%
松本市	243,037	29,579	208,978	20,479	-30.8%	243,037	29,579	206,132	20,736	-29.9%
上田市	159,597	17,200	120,927	10,670	-38.0%	159,597	17,200	114,979	9,264	-46.1%
岡谷市	52,841	5,532	38,020	3,586	-35.2%	52,841	5,532	35,066	3,094	-44.1%
飯田市	105,335	11,122	79,860	7,290	-34.5%	105,335	11,122	74,577	6,243	-43.9%
諏訪市	51,200	6,041	38,349	3,770	-37.6%	51,200	6,041	35,069	3,498	-42.1%
須坂市	52,168	5,372	38,508	3,372	-37.2%	52,168	5,372	35,708	2,833	-47.3%
小諸市	43,997	4,692	32,220	2,753	-41.3%	43,997	4,692	30,076	2,361	-49.7%
伊那市	71,093	7,488	57,393	5,063	-32.4%	71,093	7,488	55,406	4,358	-41.8%
駒ヶ根市	33,693	3,595	26,364	2,476	-31.1%	33,693	3,595	24,937	2,194	-39.0%
中野市	45,638	4,931	34,787	3,193	-35.2%	45,638	4,931	32,829	2,833	-42.6%
大田市	29,801	2,660	17,355	1,254	-52.9%	29,801	2,660	15,269	879	-67.0%
飯山市	23,545	2,115	15,004	1,154	-45.4%	23,545	2,115	13,887	897	-57.6%
茅野市	56,391	6,479	46,548	4,418	-31.8%	56,391	6,479	44,765	4,048	-37.5%
塩尻市	67,670	7,991	55,655	5,110	-36.1%	67,670	7,991	53,412	4,785	-40.1%
佐久市	100,552	10,764	85,781	7,857	-27.0%	100,552	10,764	84,763	7,320	-32.0%
千曲市	62,068	6,407	44,978	3,853	-39.9%	62,068	6,407	42,348	3,295	-48.6%
東御市	30,696	3,267	23,888	2,034	-37.7%	30,696	3,267	22,837	1,709	-47.7%
安曇野市	96,479	10,454	78,208	7,071	-32.4%	96,479	10,454	77,155	6,519	-37.6%
小海町	5,180	386	3,009	180	-53.4%	5,180	386	2,773	121	-68.6%
川上村	4,972	352	4,370	260	-26.1%	4,972	352	4,172	208	-40.8%
南牧村	3,528	286	2,922	181	-36.7%	3,528	286	2,906	137	-52.2%
南相木村	1,121	77	695	53	-31.2%	1,121	77	649	37	-51.9%
北相木村	842	43	452	20	-53.5%	842	43	422	15	-65.4%
佐久穂町	12,069	1,003	7,457	476	-52.5%	12,069	1,003	6,817	326	-67.5%
軽井沢町	19,018	2,150	16,662	1,438	-33.1%	19,018	2,150	17,197	1,440	-33.0%
御代田町	14,738	1,711	14,130	1,324	-22.6%	14,738	1,711	14,480	1,291	-24.6%
立科町	7,707	686	4,889	354	-48.4%	7,707	686	4,557	261	-61.9%
青木村	4,609	371	3,268	253	-31.8%	4,609	371	3,172	210	-43.3%
長和町	6,780	523	4,087	253	-51.6%	6,780	523	3,730	177	-66.2%
下諏訪町	21,532	2,082	13,485	1,117	-46.3%	21,532	2,082	12,002	885	-57.5%
富士見町	15,338	1,451	12,237	1,009	-30.5%	15,338	1,451	12,057	879	-39.4%
原村	7,573	721	6,430	540	-25.1%	7,573	721	6,402	441	-38.8%
辰野町	20,909	1,943	14,329	1,239	-36.2%	20,909	1,943	13,280	997	-48.7%
箕輪町	26,214	3,120	22,079	2,150	-31.1%	26,214	3,120	21,245	2,024	-35.1%
飯島町	9,902	958	6,216	423	-55.8%	9,902	958	5,697	308	-67.8%
南箕輪村	14,543	1,876	15,608	1,639	-12.6%	14,543	1,876	16,140	1,709	-8.9%
中川村	5,074	433	3,689	302	-30.3%	5,074	433	3,505	243	-43.9%
宮田村	8,974	995	7,870	778	-21.8%	8,974	995	7,514	715	-28.2%
松川町	13,676	1,276	9,963	816	-36.1%	13,676	1,276	9,477	655	-48.6%
高森町	13,216	1,411	12,076	1,181	-16.3%	13,216	1,411	11,811	1,032	-26.9%
阿南町	5,455	380	3,239	271	-28.7%	5,455	380	3,065	243	-36.2%
阿智村	7,036	645	4,789	407	-36.9%	7,036	645	4,371	308	-52.2%
平谷村	563	49	429	32	-34.7%	563	49	427	29	-40.6%
根羽村	1,129	64	565	32	-50.0%	1,129	64	514	22	-65.9%
下條村	4,200	430	3,855	408	-5.1%	4,200	430	3,793	393	-8.6%
売木村	656	40	427	31	-22.5%	656	40	420	26	-35.7%
天龍村	1,657	74	597	33	-55.4%	1,657	74	532	20	-72.3%
黍阜村	1,910	150	1,215	108	-28.0%	1,910	150	1,150	93	-38.0%
喬木村	6,692	618	5,127	475	-23.1%	6,692	618	4,853	390	-36.9%
豊丘村	6,819	609	4,993	392	-35.6%	6,819	609	4,708	301	-50.5%
大鹿村	1,160	58	491	33	-43.1%	1,160	58	437	22	-61.7%
上松町	5,245	358	2,916	193	-46.1%	5,245	358	2,581	133	-62.8%
南木曾町	4,810	369	2,756	215	-41.7%	4,810	369	2,428	139	-62.3%
木祖村	3,134	254	1,979	174	-31.5%	3,134	254	1,847	142	-44.0%
王滝村	965	94	530	50	-46.8%	965	94	433	39	-58.8%
大桑村	4,145	289	2,498	192	-33.6%	4,145	289	2,274	147	-49.1%
木曾町	12,743	951	7,085	478	-49.7%	12,743	951	6,219	313	-67.1%
麻績村	2,970	208	1,777	109	-47.6%	2,970	208	1,761	82	-60.6%
生坂村	1,953	151	1,045	82	-45.7%	1,953	151	940	61	-59.9%
山形村	8,425	910	7,859	764	-16.0%	8,425	910	7,935	725	-20.3%
朝日村	4,741	436	3,453	248	-43.1%	4,741	436	3,293	188	-57.0%
筑北村	5,172	398	2,707	173	-56.5%	5,172	398	2,433	121	-69.5%
池田町	10,329	943	7,361	589	-37.5%	10,329	943	7,196	508	-46.1%
松川村	10,093	1,047	8,146	734	-29.9%	10,093	1,047	8,113	663	-36.7%
白馬村	9,205	1,001	7,226	549	-45.2%	9,205	1,001	6,982	489	-51.2%
小谷村	3,221	254	1,601	101	-60.2%	3,221	254	1,337	56	-77.9%
坂城町	15,730	1,535	10,756	925	-39.7%	15,730	1,535	9,919	744	-51.5%
小布施町	11,072	1,094	7,817	617	-43.6%	11,072	1,094	7,206	463	-57.7%
高山村	7,563	712	5,869	456	-36.0%	7,563	712	5,740	392	-45.0%
山ノ内町	13,678	1,104	7,654	476	-56.9%	13,678	1,104	6,919	317	-71.3%
木島平村	4,939	418	3,212	280	-33.0%	4,939	418	2,970	209	-50.0%
野沢温泉村	3,853	281	2,129	133	-52.7%	3,853	281	1,851	72	-74.2%
信濃町	9,238	734	5,296	339	-53.8%	9,238	734	4,775	220	-70.0%
小川村	3,041	241	1,644	148	-38.6%	3,041	241	1,497	132	-45.1%
飯綱町	11,865	994	7,700	580	-41.6%	11,865	994	7,206	439	-55.8%
栗村	2,215	122	1,069	62	-49.2%	2,215	122	994	43	-64.4%

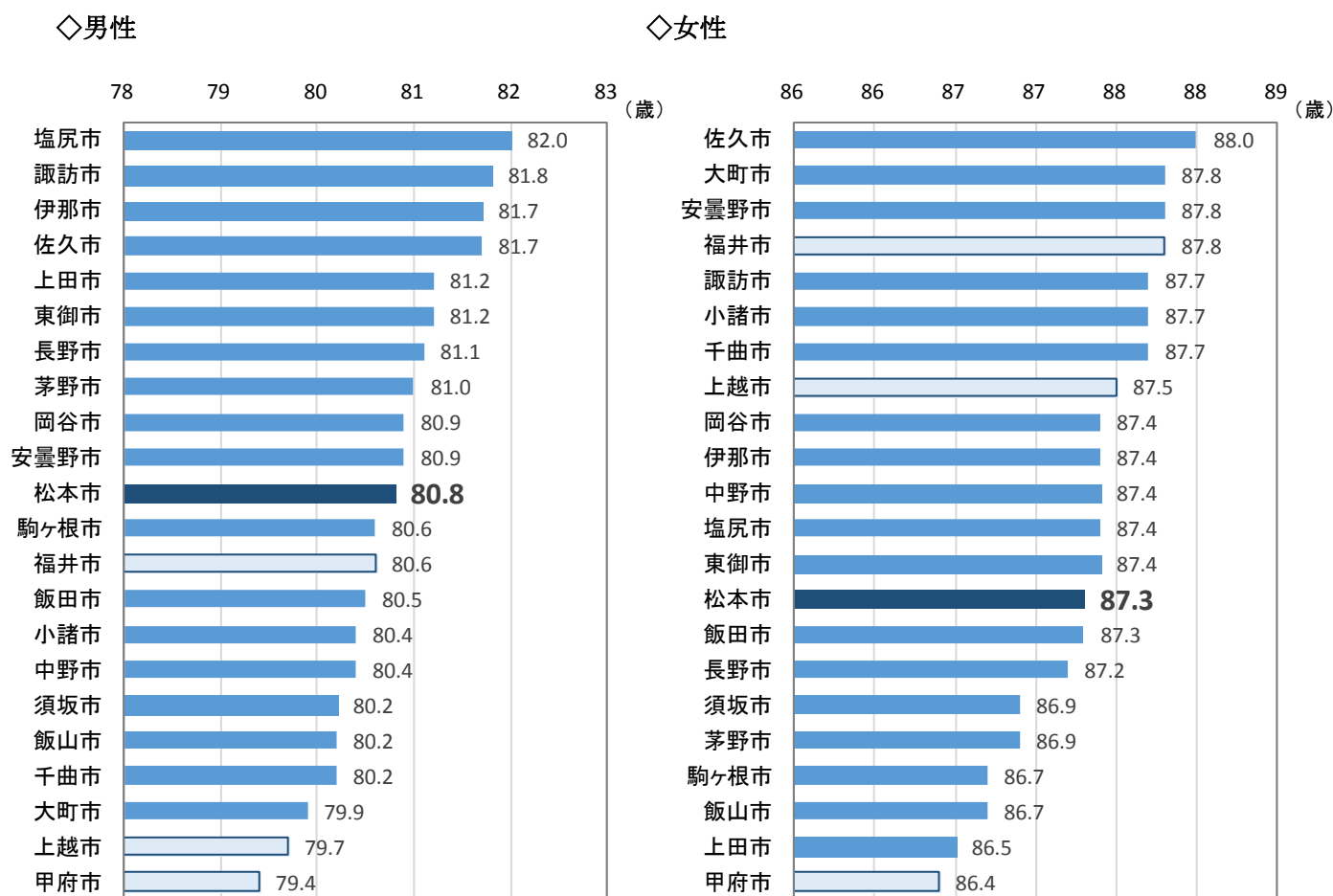
出典：日本創世会議
「全国市区町村別「20～39歳女性」の将来推計人口」（平成26年）

第2節 健康・医療分野

1. 平均寿命

- 本市の平均寿命は男性 80.8 歳、女性 87.3 歳であり、県内の他市と比べるとあまり高いとはいえないが、平成 22 年度の厚生労働省生命表による全国平均（男性 79.6 歳、女性 86.4 歳）をともに上回っている。

図表 17 平均寿命(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)

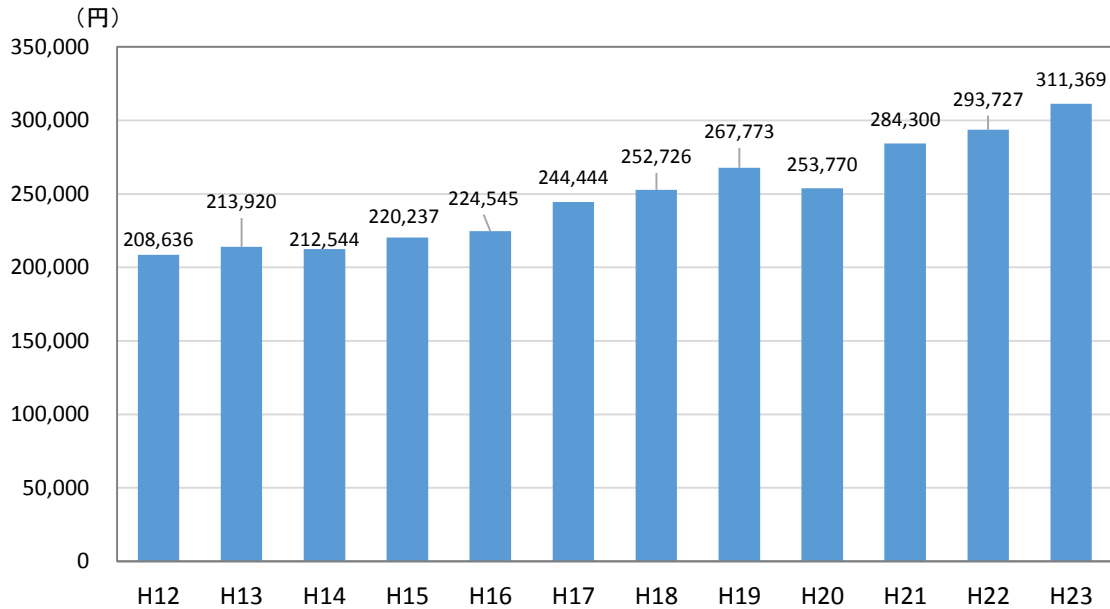


出典：厚生労働省 「生命表 市区町村別平均寿命」(平成 22 年)

2. 医療関係

- 1人あたりの医療費は年々、増加傾向にある。
- 人口10万人あたりの医師数は、県内19市中では第1位である。それに比較し、看護師・保健師の数は際立って多いとはいえない。

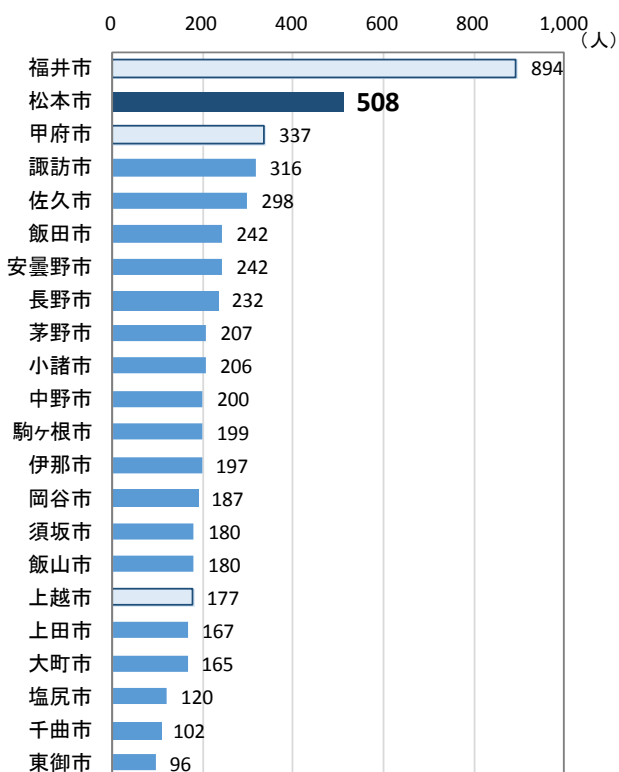
図表 18 1人あたりの医療費の推移



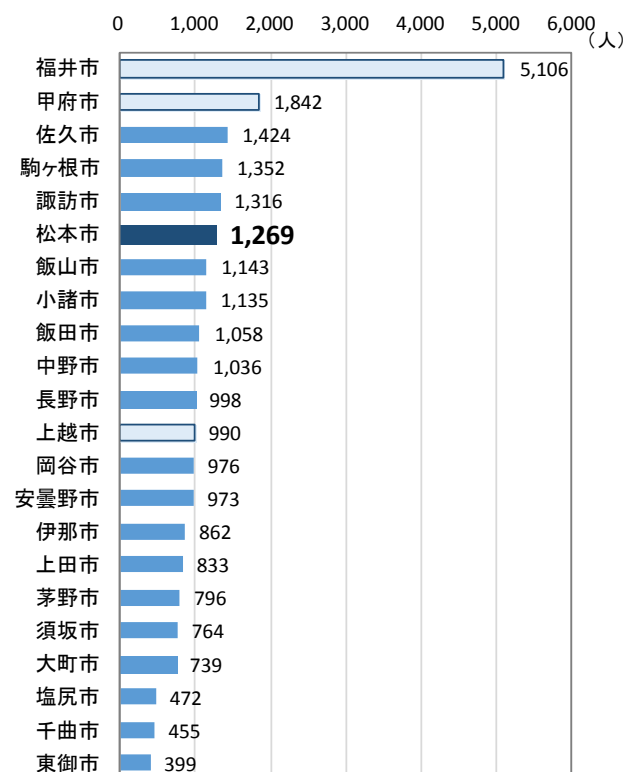
出典：松本市「松本市の統計」（平成26年）

図表 19 医師・看護師・保健師数(県下19市+甲府市・上越市・福井市)

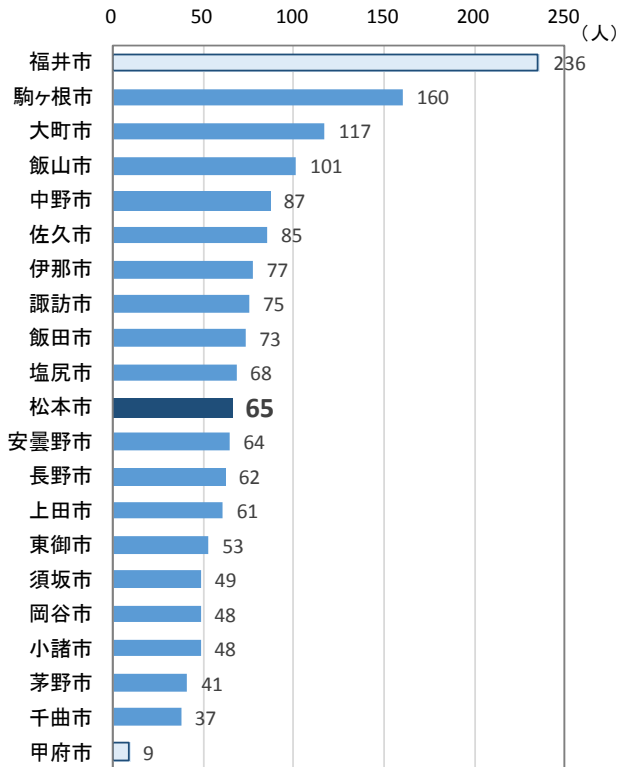
◇人口10万人あたり医師数



◇人口10万人あたり看護師数



◇人口 10 万人あたり保健師数

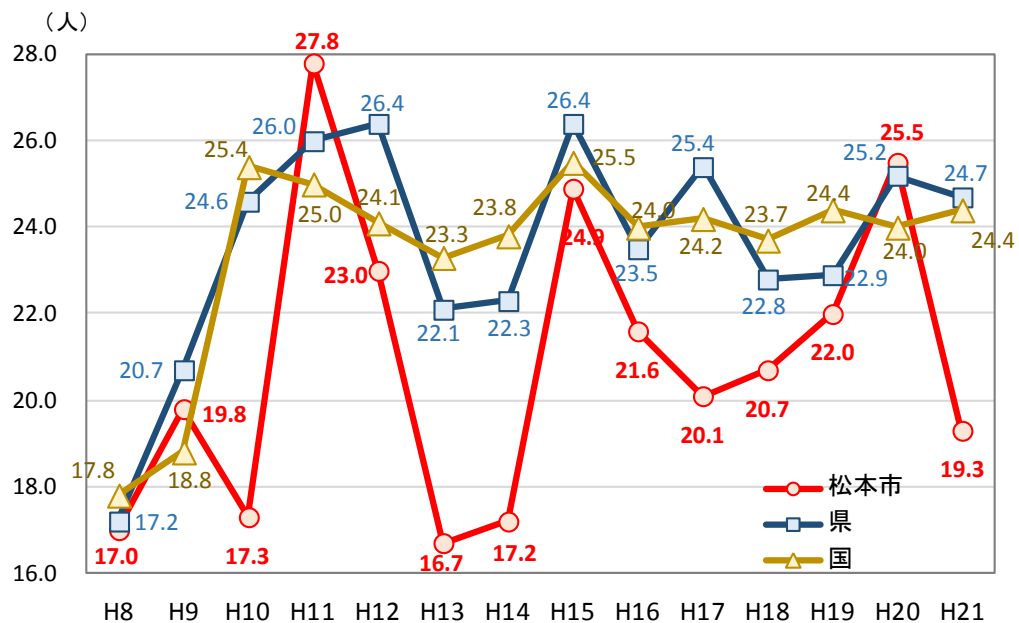


出典：長野県 「市町村 100 の指標」(平成 25 年)
 出典：福井市 「福井市統計書」(平成 25 年)
 出典：甲府市 「統計情報」(平成 25 年)
 出典：新潟県 「主要指標」(平成 25 年)

3. 精神保健

- 本市における自殺者数は全国や県に比べ少ない傾向にあるが、増減が激しい。

図表 20 自殺者数の推移 (人口 10 万人あたり)



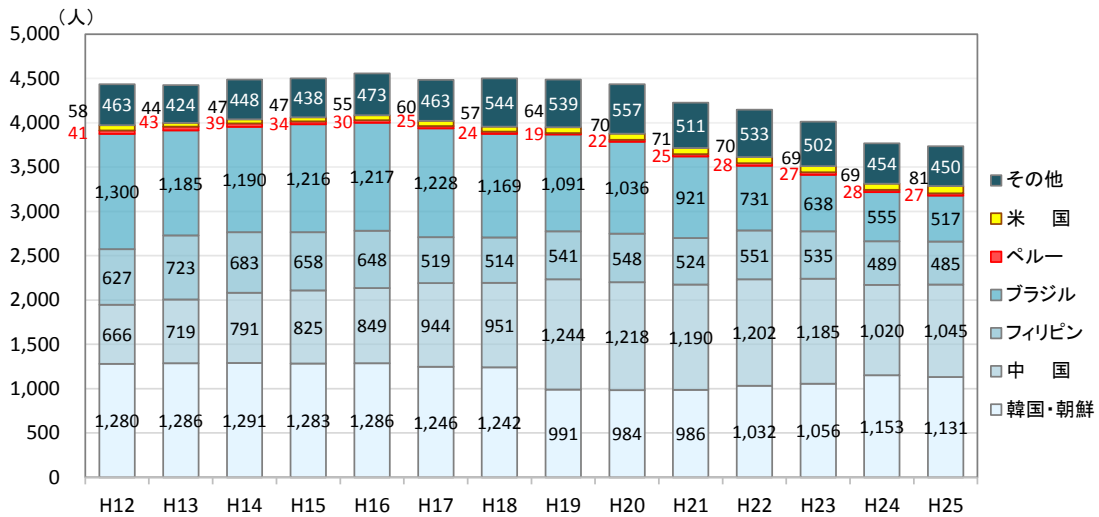
出典：松本市「松本市自殺対策推進計画」(平成 23 年)

第3節 福祉、人権分野

1. 外国籍住民

- 外国籍住民数は平成20年以降、減少傾向にある。特にブラジル籍の外国人住民数が顕著に減少している。

図表 21 外国人住民数の推移

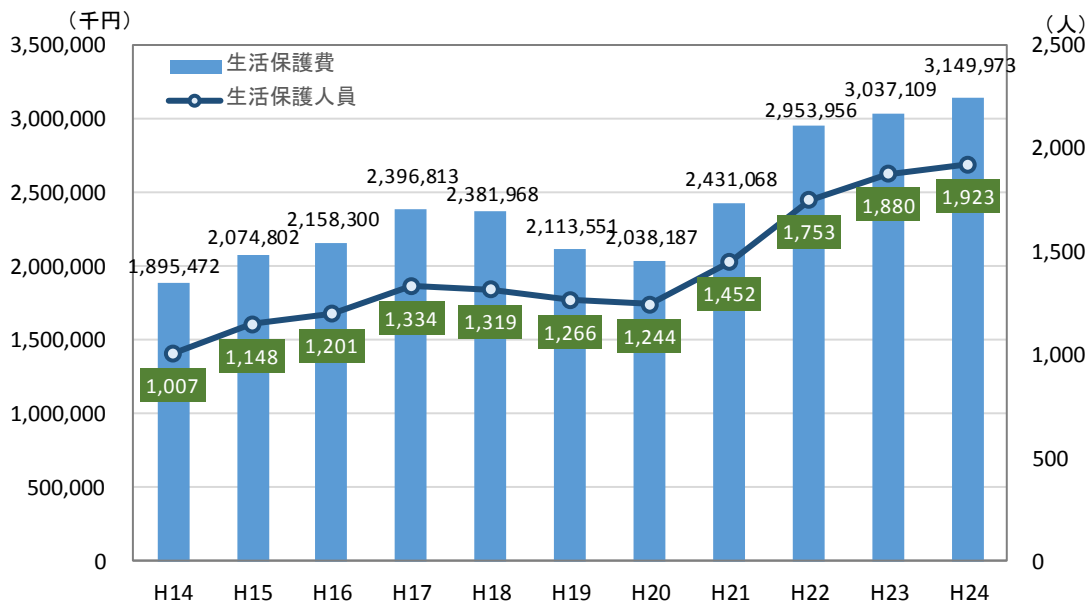


出典：法務省「在留外国人統計」（平成26年6月末）

2. 生活福祉

- 生活保護額、生活保護受給者数ともに増加し続けている。

図表 22 生活保護額と受給者数の推移

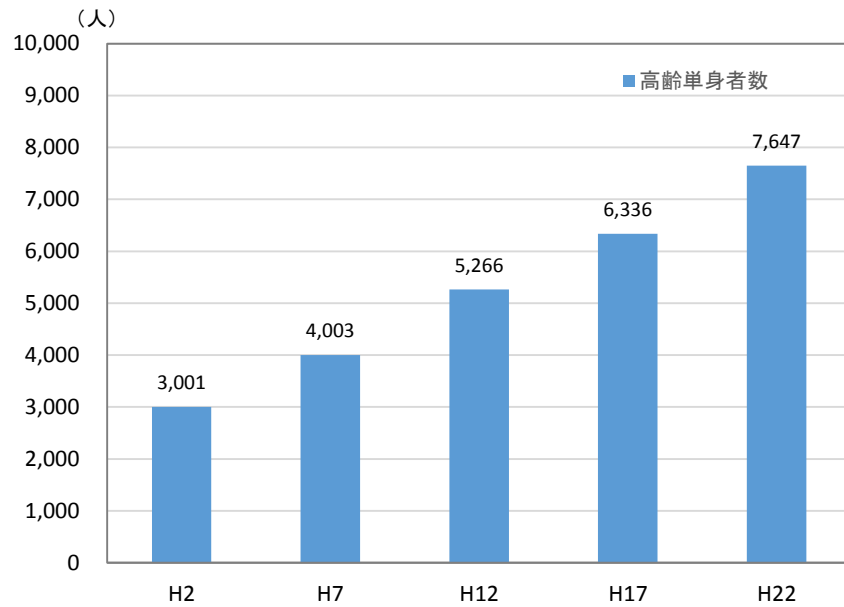


出典：松本市「市政概要」（平成26年）

3. 高齢者福祉

- 高齢者単身者数は増加の一途を辿っている。平成 22 年は、平成 2 年と比較すると、2.5 倍である。

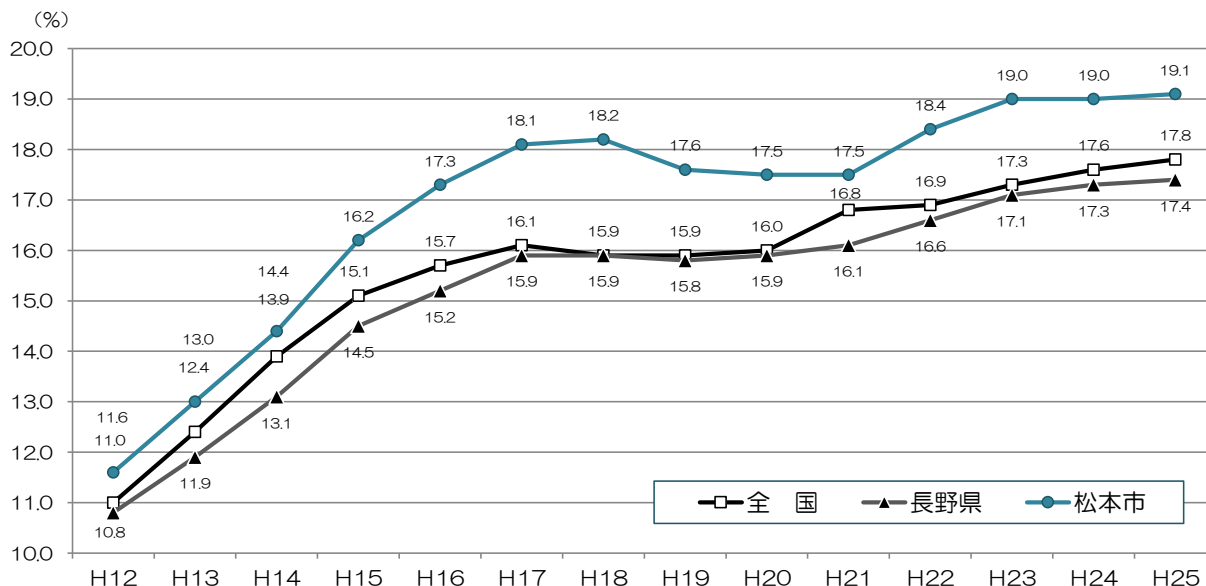
図表 23 高齢者単身者数の推移



出典：総務省「国勢調査」(平成 2 年～平成 22 年)

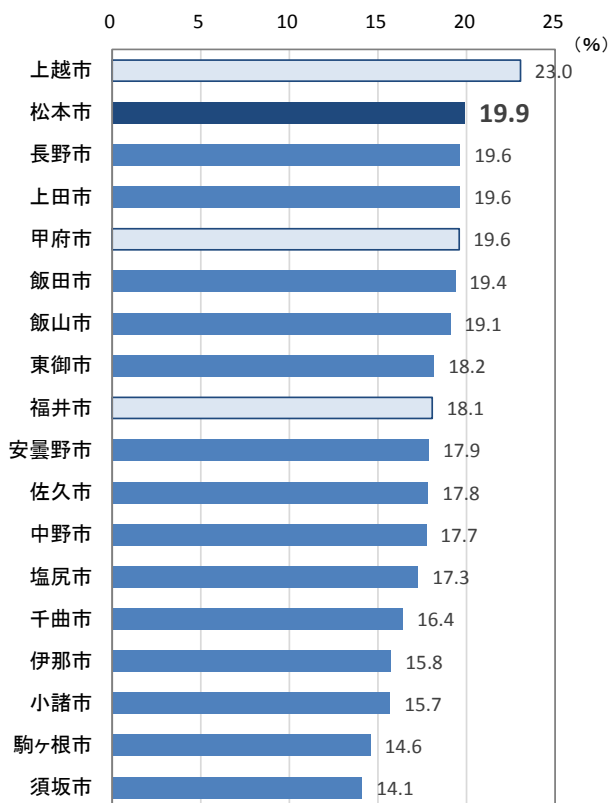
- 要介護認定率は一貫して全国や県よりも高い状況にある。平成18年の制度改正後、しばらく減少傾向にあったが、平成22年より増加傾向に転じている。
- 要介護認定率は19.9%で県内19中では第1位である。この数値は、高齢者のうち、何らかの支援が必要な高齢者の割合が多いということである。

図表 24 要介護認定率の推移



出典：松本市高齢福祉課

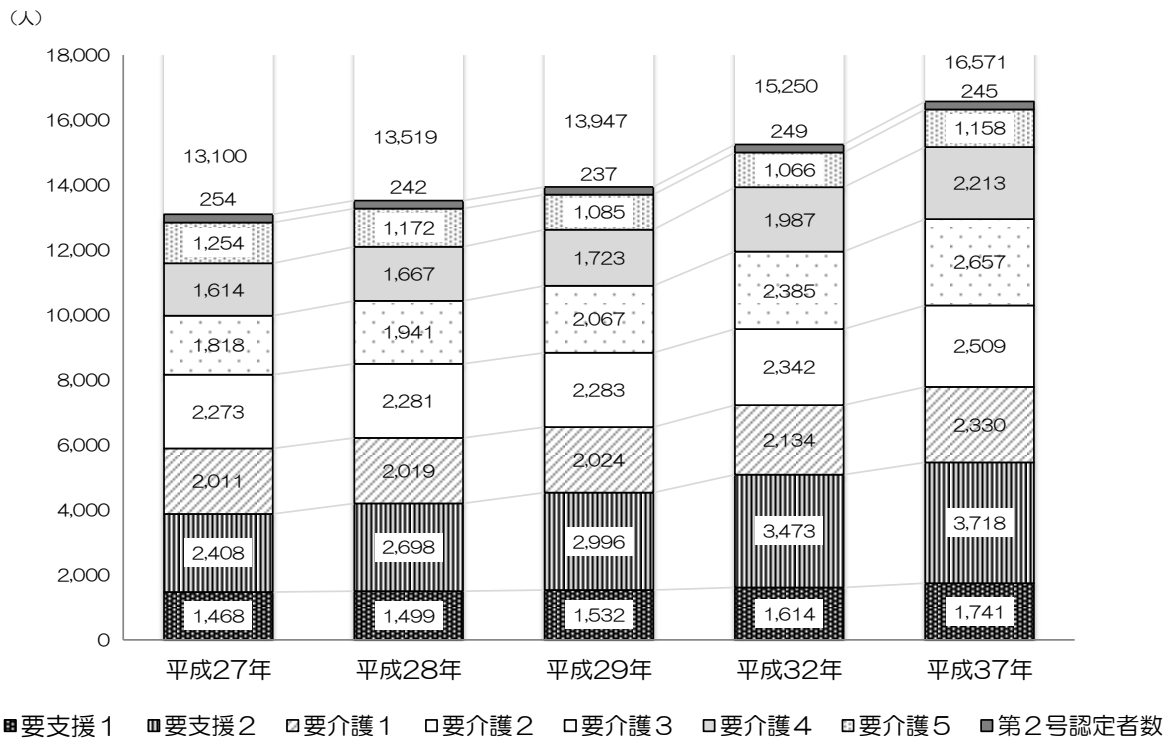
図表 25 要介護認定率（平成26年10月末）



出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（平成26年10月分）

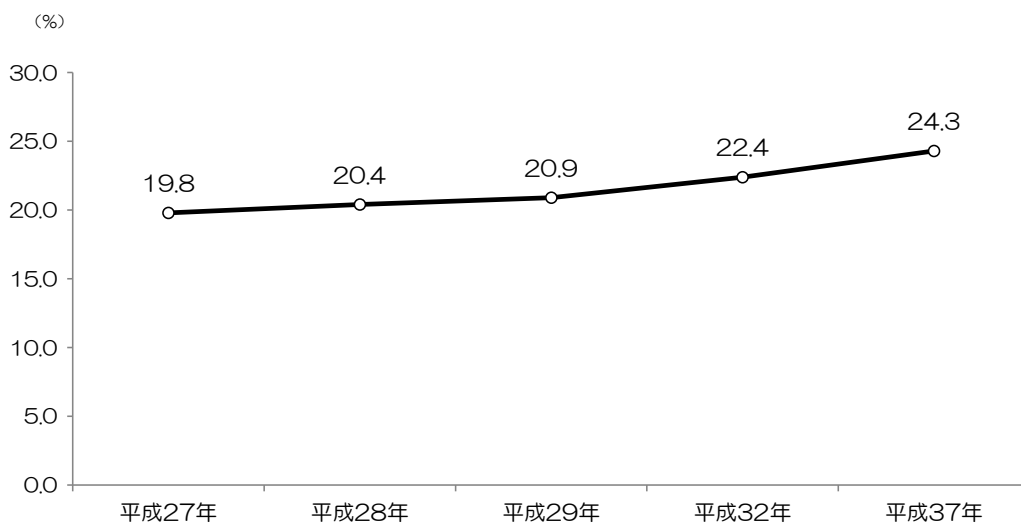
- 要介護認定者数は今後も増加する見込みで、平成37年は16,571人になると推計されている。
- 第1号被保険者(65歳以上)のうちの要介護認定率は増加していく見込みである。
- 介護予防給付額も要支援認定者が増えるのにもない増加する見込みである。

図表 26 要介護認定者数の推計



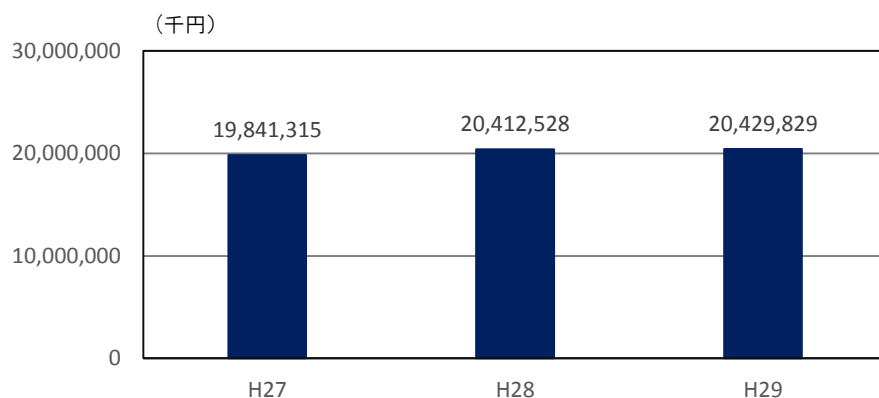
出典：松本市高齢福祉課

図表 27 要介護認定率（第1号被保険者）の推計



出典：松本市高齢福祉課

図表 28 介護予防給付費の推計

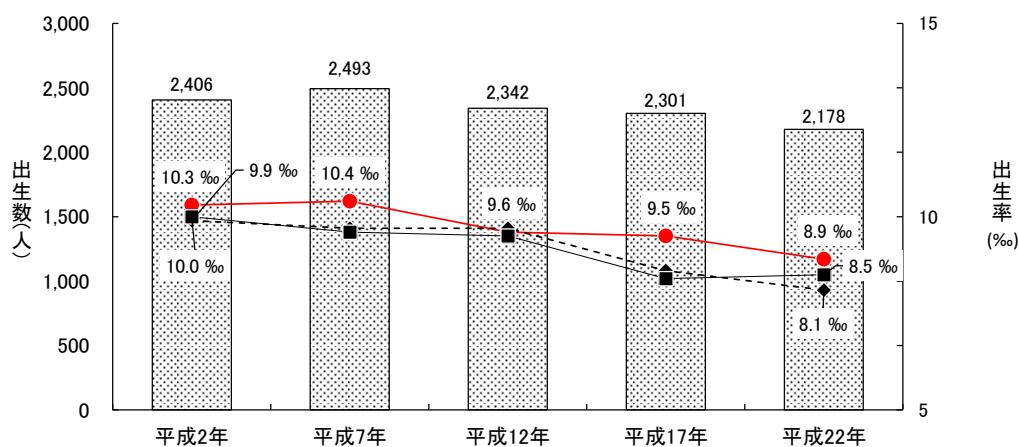


出典：松本市高齢福祉課

4. 児童福祉

- 本市の出生率は、減少傾向にあるが、全国や県平均よりは高い数値を維持している。
- 平成 23 年度の出生率では県内 19 市中で第 2 位である。

図表 29 出生数と出生率の推移



出典：人口動態統計/厚生労働省

(注1) 出生率は、人口 1,000 人に対する出生数の割合

(注2) 松本市のデータについては現在の市域に合わせて組み替えた数値

出生数(松本市)

出生率(松本市)

出生率(長野県)

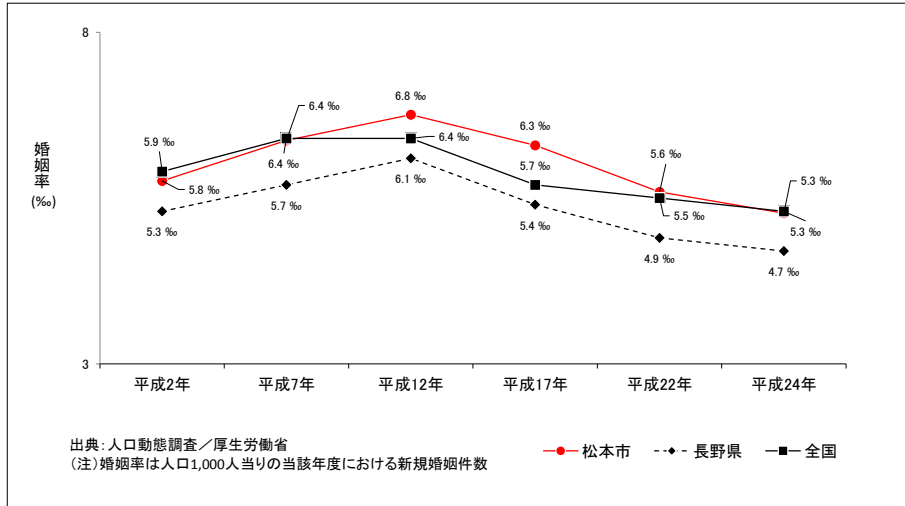
出生率(全国)

順位	自治体名	出生率	出生数	人口
1	諏訪市	9.3	473	50,996
2	松本市	8.9	2,175	243,439
3	茅野市	8.6	485	56,121
4	長野市	8.5	3,226	380,768

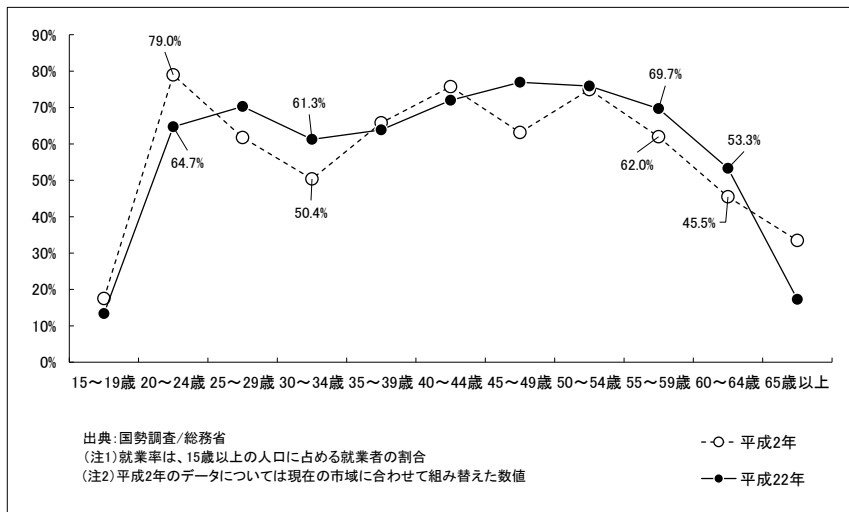
出典：長野県「人口動態統計」(平成 23 年 10 月 1 日現在)

- 婚姻率は、平成12年以降、減少傾向にありつつも、県や全国平均より高い数値を維持してきたが平成24年には全国平均並みになった。
- 女性の年齢階級別就業率では平成2年と平成22年を比較すると、30～40歳の数値が増加しており、就業状況の特徴である「M字カーブ」が緩やかになっている。
- 国・県・松本市女性の年齢階級別就業率を比較すると、国よりは高く、県よりは低い状況である。

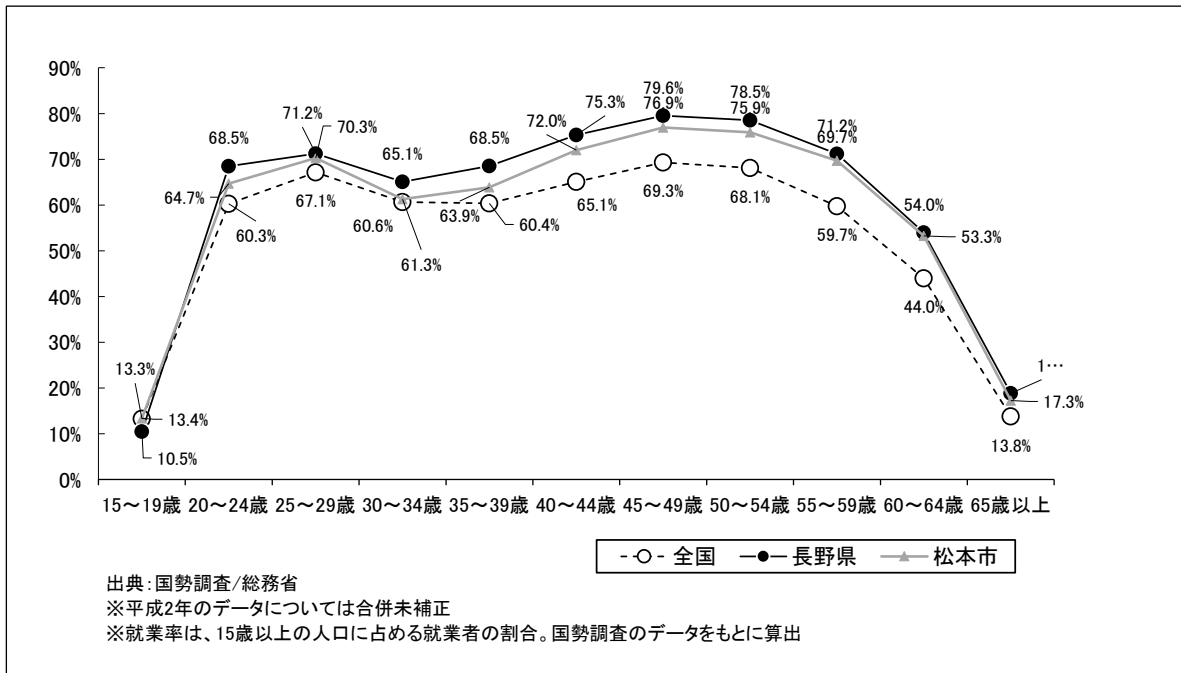
図表 30 婚姻率の推移



図表 31 女性の年齢階級別就業率

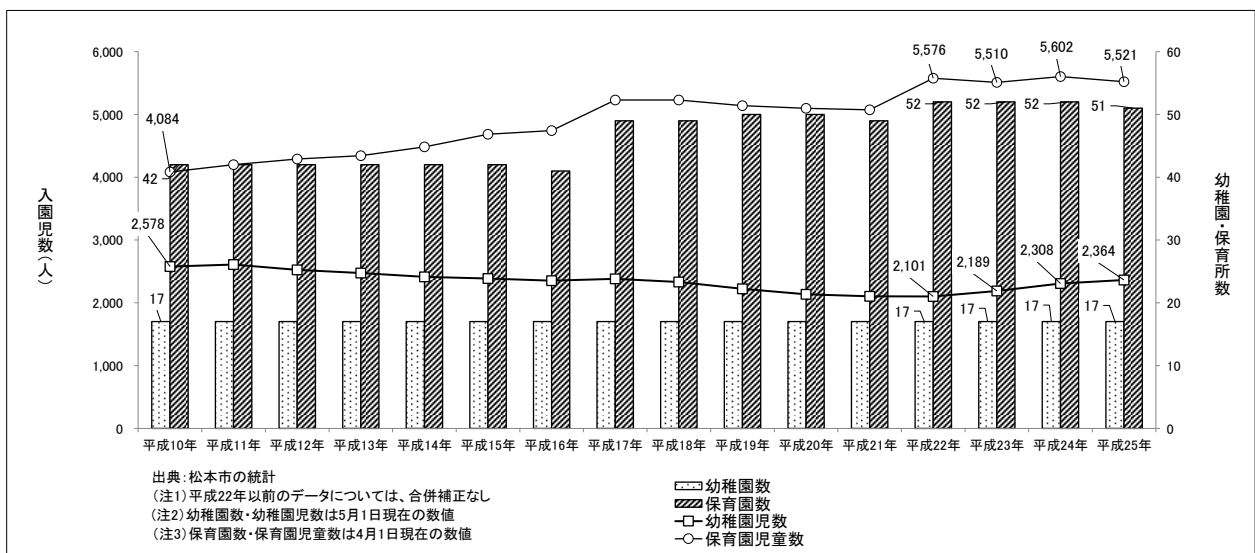


図表 32 女性の年齢階級別就業率（国・県・市の比較）

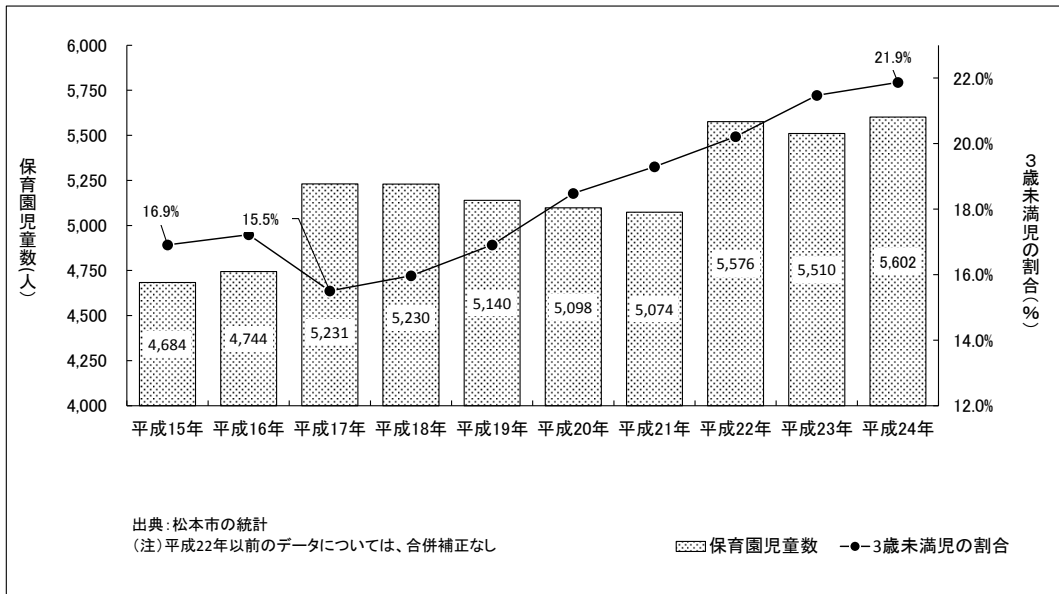


- 幼稚園児童数はほぼ横ばいである。保育園児童数は、平成22年に保育園数が増えたこともあり増加した。
- 保育園における3歳未満児の割合は増加傾向にある。3歳未満児の割合は、全国の比率と比較すると低くなっている。

図表 33 保育園・幼稚園の施設数と入園児数

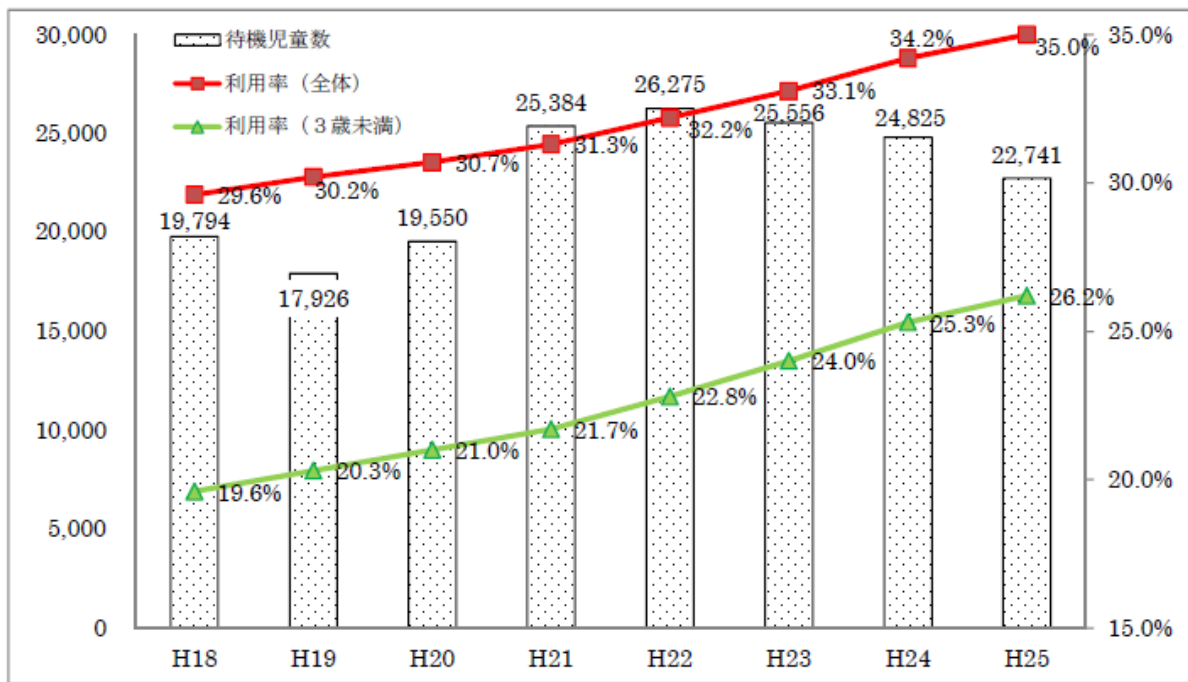


図表 34 保育園における3歳未満児の割合



図表 35 国保育園・幼稚園の施設数と入園児数

(保育所待機児童数及び保育所利用率の推移)



出典：厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」(平成25年4月1日)

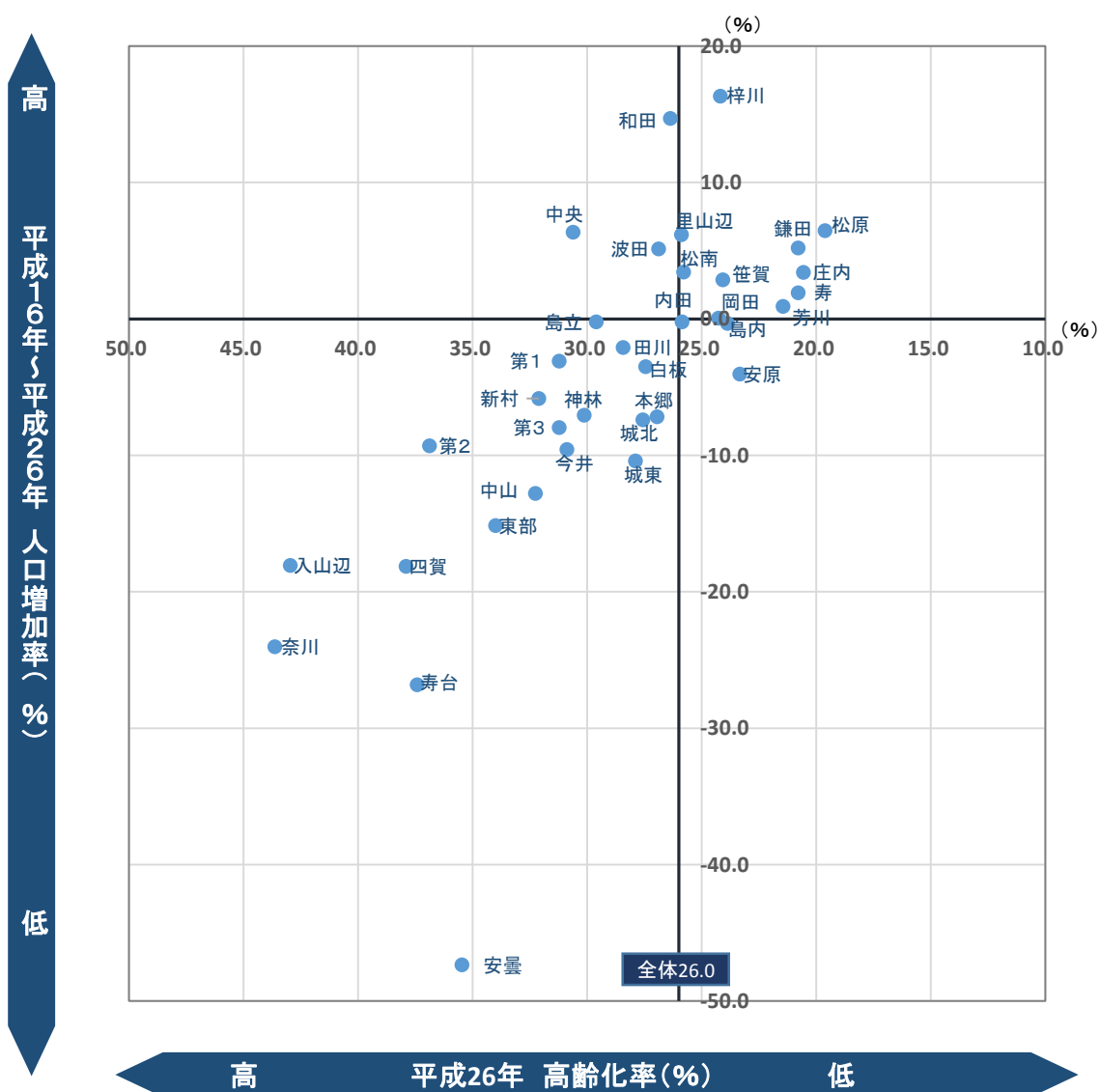
※保育所利用率＝当該年齢の保育所利用児童数÷当該年齢の就学前児童数

第4節 地域づくり分野

1. 地区別の高齢化率と人口増加率

- 地区別の高齢化率と過去10年の人口増減率を組み合わせ示したものである。
- 安曇地区、寿台地区、奈川地区、入山辺地区、四賀地区が人口増加率が-15%を下回り、高齢化率は35%を超えている。人口が少なくなり、高齢化が進んでいる地区である。
- 梓川地区、和田地区はここ10年で人口が増加し、高齢化率も平均的であることがわかる。

図表 36 地区別高齢化率と人口増減率（平成16年～平成26年）



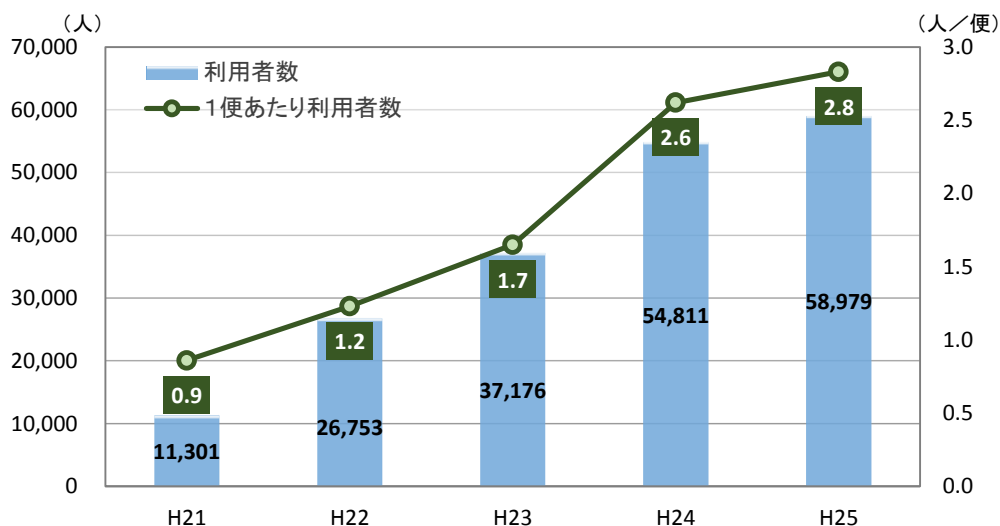
	平成16年10月1日					平成26年10月1日					平成26年 高齢化率	平成16年～ 平成26年 人口増加率
	総数 (人)	0～14歳 (人)	15～64歳 (人)	65歳～ (人)	65歳以上割 合 (%)	総数 (人)	0～14歳 (人)	15～64歳 (人)	65歳～ (人)	65歳以上割 合 (%)		
第1地区	1,499	138	924	437	29.2	1,454	104	896	454	31.2	31.2	-3.1
第2地区	3,010	261	1,751	998	33.2	2,754	216	1,522	1,016	36.9	36.9	-9.3
第3地区	4,418	510	2,747	1,161	26.3	4,092	475	2,339	1,278	31.2	31.2	-8.0
東部地区	3,854	414	2,380	1,060	27.5	3,347	317	1,892	1,138	34.0	34.0	-15.1
中央地区	2,343	250	1,411	682	29.1	2,502	281	1,455	766	30.6	30.6	6.4
城北地区	8,230	1,246	5,033	1,951	23.7	7,663	1,080	4,470	2,113	27.6	27.6	-7.4
安原地区	5,027	694	3,285	1,048	20.8	4,832	697	3,007	1,128	23.3	23.3	-4.0
城東地区	4,222	477	2,748	997	23.6	3,824	404	2,353	1,067	27.9	27.9	-10.4
白旗地区	6,198	756	3,995	1,447	23.3	5,989	717	3,628	1,644	27.5	27.5	-3.5
田川地区	3,803	417	2,468	918	24.1	3,725	444	2,222	1,059	28.4	28.4	-2.1
庄内地区	14,380	2,431	9,585	2,364	16.4	14,888	2,157	9,668	3,063	20.6	20.6	3.4
鎌田地区	18,026	2,854	12,193	2,978	16.5	19,014	2,992	12,069	3,953	20.8	20.8	5.2
松南地区	5,484	956	3,471	1,057	19.3	5,679	812	3,402	1,465	25.8	25.8	3.4
島内地区	12,419	2,128	8,034	2,257	18.2	12,427	1,759	7,652	3,016	24.3	24.3	0.1
中山地区	4,031	560	2,609	862	21.4	3,574	301	2,120	1,153	32.3	32.3	-12.8
島立地区	7,070	1,017	4,393	1,660	23.5	7,055	979	3,987	2,089	29.6	29.6	-0.2
新村地区	3,556	422	2,239	895	25.2	3,360	383	1,898	1,079	32.1	32.1	-5.8
和田地区	3,498	455	2,114	929	26.6	4,101	691	2,328	1,082	26.4	26.4	14.7
神林地区	5,178	779	3,364	1,035	20.0	4,837	639	2,740	1,458	30.1	30.1	-7.0
笹賀地区	11,025	1,790	7,389	1,846	16.7	11,351	1,789	6,829	2,733	24.1	24.1	2.9
芳川地区	16,501	2,758	11,096	2,647	16.0	16,654	2,461	10,619	3,574	21.5	21.5	0.9
寿地区	14,282	2,629	9,479	2,174	15.2	14,562	2,328	9,205	3,029	20.8	20.8	1.9
寿台地区	4,270	694	2,663	913	21.4	3,367	364	1,743	1,260	37.4	37.4	-26.8
岡田地区	7,259	1,130	4,833	1,296	17.9	7,236	1,085	4,423	1,728	23.9	23.9	-0.3
入山辺地区	2,542	217	1,417	908	35.7	2,153	168	1,060	925	43.0	43.0	-18.1
里山辺地区	11,131	1,533	7,217	2,381	21.4	11,863	1,727	7,065	3,071	25.9	25.9	6.2
今井地区	4,433	601	2,805	1,027	23.2	4,046	426	2,370	1,250	30.9	30.9	-9.6
内田地区	2,437	359	1,659	419	17.2	2,432	344	1,459	629	25.9	25.9	-0.2
本郷地区	15,566	2,125	10,016	3,425	22.0	14,524	1,942	8,667	3,915	27.0	27.0	-7.2
松原地区	2,755	385	2,119	251	9.1	2,946	448	1,920	578	19.6	19.6	6.5
四賀地区	5,830	692	3,199	1,939	33.3	4,935	383	2,681	1,871	37.9	37.9	-18.1
安曇地区	2,505	265	1,657	583	23.3	1,700	140	957	603	35.5	35.5	-47.4
奈川地区	1,012	119	543	350	34.6	816	69	391	356	43.6	43.6	-24.0
梓川地区	10,928	1,628	6,782	2,518	23.0	13,061	2,257	7,645	3,159	24.2	24.2	16.3
波田地区	14,869	2,379	9,597	2,893	19.5	15,673	2,264	9,196	4,213	26.9	26.9	5.1

出典：松本市「地区別年齢別人口」（平成16年、平成26年）

2. 地域公共交通

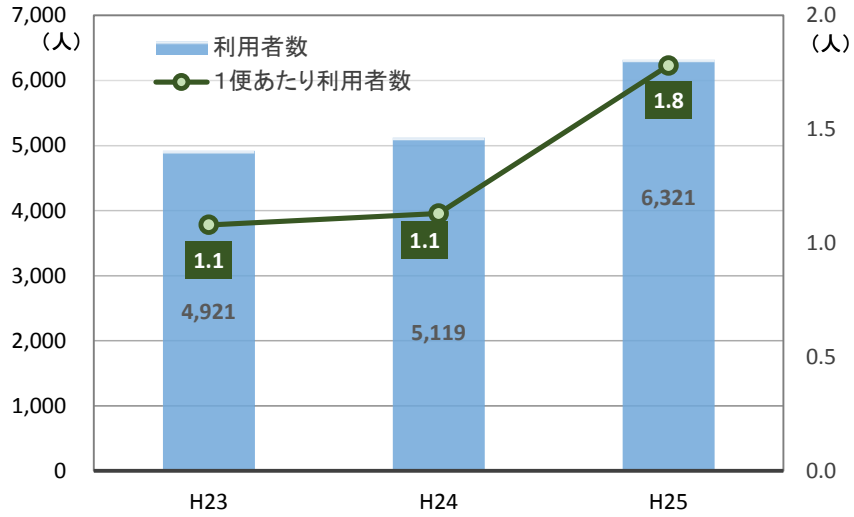
- コミュニティバスの利用者数は路線の拡張等もあり、年々増加している。

図表 37 公共交通利用者数推移（コミュニティバス）



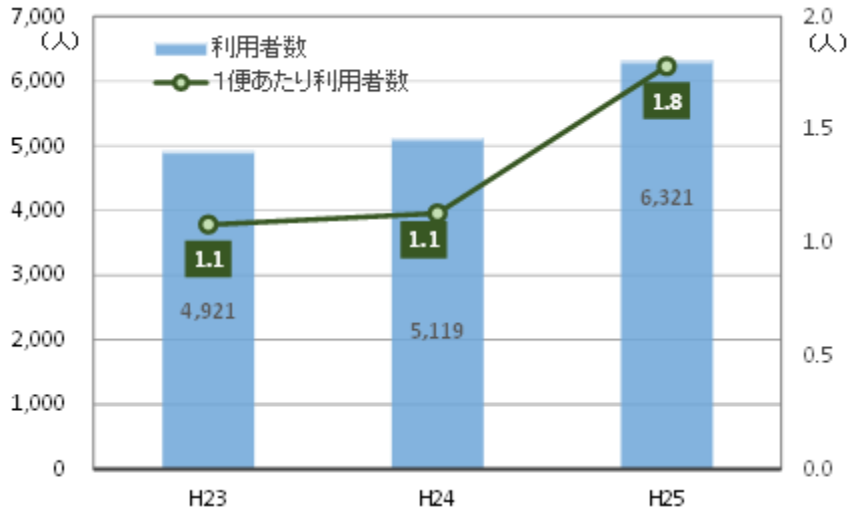
出典：松本市都市交通課「コミュニティバス評価検証報告書」

図表 38 公共交通利用者数推移（奈川線）



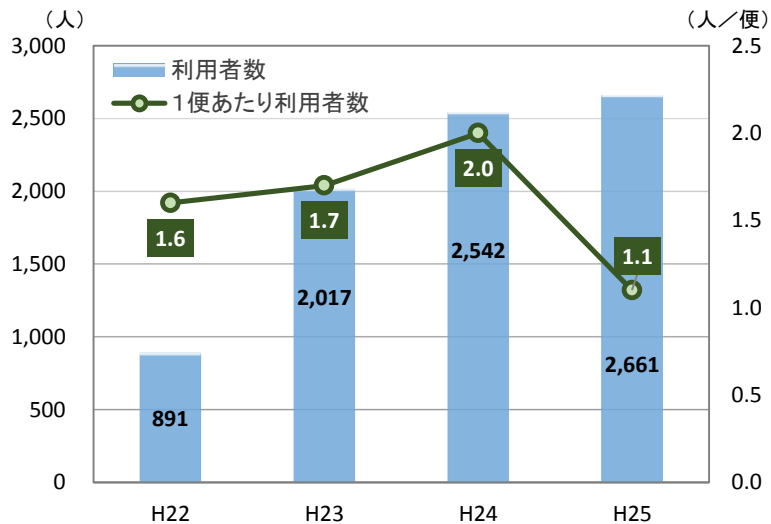
出典：松本市都市交通課「コミュニティバス評価検証報告書」

図表 39 公共交通利用者数推移（四賀市営バス）



出典：松本市都市交通課「コミュニティバス評価検証報告書」

図表 40 公共交通利用者数推移（四賀地域バス）

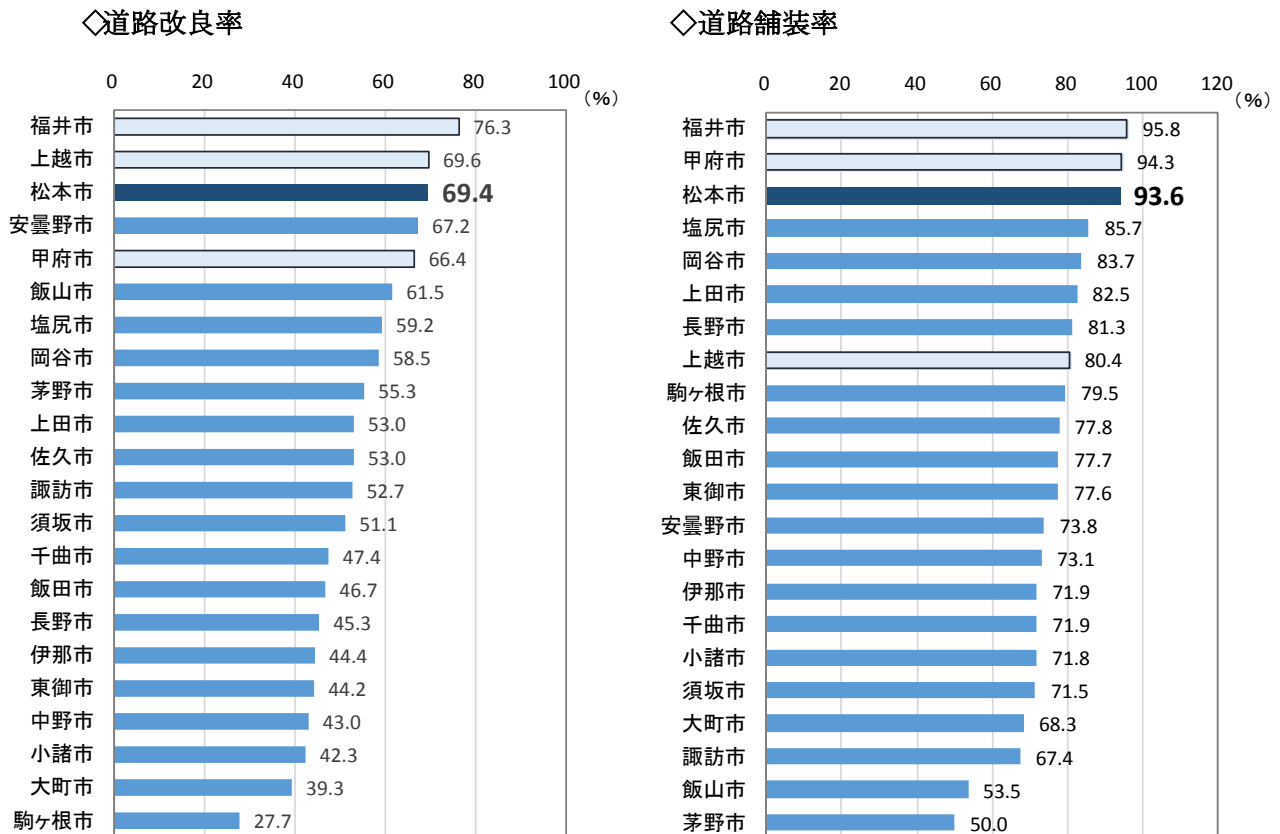


出典：松本市都市交通課「コミュニティバス評価検証報告書」

3. 道路整備

- 道路改良率が69.4%、道路舗装率が93.6%で、県内19市中ではともに第1位である。道路整備については、現状評価及び市民調査等で課題としてあがっている項目であるが、他市と比較すると改良率、舗装率はよい状態といえる。

図表 41 道路改良率・道路舗装率（平成24年4月1日）（県下19市+甲府市・上越市・福井市）



出典：長野県「市町村100の指標」（平成25年4月1日現在）

出典：新潟県100の指標（平成25年4月1日現在）

出典：甲府市過疎地域自立促進計画（平成22年）

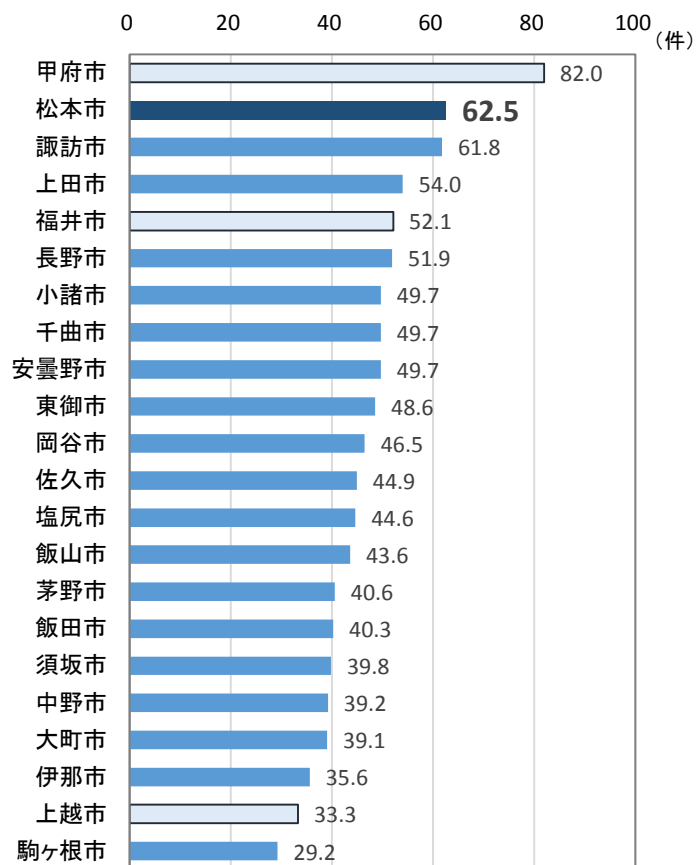
出典：福井市過疎地域自立促進計画（平成22年）

※甲府市と福井市は平成20年のデータ

4. 交通安全

- 人口1万人あたりの交通事故発生件数は62.5件であり、県内では最も多い。

図表 42 人口1万人あたりの交通事故発生件数（平成25年）
（県下19市+甲府市・上越市・福井市）



出典：長野県「市町村100の指標」（平成25年）

出典：山梨県「統計データバンク 交通事故統計」（平成25年）

出典：新潟県「100の指標」（平成25年度）

出典：福井市「福井市統計書」（平成25年度）

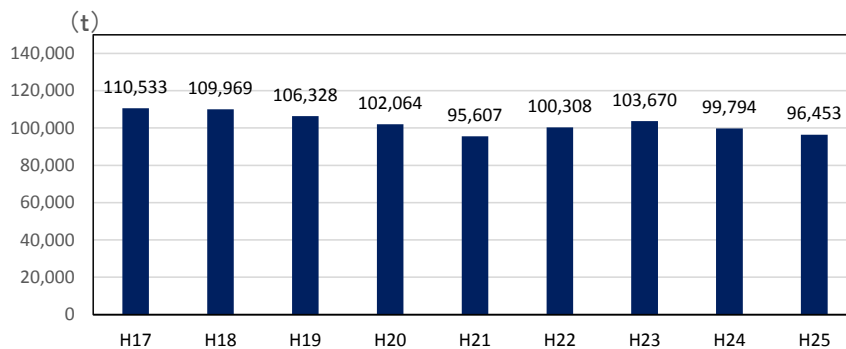
※福井市のデータのみ平成24年のデータ

第5節 環境分野

1. 廃棄物処理

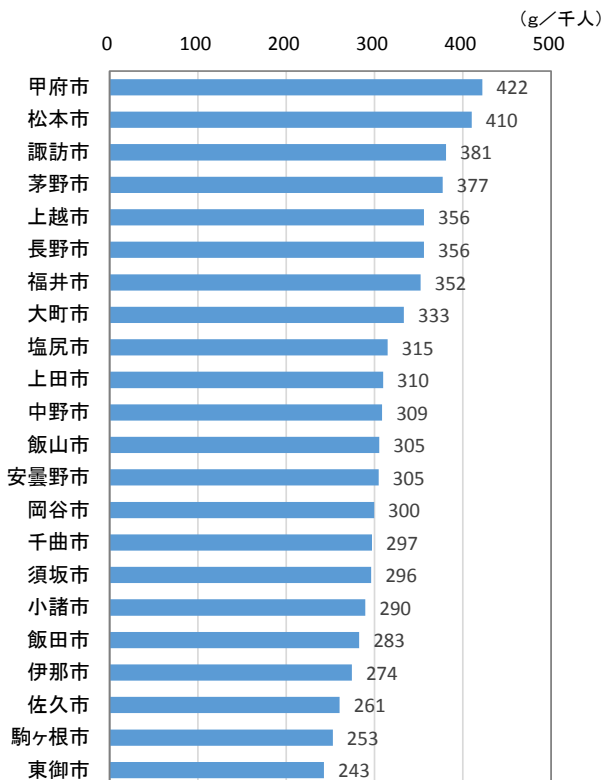
- 人口千人あたりの年間ごみ総排出量は県内では最も多い。
- 一般廃棄物リサイクル率は県内 19 市中最低位であり、リサイクルへの意識は低いといえる。
- 市民満足度調査での施策評価において、「ごみの資源化・分別に取り組んでいる」に関しては、平均点が市全体 3.20 点、市民の行動 3.29 点と高くなっていった。市民の意識と実態に開きがあるといえる

図表 43 ごみ年間総排出量の推移



出典：松本市「松本市の統計」

図表 44 人口千人あたりの年間ごみ総排出量
(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)



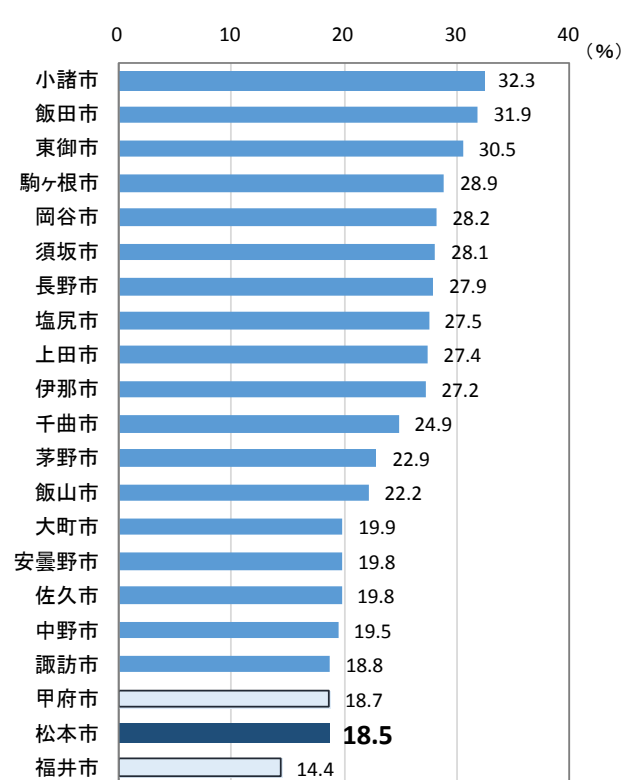
出典：長野県「市町村 100 の指標」(平成 25 年)

出典：甲府市「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」(平成 26 年 3 月)

出典：上越市「上越市の環境」(平成 26 年)

出典：福井市「福井市統計書」(平成 25 年度)

図表 45 一般廃棄物リサイクル率
(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)



出典：長野県「市町村 100 の指標」(平成 25 年)

出典：甲府市「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」(平成 26 年 3 月)

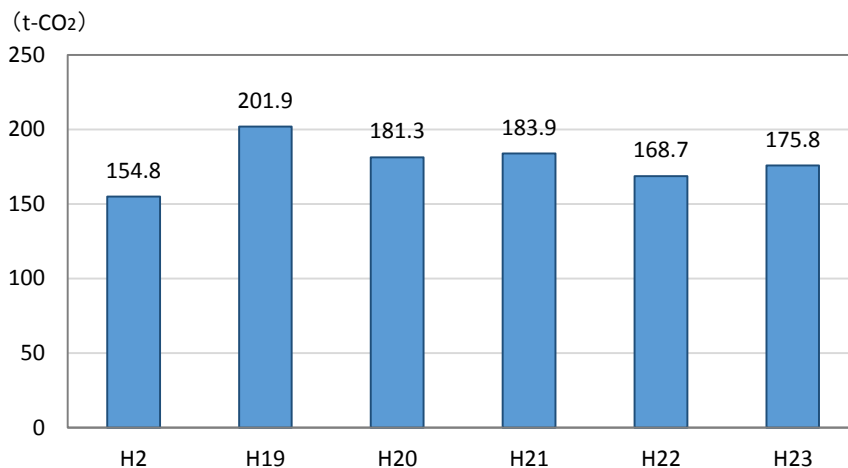
出典：上越市「第 1 回上越市環境審議会 資料」(平成 25 年度)

出典：福井市「平成 26 年版福井市の環境」(福井市の環境概要)

2. 地球温暖化・公害

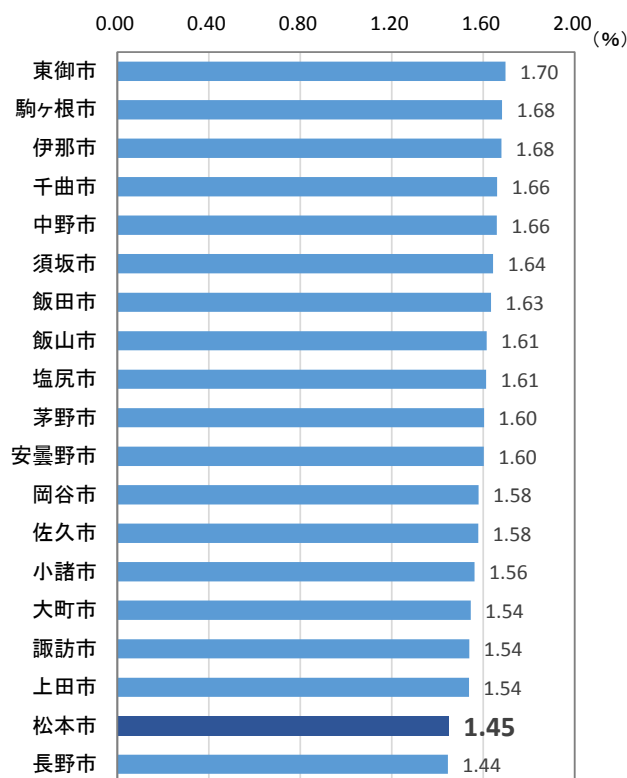
- 温室効果ガスの排出量は、横ばいの状態である。
- 1世帯あたり自動車保有台数は1.45台と、県平均よりは少ない。
- 公害苦情件数は県と比較すると少ない。県は減少傾向にあるが、本市はあまり変化がない。

図表 46 温室効果ガス排出量の推移



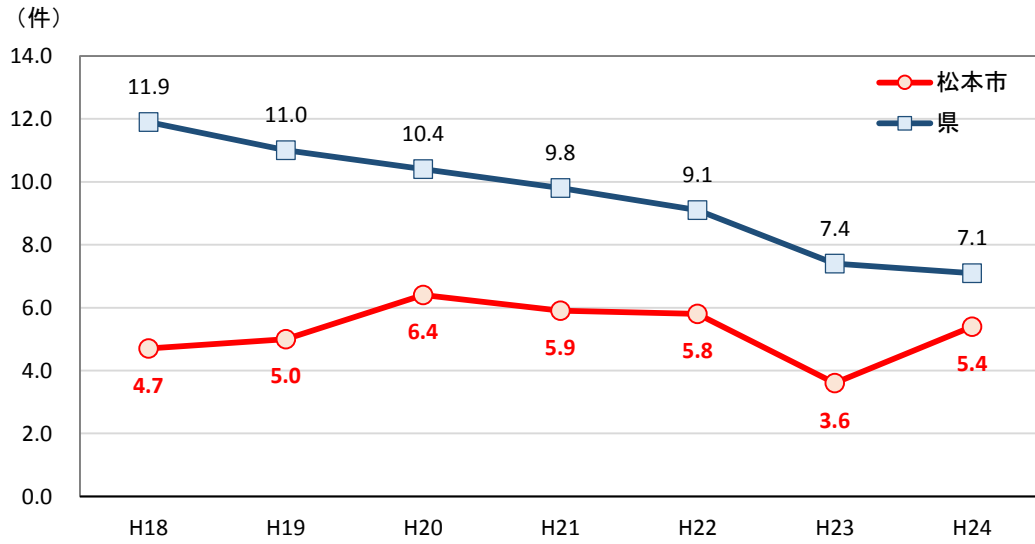
出典：松本市「平成25年度 第3次松本市環境基本計画年次報告書」(平成26年)

図表 47 1世帯あたり自動車保有台数



出典：長野県「市町村100の指標」(平成20年～平成25年)

図表 48 人口1万人あたりの公害苦情件数の推移



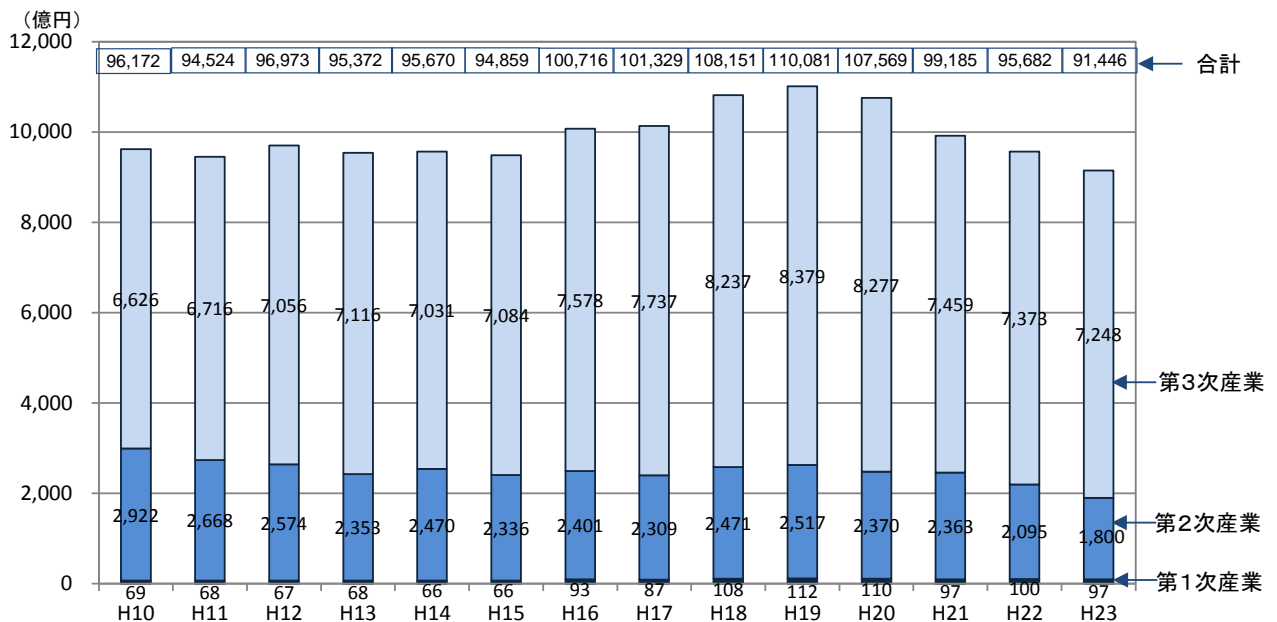
出典：長野県「市町村100の指標」(平成18年～平成24年)

第6節 経済・産業分野

1. 産業全体

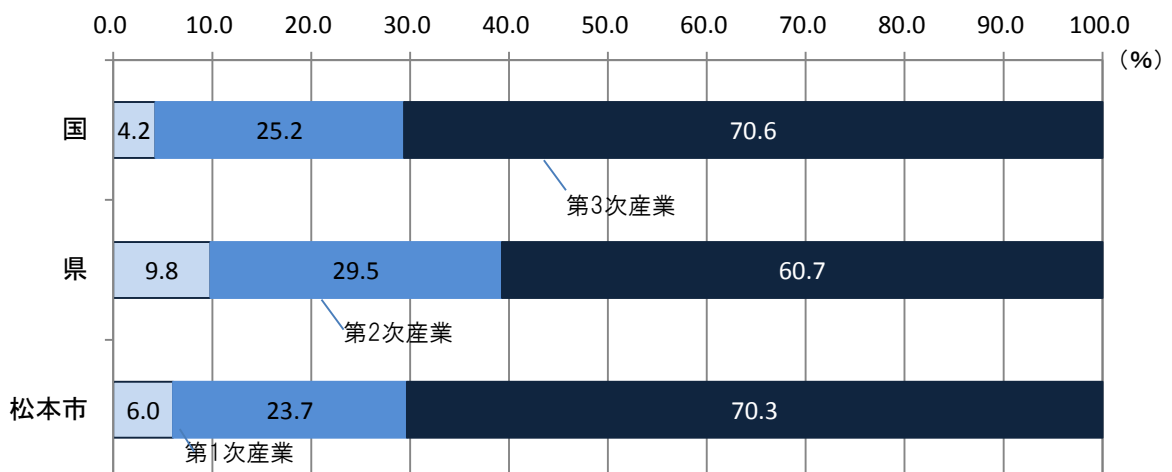
- 市内総生産額はどの産業においても減少傾向にある。
- 産業別就業者構成比では、7割が第3次産業で就労していることがわかる。
- 就業者数は122,051人であり、県内19市中では第2位であるが、就業率は58.7%で第11位である。また、女性の就業率は48.8%で第12位である。
- 産業別就業者数の推移を見ると、第1次産業、第2次産業の就業者は減少傾向にあるが、第3次産業は増加傾向にある。

図表 49 市内総生産額の推移



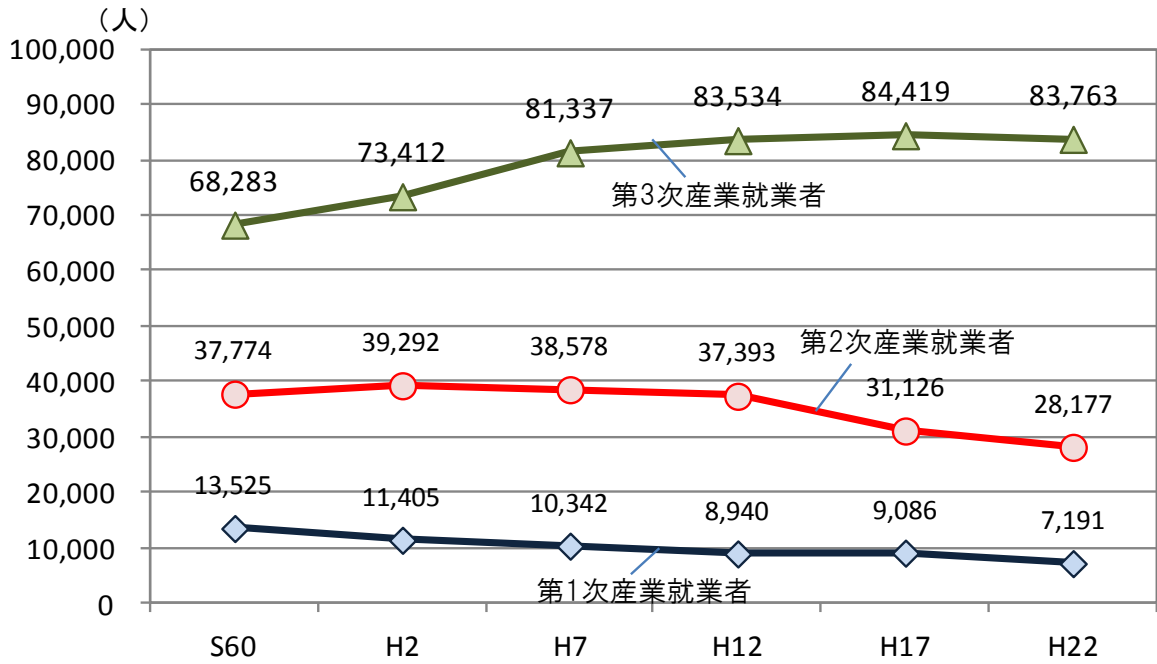
出典：松本市「松本市の統計」（平成10年～平成23年）
 ※数値は遡及改定しているため、単純に比較できない

図表 50 産業別就業者構成比



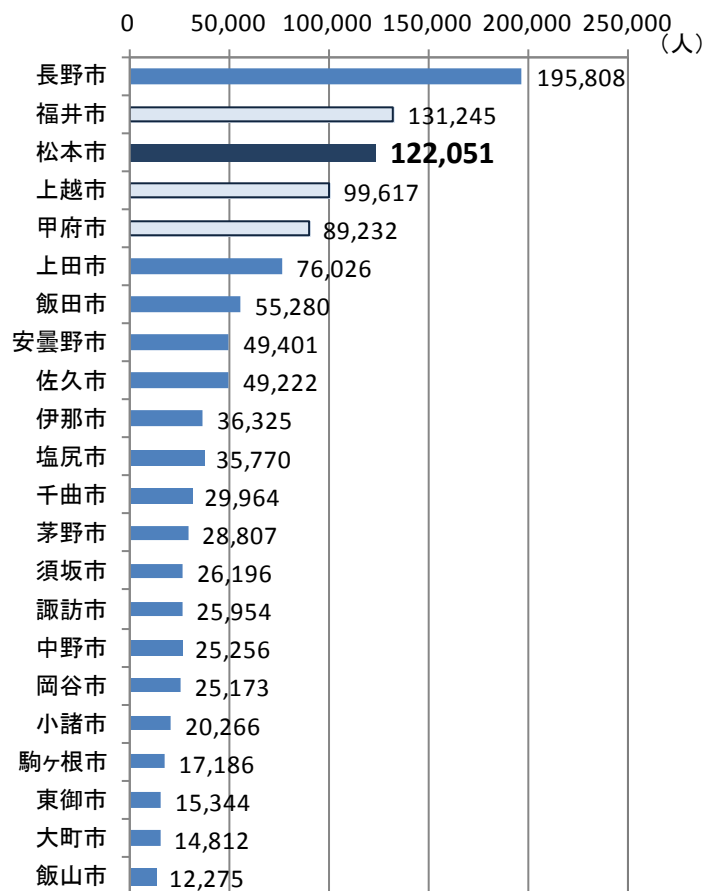
出典：総務省「国勢調査」（平成22年）

図表 51 産業別就業者数の推移



出典：総務省「国勢調査」（昭和60年～平成22年）

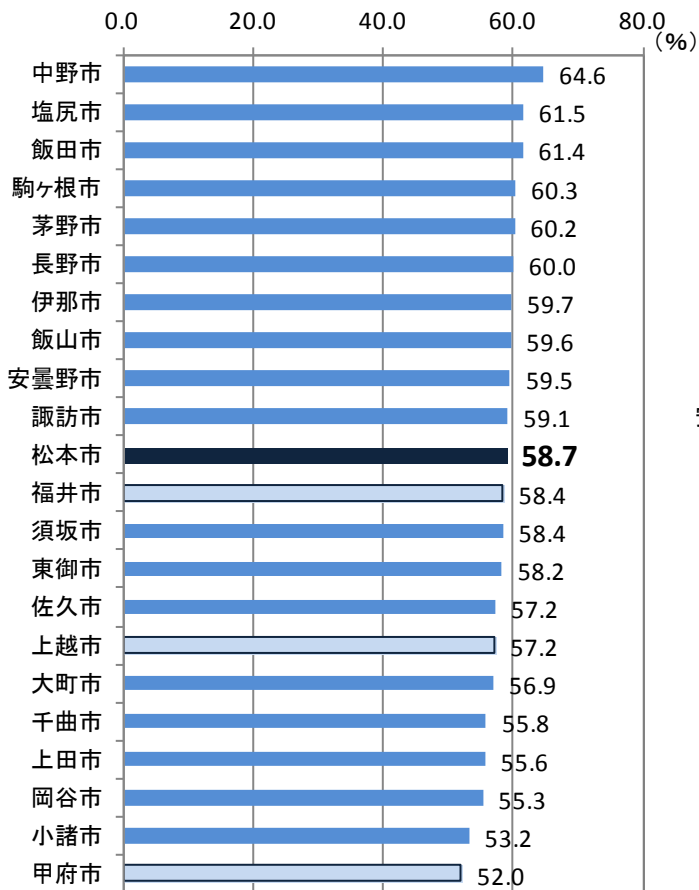
図表 52 就業者数比較(県下19市+甲府市・上越市・福井市)



出典：総務省「国勢調査」（平成22年）

図表 53 就業率比較

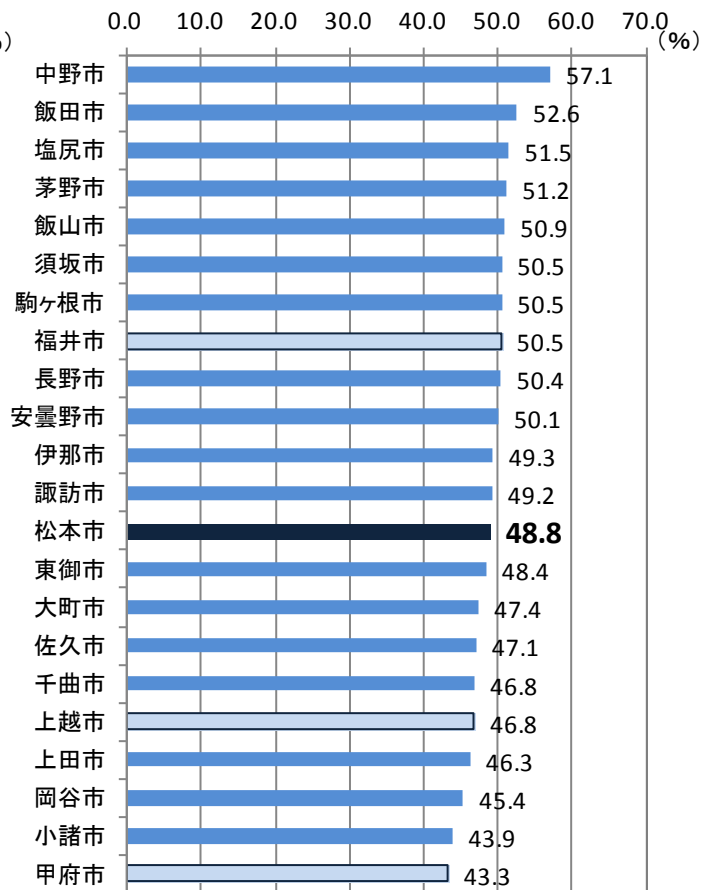
(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)



出典：総務省「国勢調査」(平成 22 年)

図表 54 女性の就業率

(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)



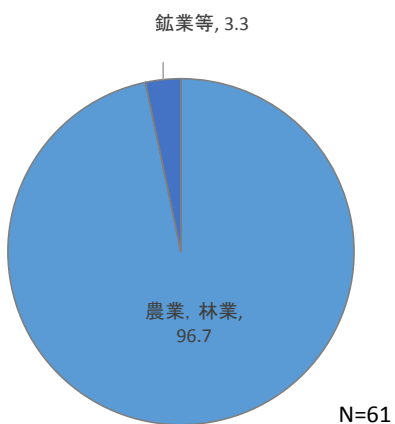
出典：総務省「国勢調査」(平成 22 年)

2. 第1次産業

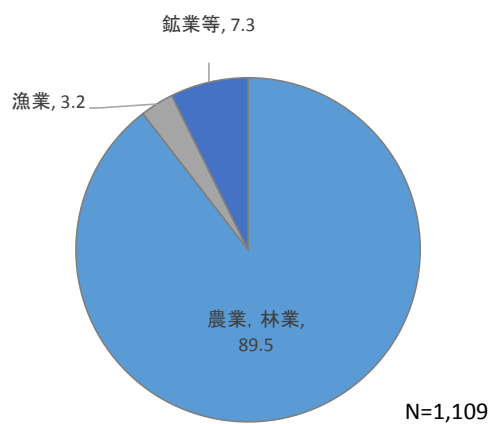
- 事業所の構成比をみると、ほとんどが農林業である。
- 事業所規模をみると、全県に比べ、1～4人の事業所が少なく、5人以上の事業所が多い。50人以上、100人以上の事業所も比較的多くみられる。

図表 55 第1次産業の事業所の構成比（松本市・長野県）

松本市

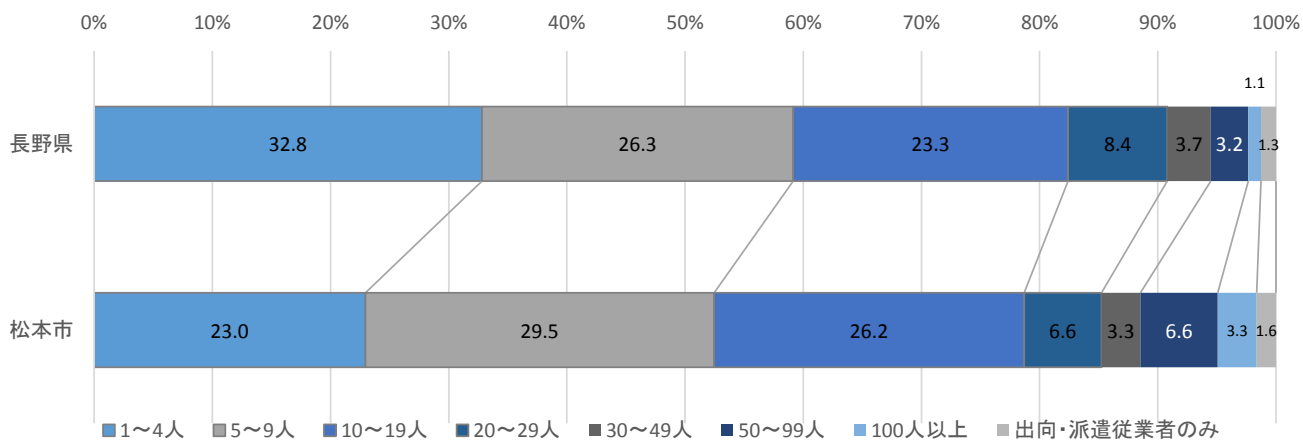


長野県



出典：経済産業省「経済センサス」（平成24年）

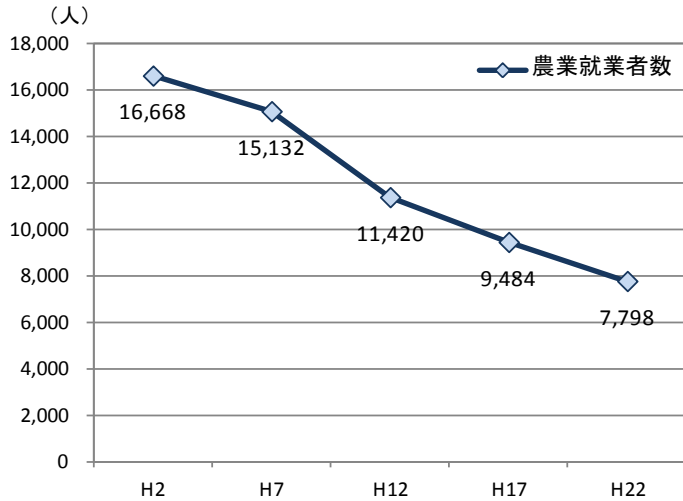
図表 56 第1次産業の事業所規模の構成比



出典：経済産業省「経済センサス」（平成24年）

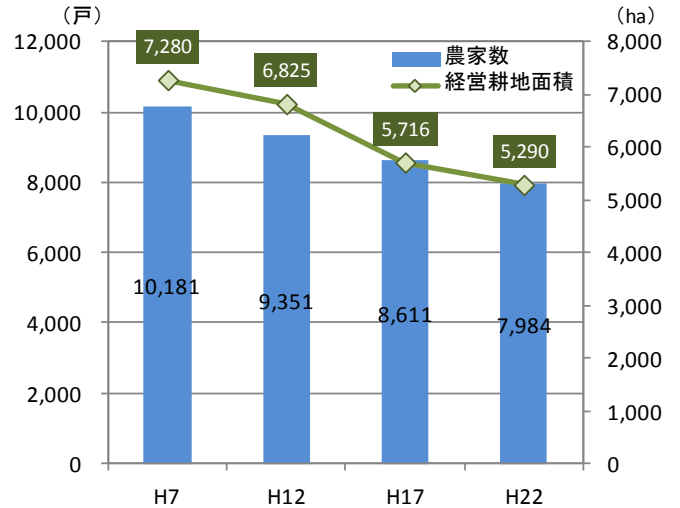
- 農業就業者は 20 年間で半減しており、自営農家の後継者が不足している。
- 農家数は県内 19 市では第 2 位の 7,984 戸だが、減少を続けており、それともない経営耕地面積も縮小している。
- 農林業従事者の平均年齢は 57.5 歳と県内 19 市中では比較的若い。

図表 57 農業就業の推移



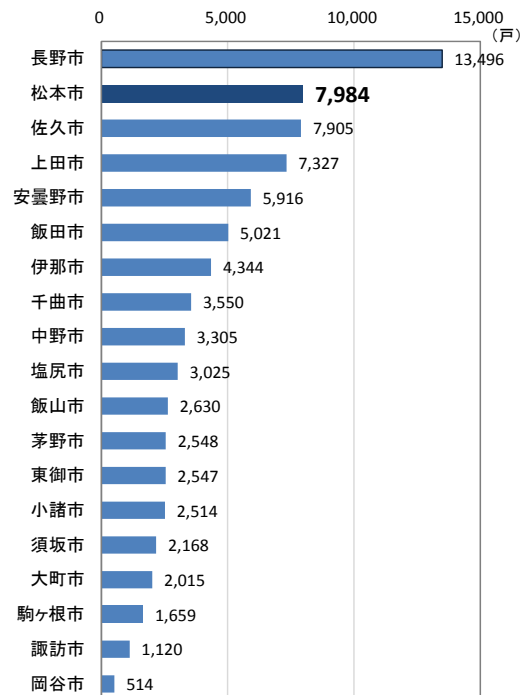
出典：農林水産省「農林業センサス」（平成 2 年～平成 22 年）

図表 58 農家数・経営耕作地面積の推移



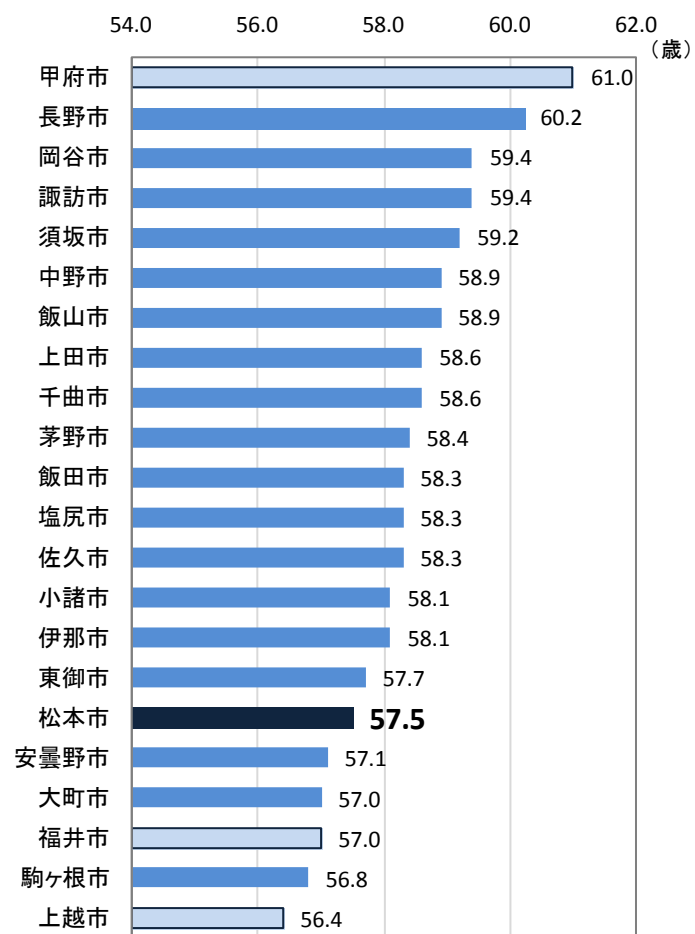
出典：農林水産省「農林業センサス」（平成 7 年～平成 22 年）

図表 59 農家数の比較（県下 19 市）



出典：農林水産省「農林業センサス」（平成 22 年）

図表 60 農林業従事者の平均年齢(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)



出典：農林水産省「農林業センサス」(平成 22 年)

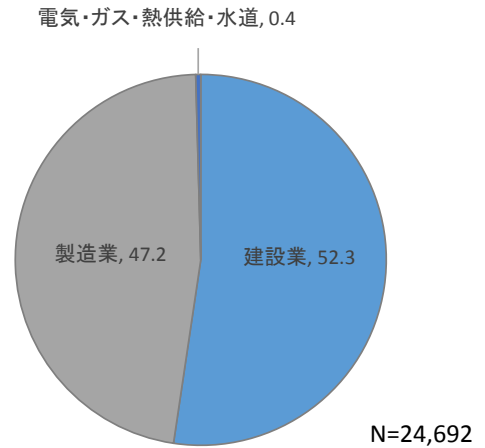
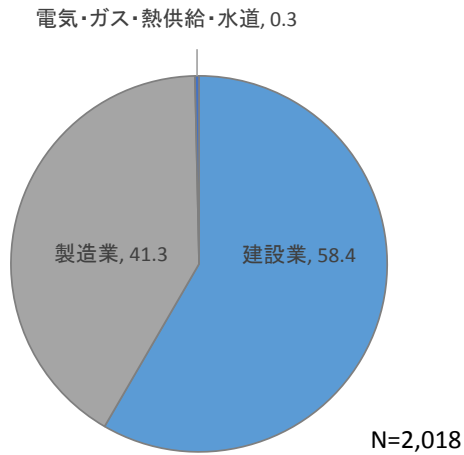
3. 第2次産業

- 第2次産業の事業所の構成比をみると全県平均より建設業の割合が大きい。
- 事業所規模の構成比をみると1～4人の事業所が半数を占める。

図表 61 第2次産業の事業所の構成比（松本市・長野県）

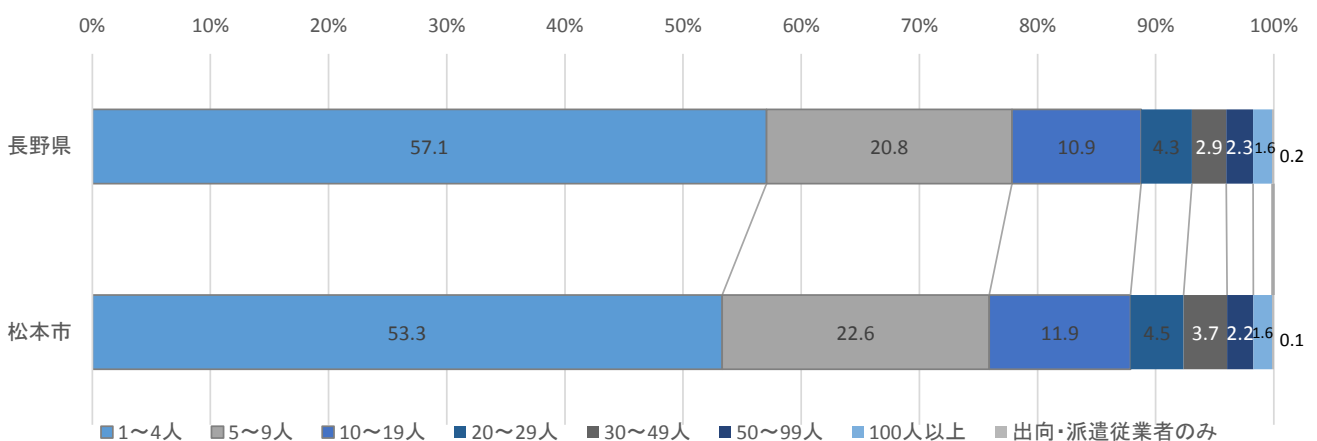
松本市

長野県



出典：経済産業省「経済センサス」（平成24年）

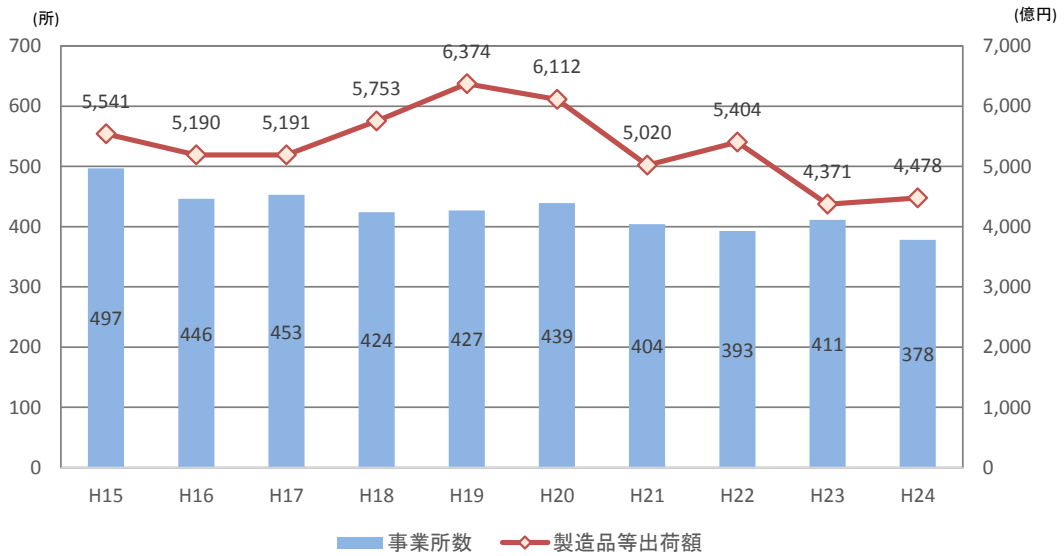
図表 62 第2次産業の事業所規模の構成比



出典：経済産業省「経済センサス」（平成24年）

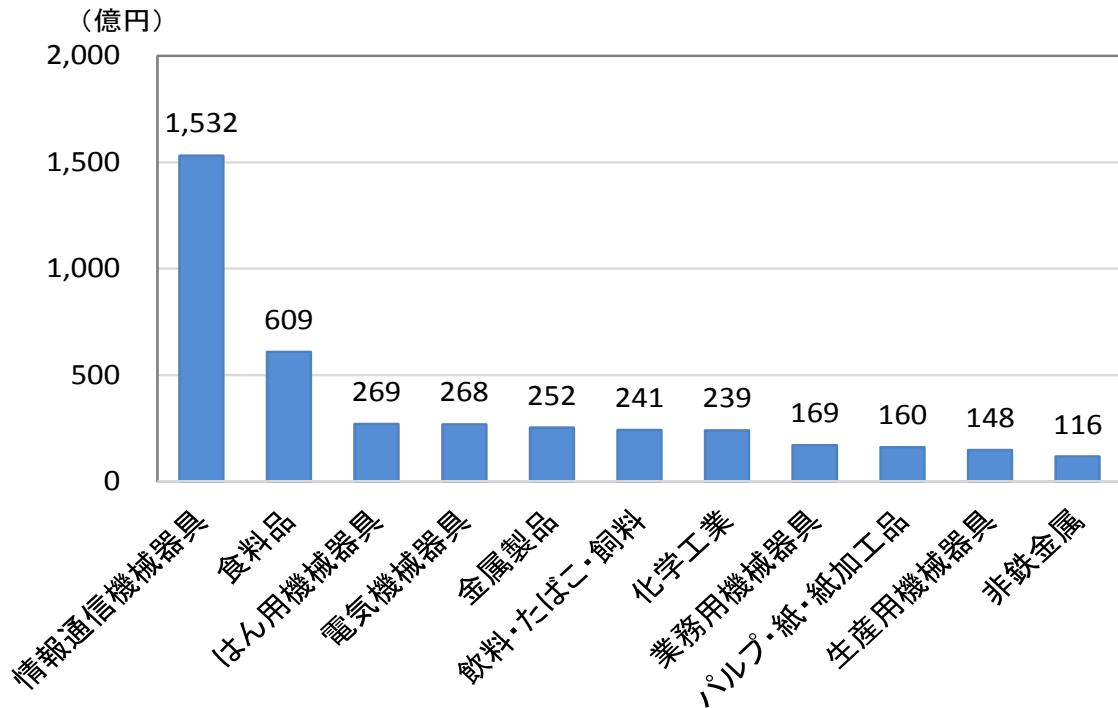
- 製造品出荷額等は 4,478 億円で、塩尻市に次いで県内 19 市中第 2 位であるが、推移を見ると、平成 21 年のリーマンショック後なかなか回復がみられない状況である。
- 産業別製造品出荷額等をみると、情報通信機械器具が突出していることがわかる。

図表 63 事業所数と製造出荷額等の推移



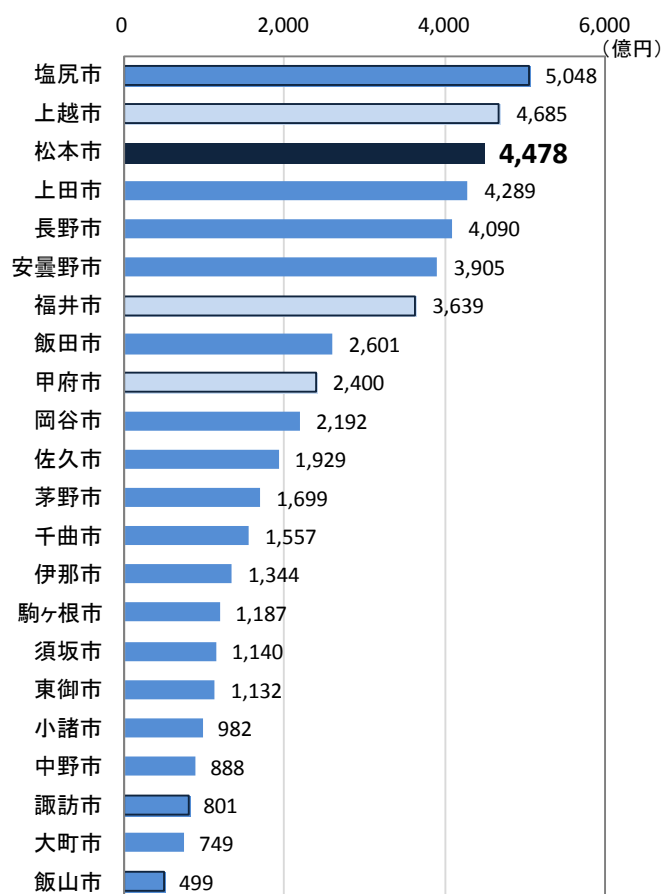
出典：経済産業省「工業統計」（平成 15 年～平成 24 年）
※4 人以上の事業所

図表 64 産業別製造品出荷額等



出典：経済産業省「工業統計」（平成 24 年）
※従業者 4 人以上

図表 65 製造出荷額等(県下 19 市+甲府市・上越市・福井市)

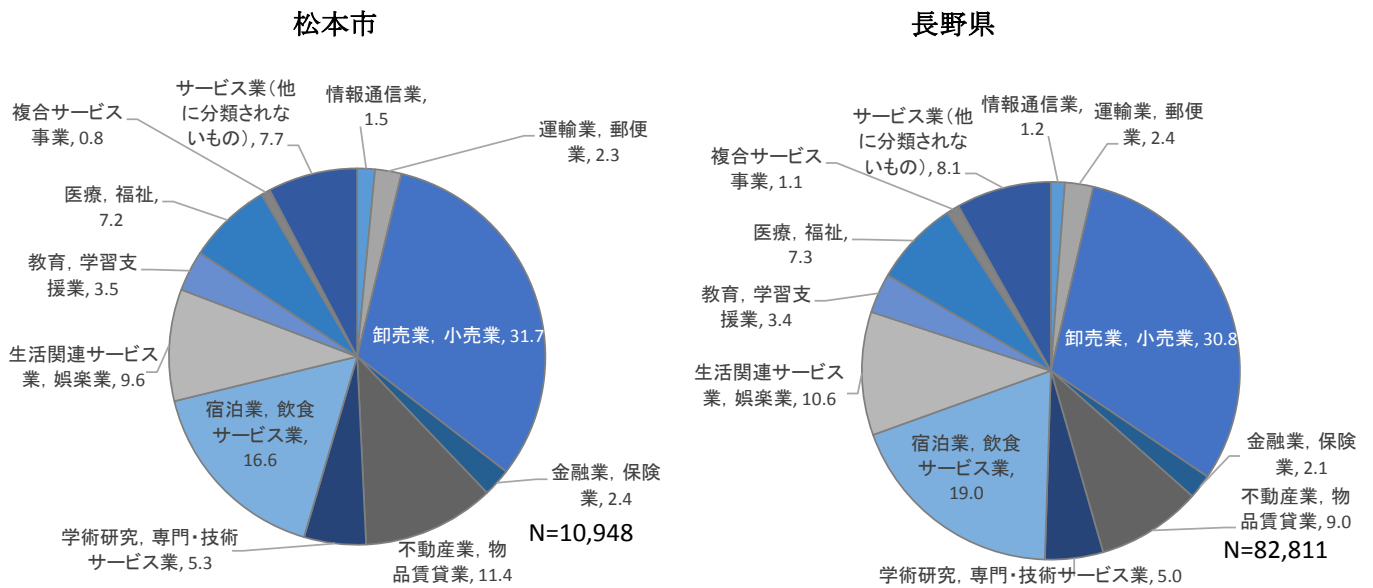


出典：経済産業省「工業統計」(平成 24 年)
 ※従業者 4 人以上

4. 第3次産業

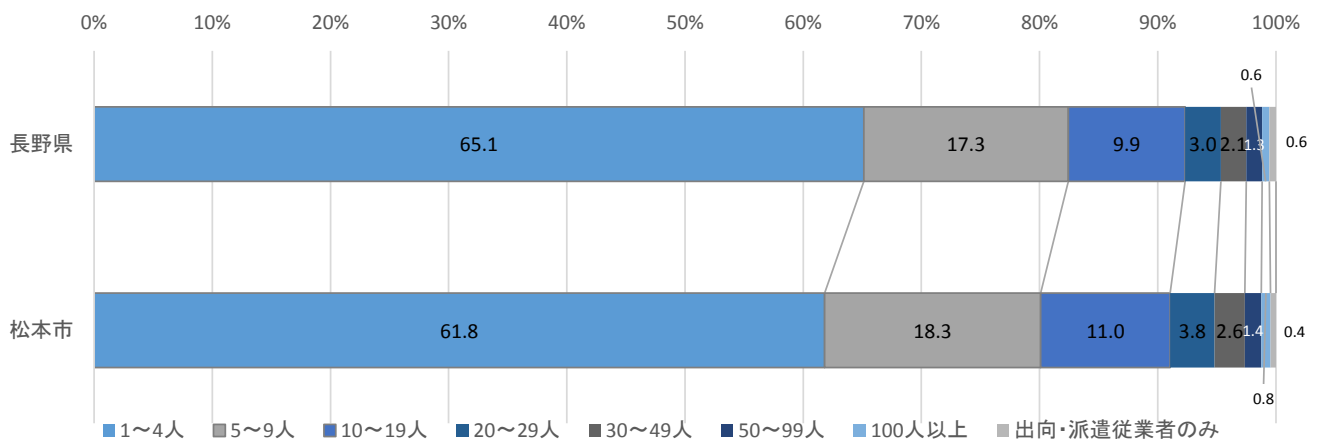
- 第3次産業の構成をみると、卸売業・小売業が31.7%で最も多い。全県と比較してもほぼ同じ構成である。
- 事業所規模の構成をみると、全県と比べわずかだが5人以上の事業所が多い。約60%が1～4人の事業所である。

図表 66 第3次産業の構成比（松本市・長野県）



出典：経済産業省「経済センサス」（平成24年）

図表 67 第3次産業の事業所規模の構成比

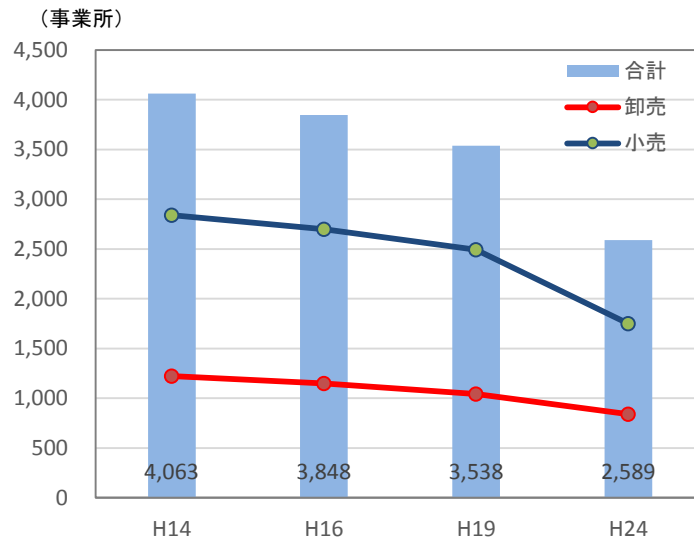


出典：経済産業省「経済センサス」（平成24年）

●商業

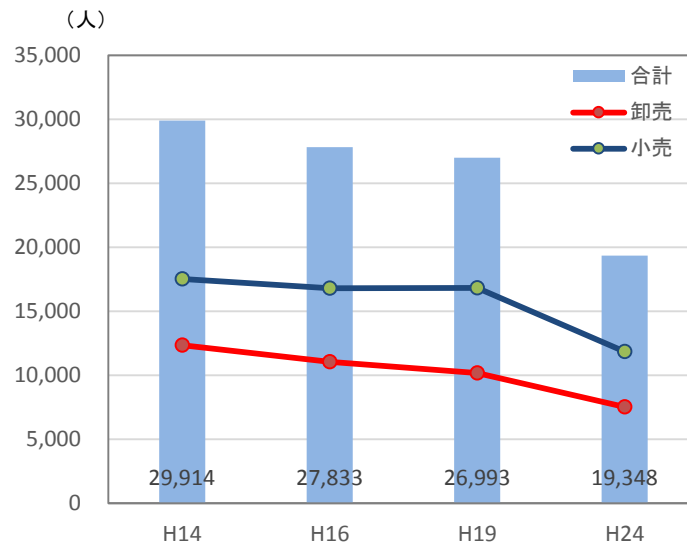
- 商店数、年間商品販売額は事業所数、従業員数は減少している。それに伴い、年間商品販売額は減少傾向にある。

図表 68 卸売業・小売業の事業所数の推移



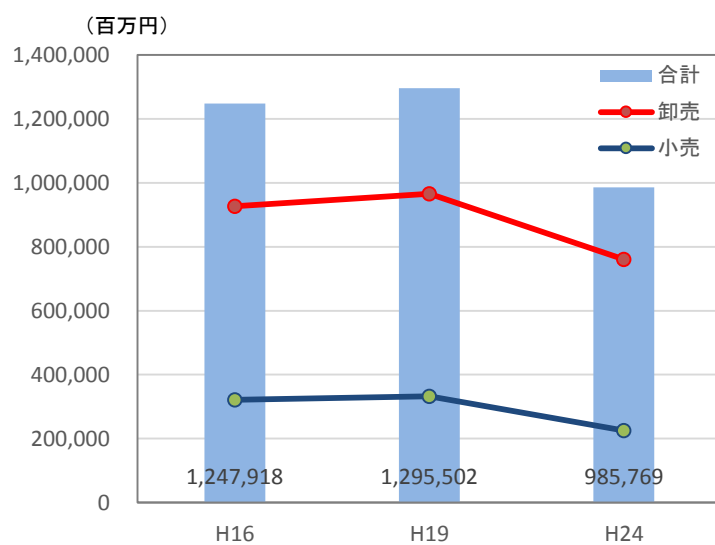
出典：経済産業省「経済センサス」

図表 69 卸売業・小売業の従業員数の推移



出典：経済産業省「経済センサス」

図表 70 卸売業・小売業の年間商品販売額の推移

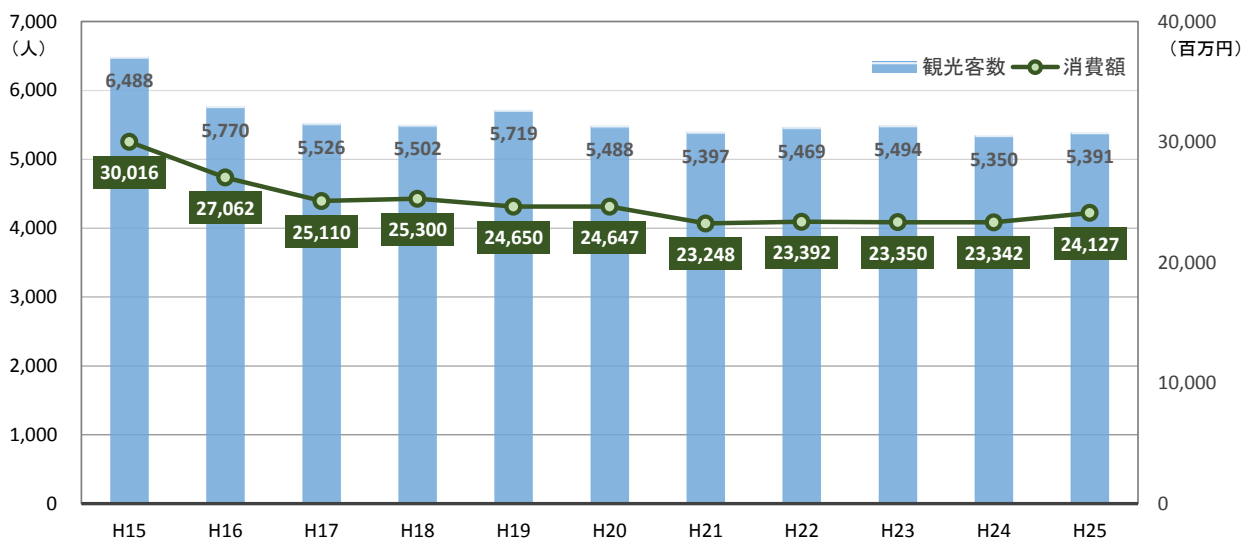


出典：経済産業省「経済センサス」

●観光

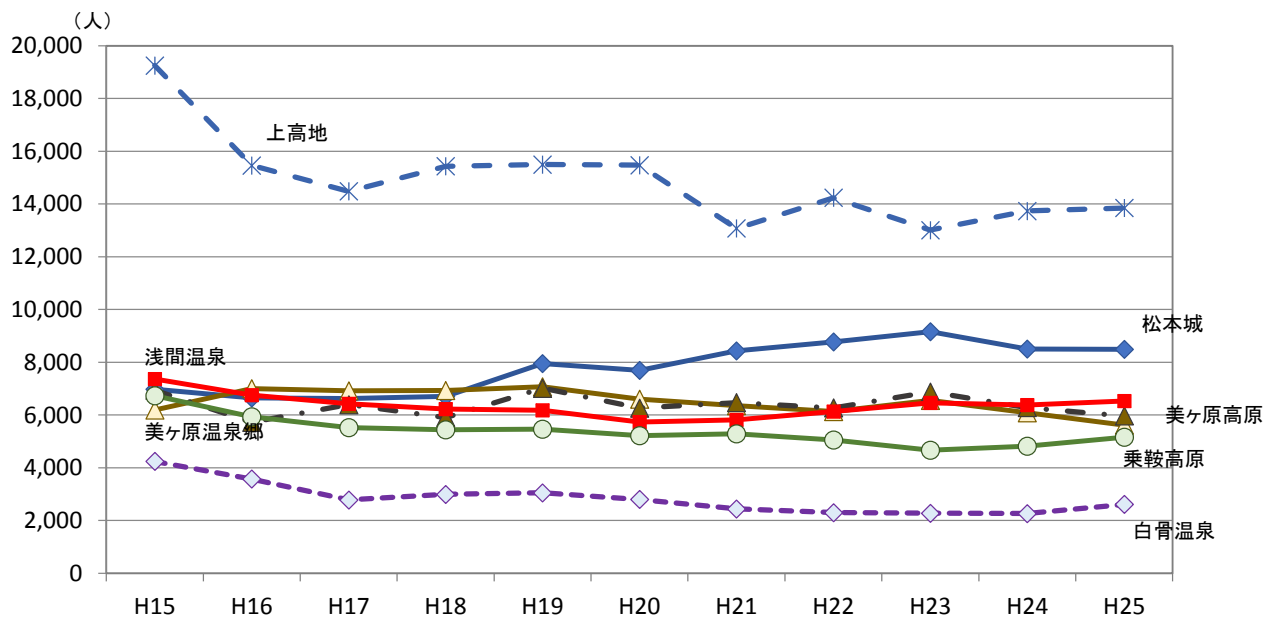
- 観光客数、観光消費額ともに平成 21 年から横ばいで推移し、平成 25 年に微増した。
- 観光地別にみると、上高地は観光客数、観光消費額ともに平成 15 年をピークにして大幅な減少傾向にある。その他の観光地についても全体的に減少傾向にあるが、松本城のみ増加傾向にある。
- 平成 15 年と比べて平成 25 年では消費額が 292 百万円から 446 百万円と 1.5 倍以上に伸びている。

図表 71 観光客数・観光消費額の推移



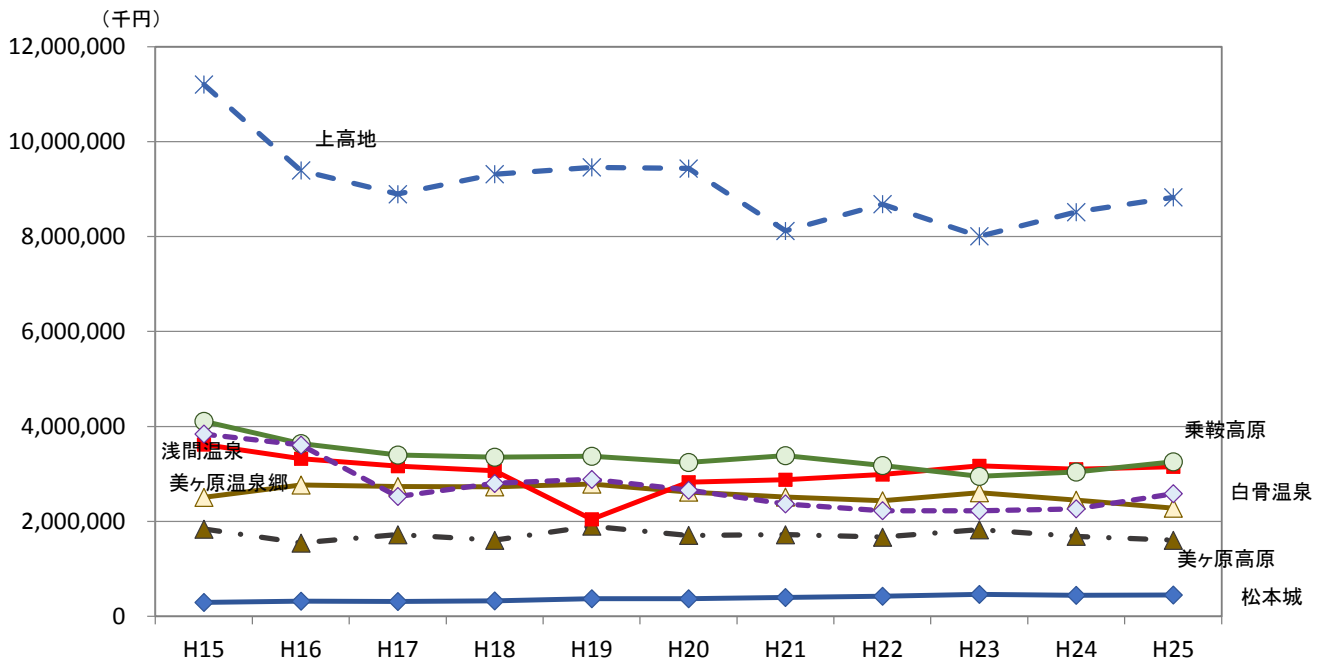
出典：長野県「観光利用者統計調査」(平成 15 年～平成 25 年)

図表 72 観光地別観光客数の推移



出典：長野県「観光利用者統計調査」(平成 15 年～平成 25 年)

図表 73 観光地別消費額の推移

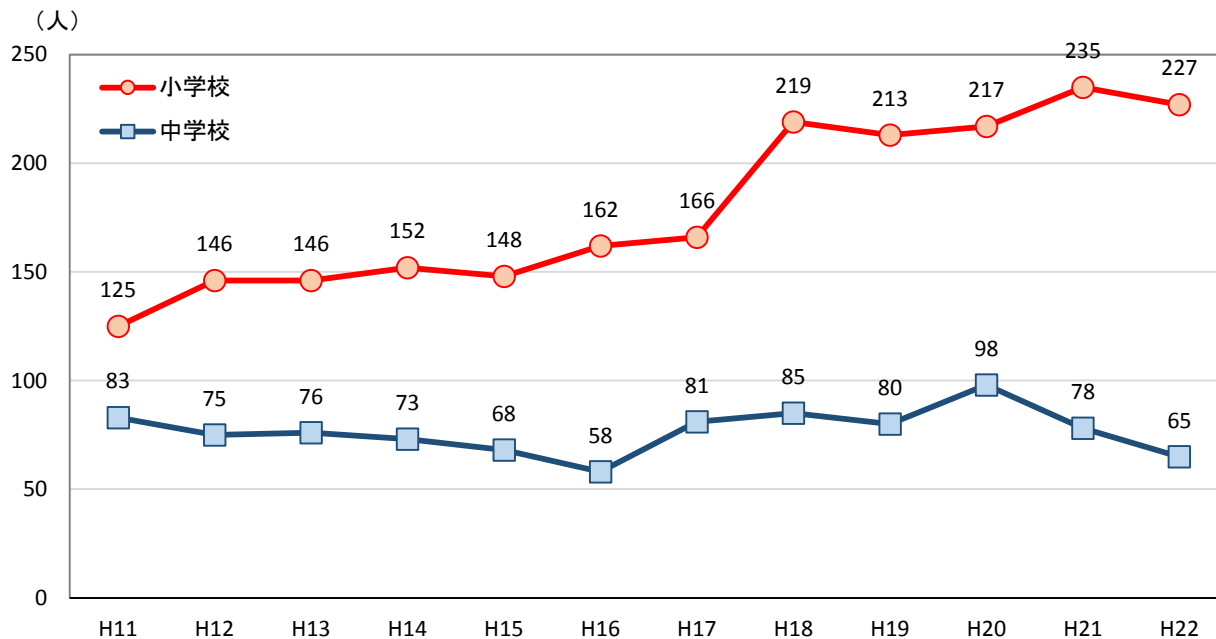


第7節 教育・文化

1. 教育

- 小学校における不登校児童が増加傾向にある。小学校は横ばい状態が続いている。

図表 74 不登校児童・生徒の推移

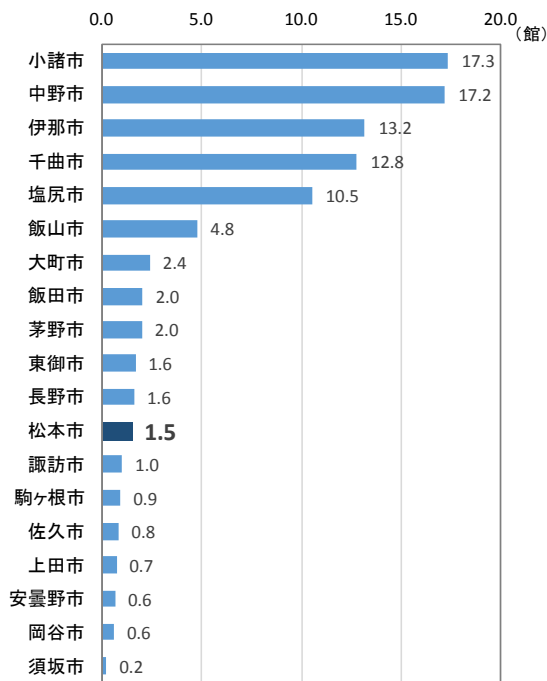


出典：松本市「松本市教育振興基本計画」(平成 24 年)

2. 文化

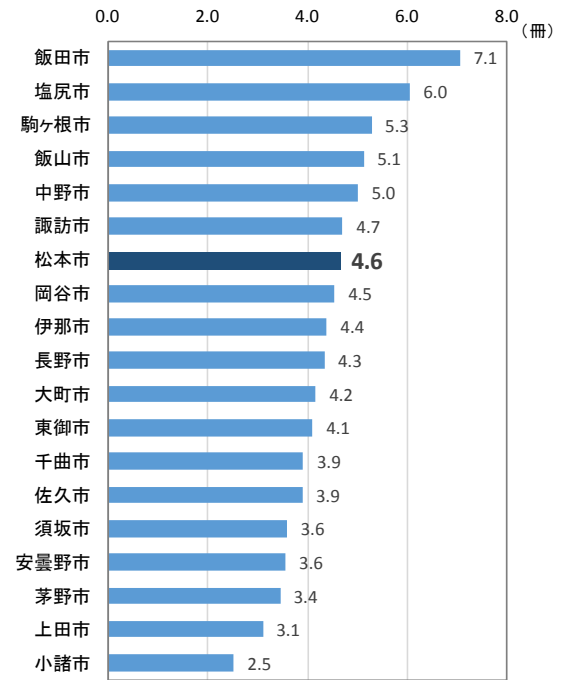
- 人口1万人あたりの公民館数は1.5館、県内19市中第12位であり、他市に比べ充実しているとはいえない。
- 人口1万人あたりの図書館蔵書数は4.6冊で県内19市中第7位である。
- 指定文化財等の数は101カ所で県内では長野市に次いで第2位である。

図表 75 人口1万人あたりの公民館数



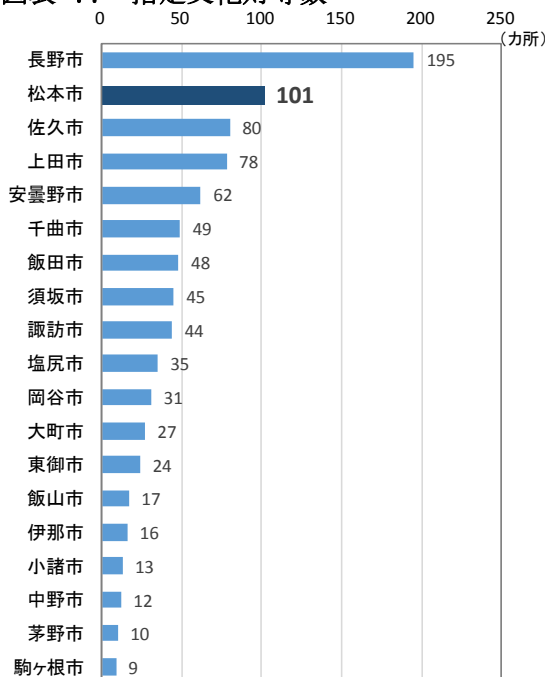
出典：長野県「市町村100の指標」(平成23年)

図表 76 人口1万人あたりの図書館蔵書数



出典：長野県「市町村100の指標」(平成25年)

図表 77 指定文化財等数

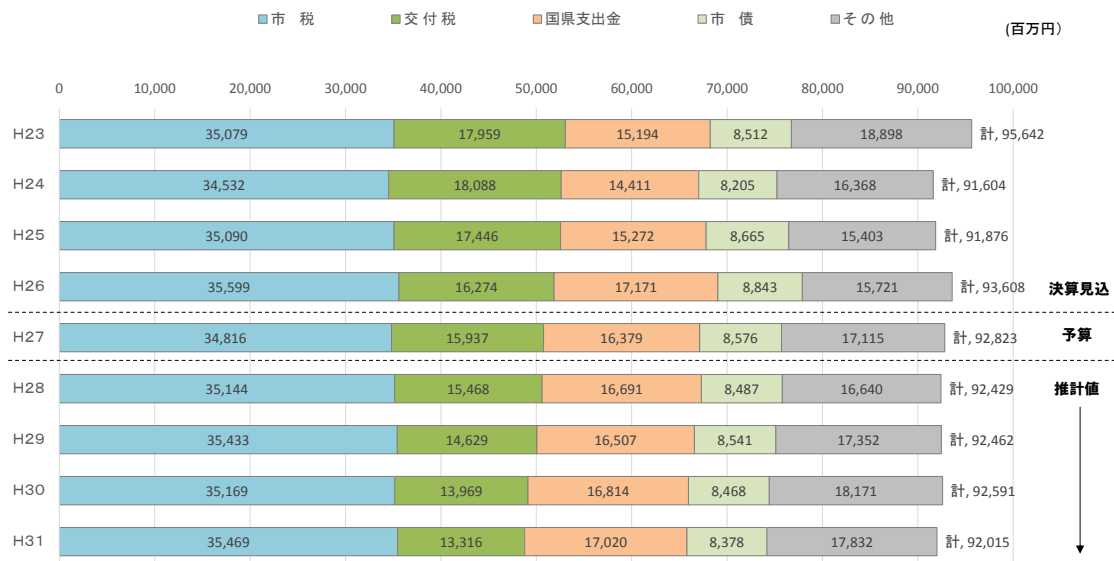


出典：長野県「市町村100の指標」(平成25年)

第8節 財政フレーム

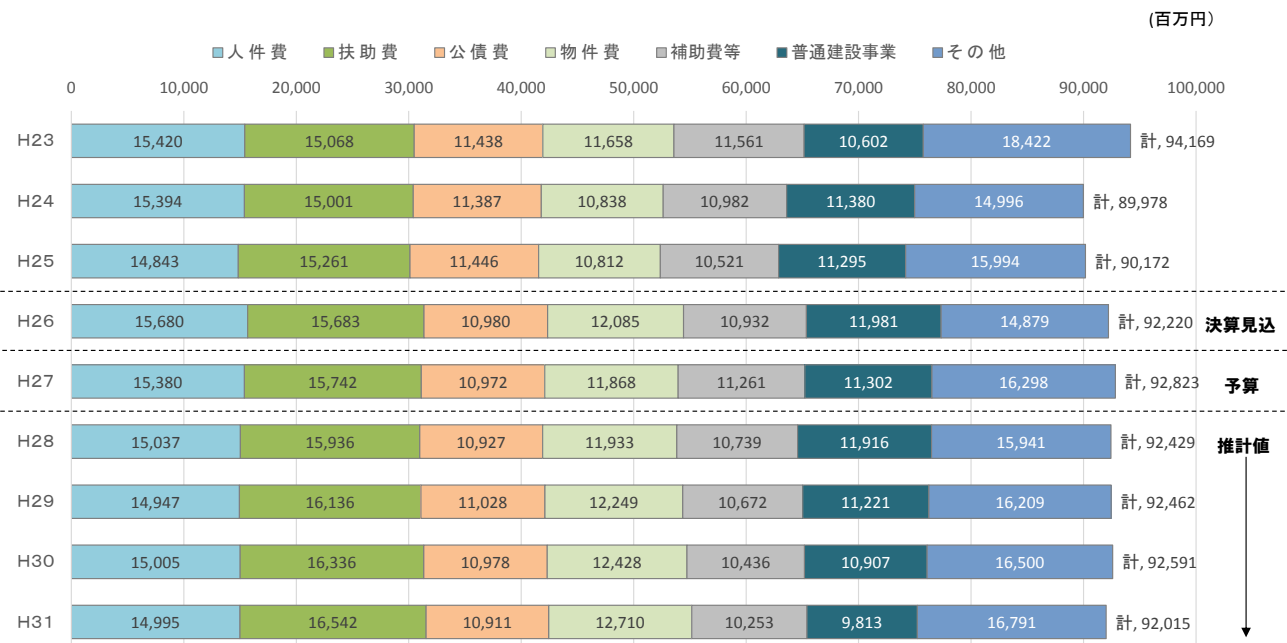
- 以下は、平成26年度の決算見込及び平成27年度予算（補正見込み、繰越明許費を含む。）を踏まえて、平成28年度から平成31年度までの中期財政見通しについて試算した結果である。
- 歳入は、平成26年度は936億8百万円である。平成31年度には920億15百万円となる。

図表 78 松本市の歳入の推移と見通し



出典：松本市「松本市実施計画第45号」（平成27年3月）

図表 79 松本市の歳出の推移と見通し



出典：松本市「松本市実施計画第45号」（平成27年3月）

第9節 総括

・ゆるやかに人口減少社会が到来

10年ほど前から人口増加率がマイナスに転じ、今後も人口減少は進んでいくと予想される。今後の減少率（平成22年→平成52年）をみていくと、本市は86.0%であり、約3万4千人減少する。この減少率は、県内19市のなかでは最も低い。本市は、他市と比較してゆるやかに、人口減少社会が到来するといえる。この要因としては、近年、転入者数が転出者数を上回っており、社会増減率がプラスになっていることが挙げられる。

本市の場合、人口減少の要因は自然動態である。死亡者数が出生数を上回る状態が続いており、その差は開きつつある。子どもを産み・育てしやすい環境づくりにより出生数増加が求められる。

市区町村	社人研推計		
	平成22年 総人口	平成52年 総人口	人口変化率 (2010→2040)
長野市	381,511	301,857	79.1%
松本市	243,037	208,978	86.0%
上田市	159,597	120,927	75.8%
岡谷市	52,841	38,020	72.0%
飯田市	105,335	79,860	75.8%
諏訪市	51,200	38,349	74.9%
須坂市	52,168	38,508	73.8%
小諸市	43,997	32,220	73.2%
伊那市	71,093	57,393	80.7%
駒ヶ根市	33,693	26,364	78.2%
中野市	45,638	34,787	76.2%
大町市	29,801	17,355	58.2%
飯山市	23,545	15,004	63.7%
茅野市	56,391	46,548	82.5%
塩尻市	67,670	55,655	82.2%
佐久市	100,552	85,781	85.3%
千曲市	62,068	44,978	72.5%
東御市	30,696	23,888	77.8%
安曇野市	96,479	78,208	81.1%

・増加の一途を辿る高齢者数

現在、26.0%である本市の高齢化率は、平成52年には34.6%となり、人数にすると8,820人増加すると予測されている。今後、何らかの支えが必要となる高齢者が増加することが見込まれ、行政だけでは対応しきれなくなると考えられる。地域、事業者とともに、支え合う仕組みづくりが特に求められる分野といえる。なお、35地区の高齢化率をみると、安曇地区、寿台地区、奈川地区、入山辺地区、四賀地区などはすでに高齢化率が35%を超えている地区もある。地区ごとの高齢化率等の状況を踏まえた対応をしていくことが求められる。

・人口減少、高齢化により財源の縮小が予想される

一産業へのテコ入れ、地域力の強化が必要一

上記に示したように、松本市は人口減少・少子高齢化が進むと予想される。これにより、市税の減少、高齢化による扶助費の増加が見込まれ、市の財政はより一層厳しくなることが予想される。

人口減少の抑制に向けては、いかに出生数（自然増）、転入者数（社会増）を増やしていくかを検討する必要がある。

松本市の出生数は、近年下がりつつある。他市と比較すると、女性就業率が高いと言えない状況等があり、改善が必要な部分もある。より子どもを生み、育てやすい環境づくりが求められる。

転入者数については、増加の鍵となるのは「産業（仕事）」である。松本市の産業は、1次産業、2次産業、3次産業すべてにおいて市内総生産額が減少しており、競争力が弱まっている。地域内で、雇用をうみだすサポートをしていく必要があるといえる。

扶助費が増加し、政策的経費が抑制されるなか、効果的・効率的な政策投資が望まれる。上記した地方創生につながる政策を積極的に展開する一方で、生活のサービスレベルを維持していくためには、市民・地域でできることは、市民・地域にまかせていく姿勢が求められる。本報告書からは地域での取り組み状況等はわからないが、市民意識調査では市民の施策への関与度・意向を把握している。その結果を参照しながら、市民の関与を促す施策を立案することが求められる。

第3章 施策の現状評価に関する分析

第1節 調査実施概要

◆調査の目的

松本市の強み・弱みといえるのかを把握するために、インターネットにて、平成24年度から実施している「市民満足度調査」における施策評価と同じ項目で調査を行った。なお、市民満足度調査結果とインターネット調査では、調査方法が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

◆市民満足度調査の実施概要

- ・調査実施方法：郵送調査
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・配布数：1,200件（実配付数1,182件）
- ・回収率：44.8%（529件）
- ・調査時期：平成26年7月11日～8月8日
- ・調査項目
 - ・属性
 - ・住まいの地域の現状評価項目

◆他都市調査の実施概要

- ・調査実施方法：インターネット調査
- ・回答者数：691人
- ・調査時期：平成26年9月1日～9月30日
- ・調査項目
 - ・属性
 - ・住まいの地域の現状評価項目

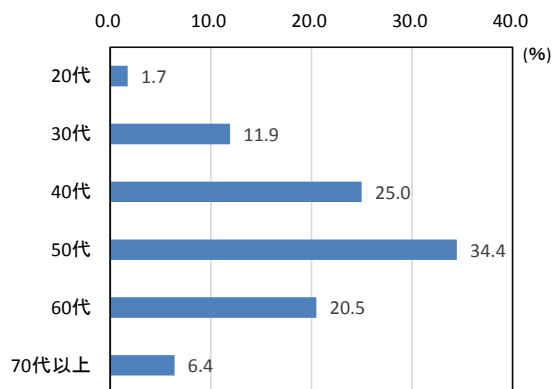
第2節 他都市調査の結果

以下の結果は、他都市調査の結果である。

1. 属性

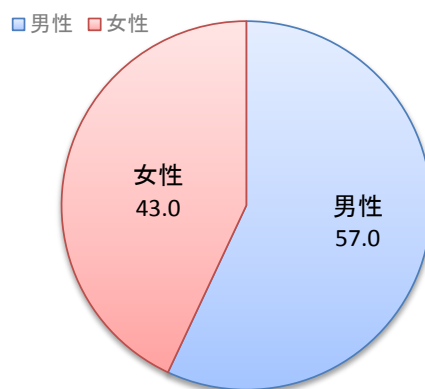
図表 80 年代

	回答数	割合(%)
20代	12	1.7
30代	82	11.9
40代	172	25.0
50代	237	34.4
60代	141	20.5
70代以上	44	6.4
合計	688	100.0



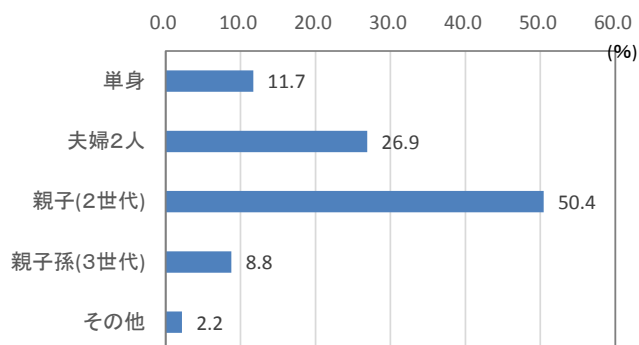
図表 81 性別

	回答数	割合(%)
男性	388	57.0
女性	293	43.0
合計	681	100.0



図表 82 職業

	回答数	割合(%)
自営業	74	10.8
農林業	4	0.6
会社員	266	38.9
団体職員	17	2.5
公務員	24	3.5
主婦・主夫	115	16.8
アルバイト・パート	72	10.5
学生	2	0.3
無職	83	12.2
その他	26	3.8
合計	683	100.0

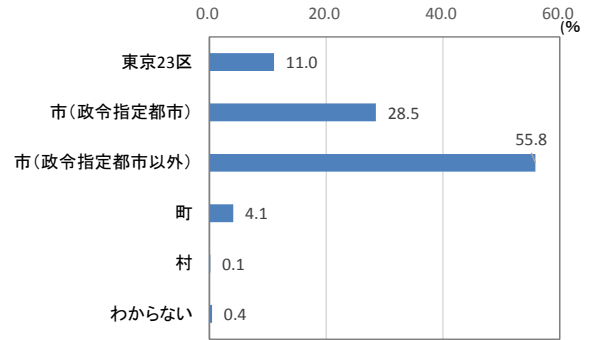


図表 83 居住地

	回答数	割合(%)
北海道	18	2.6
青森県	1	0.1
岩手県	2	0.3
宮城県	18	2.6
秋田県	4	0.6
山形県	4	0.6
福島県	4	0.6
茨城県	8	1.2
栃木県	6	0.9
群馬県	9	1.3
埼玉県	32	4.6
千葉県	40	5.8
東京都	111	16.1
神奈川県	63	9.1
新潟県	7	1.0
富山県	5	0.7
石川県	3	0.4
福井県	2	0.3
山梨県	3	0.4
長野県	31	4.5
岐阜県	11	1.6
静岡県	19	2.8
愛知県	40	5.8
三重県	6	0.9
滋賀県	8	1.2
京都府	19	2.8
大阪府	43	6.2
兵庫県	42	6.1
奈良県	8	1.2
和歌山県	1	0.1
鳥取県	5	0.7
島根県	1	0.1
岡山県	13	1.9
広島県	18	2.6
山口県	7	1.0
徳島県	4	0.6
香川県	4	0.6
愛媛県	5	0.7
高知県	5	0.7
福岡県	40	5.8
佐賀県	3	0.4
長崎県	5	0.7
熊本県	4	0.6
大分県	4	0.6
宮崎県	2	0.3
鹿児島県	1	0.1
沖縄県	1	0.1
合計	690	100.0

図表 84 居住地地域

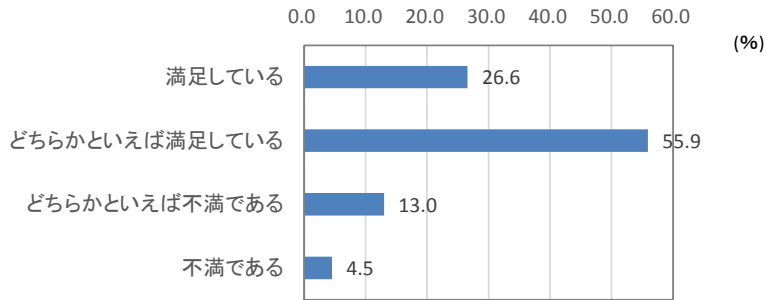
	回答数	割合(%)
東京23区	76	11.0
市(政令指定都市)	196	28.5
市(政令指定都市以外)	384	55.8
町	28	4.1
村	1	0.1
わからない	3	0.4
合計	688	100.0



2. 暮らしの満足度と定住意向

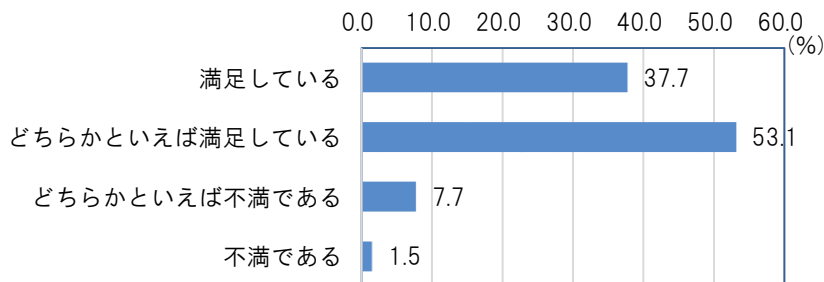
- 回答者の満足度としては「どちらかといえば満足している」が55.9%と最も多く、次に「満足している」が26.6%となっており、約80%が肯定的評価をしている。
- 松本市民の暮らしの満足度は、約90%が肯定的評価をしている。他都市と比較して高いといえる。特に「満足している」という評価の割合が高くなっているのも特徴である。

図表 85 回答者の暮らしの満足度



	回答数	割合 (%)
満足している	182	26.6
どちらかといえば満足している	383	55.9
どちらかといえば不満である	89	13.0
不満である	31	4.5
合計	685	100.0

図表 86 松本市民の暮らしの満足度

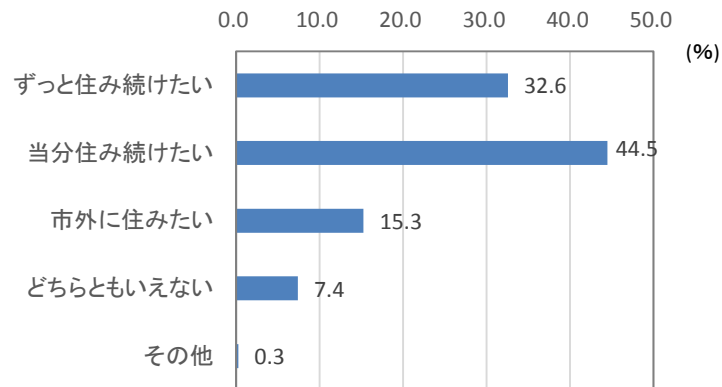


	回答数	割合 (%)
満足している	394	37.7
どちらかといえば満足している	555	53.1
どちらかといえば不満である	81	7.7
不満である	16	1.5
合計	1,046	100.0

※平成26年度の市民意識調査の結果である。

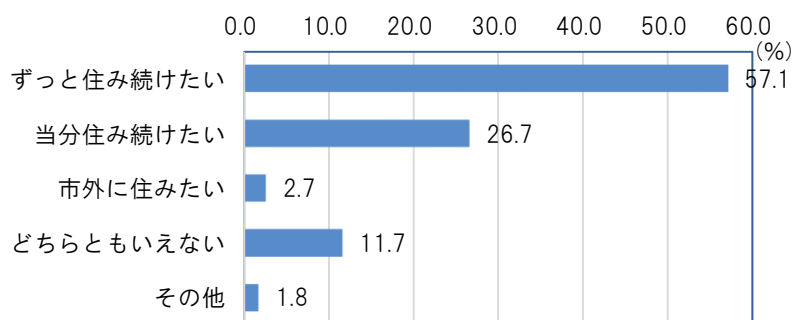
- 定住意向としては、インターネット調査では、「当分住み続けたい」が44.5%、「ずっと住み続けたい」が32.6%となっており75%以上が定住の意向を持っている。一方で「市外に住みたい」が15.3%と少なくない数字を示している。
- 松本市市民は、ずっと住み続けたい人が57.1%、当分住み続けたい人が26.1%である。他都市と被アックして「ずっと住み続けたい」と考える人が非常に多い。

図表 87 回答者の定住意向



	回答数	割合 (%)
ずっと住み続けたい	224	32.6
当分住み続けたい	306	44.5
市外に住みたい	105	15.3
どちらともいえない	51	7.4
その他	2	0.3
合計	688	100.0

図表 88 松本市民の定住意向



	回答数	割合 (%)
ずっと住み続けたい	469	57.1
当分住み続けたい	219	26.7
市外に住みたい	22	2.7
どちらともいえない	96	11.7
その他	15	1.8
合計	821	100.0

※平成26年度の市民意識調査の結果である。

3. 市民満足度調査結果との比較

ここからは、松本市の市民満足度調査結果とインターネット調査結果をあわせて示す。2つの調査は方法が異なるため、統計的な差の検定を行うことはできないが、差の状況を把握するため平均点の差が0.5以上の項目を網掛け、-0.5以下の項目を黒色・白字となっている。

また、「市全体」と「市民」は、以下となっている。

- 市全体…市全体の評価を聞いた項目
- 市民…市民の行動を聞いた項目

類似団体との比較で示している「指定都市等」「特例市」「一般市町村」の数は以下となっている。

- 指定都市等…指定都市、中核市、特別区を含む。今回の調査では257人
- 特例市…特例市。今回の調査では83人
- 一般市町村…その他市町村。今回の調査では504人

(1) 健康・医療分野

- 「健康について考え、実践できる環境がある」「日常生活において、必要な医療を受けることができる」「夜間、休日時に必要な医療を受けることができる」は、他都市、特例市と比較して、0.5以上の差があり、現状評価が高いといえる。
- 「健康づくりに継続的に取り組んでいる」は、他都市とほぼ同じ得点である。
- 「健康寿命延伸都市」を掲げ、市民一人ひとりの健康を増進する取組み等に力を入れていること、また他市と比較して医師数が多いことが高くなった要因として考えられ、この環境を維持していくことが必要である。
- ただし、健康づくりに継続的に取り組んでいる市民は多いとはいえない状況である。より一層、市民の行動を促す取組みが求められる。

表 89 松本市と他都市との比較

基本施策番号		調査項目	現状評価		
			松本市	他都市	差
1-1-1	市全体	健康について考え、実践できる環境がある	3.02	2.42	0.60
1-1-2		ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.47	2.06	0.41
1-2-1		日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.53	2.96	0.57
1-2-2		夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.37	2.80	0.57
1-1-1	市民	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.61	2.62	-0.01

表 90 松本市と類似都市との比較

基本施策番号		調査項目	現状評価			(参考) 現状評価	
			松本市	特例市	差	指定都市等	一般市・町村
1-1-1	市全体	健康について考え、実践できる環境がある	3.02	2.33	0.69	2.35	2.46
1-1-2		ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.47	2.10	0.37	2.02	2.07
1-2-1		日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.53	2.86	0.67	2.96	2.97
1-2-2		夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.37	2.64	0.73	2.81	2.81
1-1-1	市民	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.61	2.63	-0.02	2.69	2.61

(2) 福祉の充実、平和・人権意識の向上

- 特例市と比較し、障害者の同居による「障害者のための環境やサービスが充実している」、幼稚園・保育園の子どもを持つ親の「安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある」「高齢者のためのサービスや環境が充実している」は、評価が高い傾向にある。
- 入園前の子どもを持つ親の「出産や育児を支えるサービス」のみ、他都市、特例市比較ともに評価が低くなっている。産後から入園前までの間、家庭での子育てに課題を抱える親がいると考えられる。人口減少に歯止めをかけるためにも、子どもを産み・育てやすい環境づくりを進めていくこと必要である。入園前に生じる課題等を把握しながら、適切なサポートができる体制が求められる。

表 91 松本市と他都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価			
		松本市	他都市	差	
2-1-1	平和に向けた取り組みが盛んに行われている地域である	2.45	2.10	0.35	
2-1-2	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.61	2.32	0.29	
2-1-3	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解が進んでいる地域である	2.42	2.16	0.26	
2-2-1	高齢者のための環境やサービスが充実している	2.78	2.33	0.45	
	【要介護者の同居者】高齢者のための環境やサービスが充実している	2.84	2.47	0.37	
	【高齢者】高齢者のための環境やサービスが充実している	2.76	2.36	0.40	
2-2-2	市 全 体	障害者のための環境やサービスが充実している	2.57	2.14	0.43
		【障害者の同居者】障害者のための環境やサービスが充実している	2.53	2.00	0.53
2-3-1 2-3-2	出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	2.63	2.21	0.42	
	【子どもを持つ親】出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	2.68	2.25	0.43	
	【入園前親】出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	2.59	2.29	0.30	
2-3-3	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	3.05	2.57	0.48	
	【幼稚園・保育園の子どもを持つ親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	3.42	2.71	0.71	

表 92 松本市と類似都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価			(参考) 現状評価	
		松本市	特例市	差	指定 都市等	一般市 ・町村
2-1-1	平和に向けた取り組みが盛んに行われている地域である	2.45	2.12	0.33	2.09	2.10
2-1-2	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.61	2.29	0.32	2.34	2.32
2-1-3	外国籍住民の生活スタイルや文化への理解が進んでいる地域である	2.42	2.10	0.32	2.12	2.18
2-2-1	高齢者のための環境やサービスが充実している	2.78	2.23	0.55	2.28	2.37
	【要介護者の同居者】高齢者のための環境やサービスが充実している	2.84	2.00	0.84	2.58	2.39
	【高齢者】高齢者のための環境やサービスが充実している	2.76	2.17	0.59	2.38	2.34
2-2-2	障害者のための環境やサービスが充実している	2.57	1.98	0.59	2.14	2.15
	【障害者の同居者】障害者のための環境やサービスが充実している	2.53	2.20	0.33	1.76	2.06
2-3-1	出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	2.63	2.17	0.46	2.11	2.25
	【子どもを持つ親】出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	2.68	2.36	0.32	2.25	2.23
2-3-2	【入園前親】出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	2.59	3.00	-0.41	2.20	2.27
2-3-3	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	3.05	2.38	0.67	2.56	2.59
	【幼稚園・保育園の子どもを持つ親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	3.42	2.50	0.92	3.00	2.72

(3) 地域基盤づくり分野

- 「地域による自主的な防災活動が行われている」は、他都市と比較して評価が高い。一方、「生活道路を使った市内の移動がしやすい」「主要道路を使った市内の移動がしやすい」は評価が低い。特例市との比較においても同様の結果となっていた。
- その他にも「歩行者が安全に移動できる」「自転車で安全に移動できる」など道路関係や「市民がすすんで公共交通を利用している」は、やや評価が低い傾向にある。
- 本市の道路改良率や舗装率は県内 19 市と比較して高い状況である。しかしながら、道路に関連する項目は他都市と比較して、低い傾向にある。市民が何に課題と感じ、低くなっているのかを明らかにしながら、取り組んでいく必要がある。

表 93 松本市と他都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価		
		松本市	他都市	差
3-1-1	地域団体やボランティア団体による地域活動が行われている	3.05	2.56	0.49
3-1-2	地域住民による支えあいが行われている	2.75	2.42	0.33
3-1-3	地域による自主的な防災活動が行われている	3.01	2.47	0.54
3-1-4	地域による自主的な防犯活動が行われている	2.68	2.40	0.28
3-2-1	災害情報を提供する体制が整っている	2.60	2.36	0.24
3-2-2	防災・減災の備えが整っている	2.64	2.32	0.32
3-3-1	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	2.69	2.31	0.38
3-3-2	生活道路を使った市内の移動がしやすい	2.34	2.94	-0.60
3-3-2	主要道路を使った市内外の移動がしやすい	2.32	2.99	-0.67
3-3-3	歩行者が安全に移動できる	2.12	2.50	-0.38
3-3-3	自転車で安全に移動できる	1.97	2.33	-0.36
3-3-3	市民の交通マナーが向上している	1.89	2.12	-0.23
3-3-4	市民がすすんで公共交通を利用している	1.73	2.01	-0.28
3-3-5	安全な水を利用することができる	3.54	3.10	0.44
3-1-1	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	2.05	1.83	0.22
3-1-2	地域の人と積極的に関わりを持っている	2.49	2.08	0.41
3-1-3	地域の自主的な防災活動に参加している	1.99	1.83	0.16
3-1-4	地域の自主的な防犯活動に参加している	1.78	1.77	0.01
3-2-2	災害に対する備えをしている	2.32	2.28	0.04
3-3-3	交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.40	3.07	0.33
3-3-4	すすんで公共交通を利用している	2.06	2.42	-0.36

表 94 松本市と類似都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価			(参考) 現状評価	
		松本市	特例市	差	指定 都市等	一般市 ・町村
3-1-1	地域団体やボランティア団体による地域活動が行われている	3.05	2.52	0.53	2.48	2.61
3-1-2	地域住民による支えあいが行われている	2.75	2.44	0.31	2.43	2.43
3-1-3	地域による自主的な防災活動が行われている	3.01	2.42	0.59	2.47	2.49
3-1-4	地域による自主的な防犯活動が行われている	2.68	2.31	0.37	2.40	2.42
3-2-1	災害情報を提供する体制が整っている	2.60	2.37	0.23	2.40	2.35
3-2-2	防災・減災の備えが整っている	2.64	2.42	0.22	2.31	2.31
3-3-1	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	2.69	2.25	0.44	2.32	2.31
3-3-2	生活道路を使った市内の移動がしやすい	2.34	2.98	-0.64	2.95	2.94
3-3-2	主要道路を使った市内外の移動がしやすい	2.32	3.07	-0.75	2.97	2.99
3-3-3	歩行者が安全に移動できる	2.12	2.52	-0.40	2.45	2.51
3-3-3	自転車で安全に移動できる	1.97	2.31	-0.34	2.29	2.35
3-3-3	市民の交通マナーが向上している	1.89	2.11	-0.22	2.18	2.08
3-3-4	市民がすすんで公共交通を利用している	1.73	1.91	-0.18	2.10	1.99
3-3-5	安全な水を利用することができる	3.54	3.07	0.47	3.07	3.11
3-1-1	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	2.05	1.82	0.23	1.85	1.84
3-1-2	地域の人と積極的に関わりを持っている	2.49	2.18	0.31	2.08	2.09
3-1-3	地域の自主的な防災活動に参加している	1.99	1.91	0.08	1.81	1.83
3-1-4	地域の自主的な防犯活動に参加している	1.78	1.88	-0.10	1.74	1.78
3-2-2	災害に対する備えをしている	2.32	2.23	0.09	2.25	2.33
3-3-3	交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.40	3.09	0.31	3.00	3.11
3-3-4	すすんで公共交通を利用している	2.06	2.37	-0.31	2.47	2.42

(4) 環境保全分野

- どの項目も他都市と比較して松本市の現状評価の方が高い傾向にある。特に「悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である」が他都市と比較して、評価が高い。
- 特例市と比較すると「歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている」の評価が高くなっている。

表 95 松本市と他都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価			
		松本市	他都市	差	
4-1-3	市 全 体	市民がごみの資源化・分別をすることで減量に取り組んでいる	3.20	2.97	0.23
4-1-4		自然や環境を守るための活動が行われている	2.96	2.60	0.36
4-2-2		市街地に花や緑が増えてきている	3.07	2.61	0.46
4-3-1		悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.24	2.69	0.55
4-3-3		歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	2.90	2.43	0.47
4-3-4		まちなかが衛生的に保たれている	3.17	2.79	0.38
4-1-1		市 民	省エネ機器や太陽光発電など自然エネルギー機器を積極的に導入している	2.30	1.97
4-1-3	ごみの資源化や分別することで減量を行っている		3.29	3.20	0.09
4-1-4	自然や環境を守るための活動を行っている		2.43	2.22	0.21
4-2-2	市街地の緑化活動を行っている		2.00	1.84	0.16

表 96 松本市と類似都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価			(参考) 現状評価		
		松本市	特例市	差	指定 都市等	一般市 ・町村	
4-1-3	市 全 体	市民がごみの資源化・分別をすることで減量に取り組んでいる	3.20	2.88	0.33	3.02	2.96
4-1-4		自然や環境を守るための活動が行われている	2.96	2.57	0.39	2.62	2.58
4-2-2		市街地に花や緑が増えてきている	3.07	2.70	0.37	2.58	2.62
4-3-1		悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.24	2.77	0.47	2.68	2.68
4-3-3		歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	2.90	2.37	0.53	2.40	2.45
4-3-4		まちなかが衛生的に保たれている	3.17	2.79	0.38	2.78	2.79
4-1-1		市 民	省エネ機器や太陽光発電など自然エネルギー機器を積極的に導入している	2.30	1.98	0.32	2.00
4-1-3	ごみの資源化や分別することで減量を行っている		3.29	3.23	0.06	3.11	3.24
4-1-4	自然や環境を守るための活動を行っている		2.43	2.21	0.22	2.20	2.25
4-2-2	市街地の緑化活動を行っている		2.00	1.88	0.12	1.84	1.84

(5) 経済・産業振興分野

- 「行政が積極的に観光誘客に取り組んでいる」は他都市全体と比較すると高いが、集客力のある観光資源を有する地域とはほぼ同等の評価となっている。
- 「知人や友人にすすめたい観光地が多い」に関しては、集客力のある観光資源を有する地域と比較を行うとやや高い傾向にある。
- 「知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い」「地元産の農産物を積極的に購入している」「個性やこだわりのある店舗が増えてきている」は、他都市よりも評価が高くなっている。
- 地元産の農産物に関する2項目がともに高く、信頼をおき、魅力を感じている市民は多いといえる。

表 97 松本市と他都市との比較

基本施策 番号		調査項目	現状評価		
			松本市	他都市	差
5-1-3	市 全 体	行政が積極的に観光誘客に取り組んでいる	2.85	2.15	0.70
		上記項目を集客力の観光資源ある地域と比較	2.85	2.94	-0.09
5-1-4		雇用を確保する取り組みが行われている	2.08	1.76	0.32
5-2-1		知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	3.00	2.15	0.85
5-2-2		個性やこだわりのある店舗が増えてきている	2.73	2.01	0.72
5-3-3		知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.16	2.05	1.11
		上記項目を集客力の観光資源ある地域と比較	3.16	2.85	0.31
5-1-2		市 民	中心市街地へ買物や食事、催事などで出かける機会が増えてきている	2.32	2.19
5-3-1	地元産の農産物を積極的に購入している		3.03	2.48	0.55

※集客力のある観光資源の有無は、回答者に聞いた結果をもとに設定している。

表 98 松本市と類似都市との比較

基本施策 番号		調査項目	現状評価			(参考) 現状評価	
			松本市	特例市	差	指定 都市等	一般市 ・町村
5-1-3	市 全 体	行政が積極的に観光誘客に取り組んでいる	2.85	2.27	0.58	2.10	2.16
5-1-4		雇用を確保する取り組みが行われている	2.08	1.76	0.32	1.75	1.77
5-2-1		知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	3.00	2.22	0.78	2.13	2.15
5-2-2		個性やこだわりのある店舗が増えてきている	2.73	2.02	0.71	1.97	2.02
5-3-3		知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.16	2.04	1.12	2.09	2.04
5-1-2		市 民	中心市街地へ買物や食事、催事などで出かける機会が増えてき	2.32	2.16	0.16	2.22
5-3-1	地元産の農産物を積極的に購入している		3.03	2.45	0.58	2.38	2.52

(6) 教育・スポーツ・文化振興分野

- 「地域の伝統や文化の保存、継承が行われている」のみ他都市と比較して0.5以上、評価が高い。それ以外の項目も他都市と比較して高い傾向にある。
- 特例市との比較においても「地域の伝統や文化の保存、継承が行われている」に加えて、小中学校の親による「小中学生が学校や地域で生きいきとしている」が高くなっている。

表 99 松本市と他都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価		
		松本市	他都市	差
6-1-1	小中学生が学校や地域で生きいきとしている	3.06	2.72	0.34
	【小中学校の親】小中学生が学校や地域で生きいきとしている	3.06	2.82	0.24
6-1-2	充実した教育が受けられるような小中学校の教育環境が整っている	2.97	2.68	0.29
	【小中学校の親】充実した教育が受けられるような小中学校の教育環境が整っている	2.86	2.74	0.12
6-1-3	地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている	2.94	2.46	0.48
	【子どもを持つ親】地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている	2.88	2.57	0.31
6-2-2	趣味や学びを気軽に行える施設が充実している	2.73	2.42	0.31
6-3-2	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.01	2.51	0.50
6-3-3	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	2.86	-	-
6-1-3	青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている	2.16	1.71	0.45
	【子どもを持つ親】青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている	2.20	2.04	0.16
6-2-1	趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っている	2.69	2.53	0.16
6-2-3	継続的にスポーツに親しんでいる	2.42	2.17	0.25
6-3-1	音楽や芸術にふれている	2.54	2.39	0.15
6-3-2	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	2.28	1.81	0.47

表 100 松本市と類似都市との比較

基本施策 番号	調査項目	現状評価			(参考) 現状評価	
		松本市	特例市	差	指定 都市等	一般市 ・町村
6-1-1	小中学生が学校や地域で生きいきとしている	3.06	2.79	0.27	2.70	2.74
	【小中学校の親】小中学生が学校や地域で生きいきとしている	3.06	2.36	0.70	3.08	2.77
6-1-2	充実した教育が受けられるような小中学校の教育環境が整っている	2.97	2.69	0.28	2.63	2.71
	【小中学校の親】充実した教育が受けられるような小中学校の教育環境が整っている	2.86	2.36	0.50	2.96	2.71
6-1-3	地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている	2.94	2.52	0.42	2.39	2.49
	【子どもを持つ親】地域で青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動が行われている	2.88	2.40	0.48	2.59	2.59
6-2-2	趣味や学びを気軽に行える施設が充実している	2.73	2.40	0.33	2.37	2.44
6-3-2	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.01	2.44	0.57	2.47	2.55
6-3-3	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	2.86	-		-	-
6-1-3	青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている	2.16	1.75	0.41	1.72	1.71
	【子どもを持つ親】青少年(小中学生を含む)の豊かな心を育むための活動を行っている	2.20	2.06	0.14	2.11	2.00
6-2-1	趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っている	2.69	2.54	0.15	2.53	2.56
6-2-3	継続的にスポーツに親しんでいる	2.42	2.33	0.09	2.26	2.12
6-3-1	音楽や芸術にふれている	2.54	2.34	0.20	2.34	2.43
6-3-2	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	2.28	1.95	0.33	1.84	1.79

(7) 質の高い行政経営

- 質の高い行政経営については、どの項目においても松本市の現状評価が高い傾向にある。

表 101 松本市と他都市との比較

基本施策 番号		調査項目	現状評価		
			松本市	他都市	差
行政 について	市 全体	職員の対応に好感を持つことができる	2.61	2.15	0.46
		市民の声が行政に届きやすい	2.27	1.96	0.31
	市民	行政の活動に関心を持っている	2.63	2.59	0.04

表 102 松本市と類似都市との比較

基本施策 番号		調査項目	現状評価			(参考) 現状評価	
			松本市	特例市	差	指定 都市等	一般市 ・町村
行政 について	市 全体	職員の対応に好感を持つことができる	2.61	2.30	0.31	2.07	2.17
		市民の声が行政に届きやすい	2.27	2.04	0.23	1.89	1.98
	市民	行政の活動に関心を持っている	2.63	2.67	-0.04	2.63	2.58

第3節 総括

・松本市は、他都市と比較して総じて施策評価が高い

今回、他都市とは76項目、特例市とは74項目で施策評価の比較を行った。松本市の評価がプラスだった項目は、他都市で67項目(88.2%)、特例市で63項目(85.1%)である。また、満足度、定住意向ともに、他都市と比較して非常に高くなっていた。これらの結果を総合的にみると、松本市は他地域と比較して、市民が生活に満足しており、「暮らしやすい地域」といえる。

総合的に評価が高いことが、人口動態の統計データに見られたように転入者数の超過、人口減少の抑制につながっている可能性もある。今後、さらに松本市の強みを伸ばし、弱みを克服していくことが求められる。

・幅広い分野で、他地域と比較して現状評価が高い

下表は、他都市・特例市と比較して、0.5以上評価が高い項目である。どの分野にも高評価の項目がある。特に高いのは、健康・医療分野、保育環境、観光や農産物である。

表 103 松本市と他都市・特例市の差（プラス0.5以上の項目）

	他都市	特例市
健康について考え、実践できる環境がある	0.60	0.69
日常生活において、必要な医療を受けることができる	0.57	0.67
夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	0.57	0.73
高齢者のための環境やサービスが充実している	—	0.55
【要介護者の同居者】高齢者のための環境やサービスが充実している	—	0.84
【高齢者】高齢者のための環境やサービスが充実している	—	0.59
障害者のための環境やサービスが充実している	—	0.59
【障害者の同居者】障害者のための環境やサービスが充実している	0.53	—
安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	—	0.67
【幼稚園・保育園の子どもを持つ親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園がある	0.71	0.92
地域団体やボランティア団体による地域活動が行われている	—	0.53
地域による自主的な防災活動が行われている	0.54	0.59
悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	0.55	—
歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	—	0.53
行政が積極的に観光誘客に取り組んでいる	0.70	0.58
知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	0.85	0.78
個性やこだわりのある店舗が増えてきている	0.72	0.71
知人や友人にすすめたい観光地が多い	1.11	1.12
地元産の農産物を積極的に購入している	0.55	0.58
【小中学校の親】小中学生が学校や地域で生きいきとしている	—	0.70
地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	0.50	0.57

・他地域と比較して、現状評価がマイナスだった施策は「ハード」が多い

下表は、他都市・特例市と比較して評価が低かった項目である。項目をみると、道路環境や公共交通などハード関係が多い。松本市民が感じている課題が妥当性があるものであるのかを検証しながら、改善を図っていくことが求められる。

表 104 松本市と他都市・特例市の差（マイナスの項目）

	他都市	特例市
健康づくりに継続的に取り組んでいる	-0.01	—
【入園前親】出産や育児を支えるための環境やサービスが充実している	—	-0.41
生活道路を使った市内の移動がしやすい	-0.60	-0.64
主要道路を使った市内外の移動がしやすい	-0.67	-0.75
歩行者が安全に移動できる	-0.38	-0.40
自転車で安全に移動できる	-0.36	-0.34
市民の交通マナーが向上している	-0.23	-0.22
市民がすすんで公共交通を利用している	-0.28	-0.18
地域の自主的な防犯活動に参加している	—	-0.10
すすんで公共交通を利用している	-0.36	-0.31
行政の活動に関心を持っている	—	-0.04
行政が積極的に観光誘客に取り組んでいる (集客力の観光資源ある地域と比較)	-0.09	—

以上、結果を総合的にみると、松本市は暮らしやすい地域であり、これは松本市の強みであるといえる。この強みを人口の社会増加、自然増加に活かしていくことが重要である。一方で、課題も見受けられる。特にハード面（地域基盤づくり）は他地域より低い評価になっており、かつ、政策ニーズ調査では重要な施策としてあげられていた。これらの課題は、市民が感じていることから実態に即したものであるのか検証を行い、緊急性が高いものから取り組んで行く必要がある。